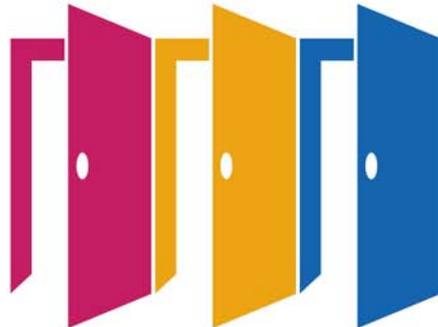




日本のロータリークラブ誕生100周年



ロータリーは機会の扉を開く



国際ロータリー 第2640地区
2020-2021年度のための

地区研修・協議会



2020-2021年度 ガバナー
藤井 秀香

目次

地区研修・協議会プログラム	2
部門別／委員会別協議会一覧表	3
2020-2021年度 RI 会長紹介	4
2020-2021年度 RI 会長挨拶	5
2020-2021年度 ガバナー 藤井秀香 略歴	10
2020-2021年度 ガバナーエレクト 豊岡 敬 略歴	11
2020-2021年度 ガバナーノミニー 森本 芳宣 略歴	12
講師紹介並びにご挨拶 本田 博己 略歴	13
2020-2021年度のための地区研修・協議会に際して	
2019-2020年度 ガバナー 中野 均	24
次期地区研修・協議会の目的について	
次期地区研修リーダー 櫻畑 直尚	25
2020-2021年度 次年度クラブリーダーの皆様 ガバナー 藤井 秀香	57
2020-2021年度 ガバナーの基本方針 ガバナー 藤井秀香	59
国際ロータリー第2640地区 地区ビジョン・ロータリーのビジョン声明・ロータリーの中核的価値観	65
2020-2021年度 分区区分と担当ガバナー補佐	68
2020-2021年度 地区幹事別担当委員会	69
2020-2021年度 主要行事予定表及びクラブ周年記念行事予定表	70
2020-2021年度 クラブ会長・幹事一覧	71
2020-2021年度 ガバナー公式訪問予定	72
2020-2021年度 地区組織図	74
2020-2021年度 地区委員会組織表	75
2020-2021年度 地区収支予算書(案)	76
2019-2020年・2020-2021年度 収支予算比較表(案)	77
2020-2021年度 ガバナー事務所経費に関する内訳一覧表(案)	78
地区予算検討資料:	79
(過年度分収支一覧表・三年度分収支予算一覧表・ガバナー事務所経費に関する過年度内訳一覧)	
2020-2021年度 ロータリー賞・意義ある奉仕賞について	82
2020-2021年度 主要報告書ならびに送金先一覧	84
部門／委員会別協議会資料	85
会長・幹事部門	86
社会奉仕部門	87
委員会その1	95
ロータリー財団部門	101
委員会その2	105
委員会その3	113
米山記念奨学部門	
40周年記念誌編集実行委員会	123

MAKE UP CARD

2020-2021年度 ガバナー事務所ご案内



国際ロータリー第 2640 地区
2020-2021 年度のための
地区研修・協議会プログラム



10:00	登録受付 本会議			(敬称略)
10:30	開会	全体協議会	【4階 ロイヤルホール】	
	開会点鐘		ガバナーエレクト	藤井 秀香
	国歌斉唱・「奉仕の理想」斉唱			
	出席報告		次期地区代表幹事	大石 武徳
	ガバナー・パストガバナー・ガバナーノミニー・研修委員・地区役員紹介		ガバナーエレクト	藤井 秀香
	開会挨拶		ガバナーエレクト	藤井 秀香
	ガバナー挨拶		ガバナー	中野 均
	地区研修・協議会の目的について		次期地区研修リーダー	檜畑 直尚
11:10	国際協議会報告・次年度 R I 会長テーマ 2020～21 年度ガバナーの基本方針		ガバナーエレクト	藤井 秀香
11:40	次年度地区組織・地区行事について		次期地区代表幹事	大石 武徳
11:50	次年度地区予算案について		次期地区財務委員長	木戸 伸男
12:00	午後からのスケジュールと昼食説明		次期地区代表幹事	大石 武徳
12:05	昼食休憩—本会議場各自席にて昼食—			
12:50	～部門別協議会会場へ移動			
13:00		部門別協議会		
	◇会長・幹事部門 [4 F ダイヤモンドルーム]			
	◇社会奉仕部門 [4 F ロイヤルホール (本会議場)] (地域社会奉仕・職業・インター・ローター・青少年ライラ・青少年交換)			
	◇研修・国際奉仕・オンツー・台北・緊急医療体制 [3 F ガーデンコート]			
	◇ロータリー財団部門 [3F 春景]			
	◇会員増強・維持・女性活躍推進／雑誌公共イメージ／ITガバナー月信／R L I [3 F 利休その 1]			
	◇情報規定・地区戦略計画・危機管理 [3 F 利休その 2]			
	◇米山記念奨学部門 [26 F クリスタル]			
14:15	～本会議場へ移動 (休憩含む) [4階 ロイヤルホール]			
14:30	講演 R I D 2840 パストガバナー 本田博己様 テーマ「クラブのビジョンを語り合うことから 元気なクラブづくりは始まる」			
15:30	謝辞		ガバナーエレクト	藤井 秀香
15:35	部門別協議会 報告 オンツー・台北委員会からの P R		各部門別代表 オンツー・台北委員長	山元 芳裕
16:15	講評		次期研修委員会副委員長	辻 秀和
16:20	謝辞・閉会の辞		ガバナーエレクト	藤井 秀香
16:25	手に手つないで		司会者	
16:30	閉会点鐘		ガバナーエレクト	藤井 秀香

部門別／委員会別協議会一覧表

部門／委員会	部屋名	担当者
会長・幹事部門	4F ダイヤモンド	次期研修リーダー ガバナー パストガバナー ガバナーエレクト ガバナーノミニ 次期ガバナー補佐 菅根 清・丸山信仁・木綿紀文 澤田雅之・岩間總一郎・雪本 栄 谷 宗光・中野一郎

社会奉仕部門 地域社会奉仕 職業奉仕 インターアクト ローターアクト 青少年・RYLA 青少年交換	4F ロイヤルホール	次期地域社会奉仕委員会委員長 次期職業奉仕委員会委員長 次期インターアクト委員会委員長 次期ローターアクト委員会委員長 次期青少年・ライラ委員会委員長 次期青少年交換委員会副委員長	上野山栄作 角谷 浩二 渡辺 隆一 藤川 博康 橋本 竜也 吉野 惣太
---	------------	---	--

委員会その1

研修委員会 国際奉仕 オンツー・台北	3F ガーデンコート	次期研修委員会副委員長 次期国際奉仕委員会委員長 次期オンツー・台北委員会委員長	辻 秀和 林 正 山元 芳裕
--------------------------	------------	--	----------------------

ロータリー財団部門 ロータリー財団 財団資金管理小 財団補助金小 財団資金推進小 財団ポリオ・プラス小 財団学友小 財団監査	3F 春景	次期ロータリー財団委員会委員長 次期財団資金管理小委員会委員 次期財団補助金小委員会委員 次期財団資金推進小委員会委員長 兼ロータリー平和センター 次期財団ポリオ・プラス小委員会委員 次期財団学友小委員会委員長 次期財団監査委員会委員	初田 隆生 松村 秀一 中元 耕一郎 林 俊行 上野 雅巳 高寺 壽 矢倉 甚兵衛
---	-------	--	---

委員会その2

会員増強・維持／女性活躍推進 雑誌・公共イメージ IT・ガバナー月信 RLI	3F 利休その1	次期会員増強・維持／ 女性活躍推進委員会委員長 次期雑誌公共イメージ委員会委員長 次期 IT・ガバナー月信委員会委員長 次期 RLI 委員会委員長	山下 茂男 井手 良明 寺下 卓 浅岡 善彦
---	----------	---	-------------------------------------

委員会その3

情報規定 地区戦略計画 危機管理委員会	3F 利休その2	次期情報規定委員会委員長 次期地区戦略計画委員会委員長 次期危機管理委員会委員長	石津 剛彦 成川 守彦 福井 隆一郎
---------------------------	----------	--	--------------------------

米山記念奨学会部門

米山記念奨学 米山選考小 米山寄付増進小 米山学友小	26F クリスタル	次期米山記念奨学委員会委員長 次期米山選考小委員会委員長 次期米山寄付増進小委員会委員長 次期米山学友小委員会委員長	玉井 洋司 淡野 勝也 木村 勝次 新本 憲一
-------------------------------------	-----------	---	----------------------------------

お願い：

- 1) 地区役員・幹事は出来るだけ割り当てられた各部門の運営にご協力願います。
- 2) 各部門とも記録が必要です。
- 3) 15:35分から本会議場で部門別の発表がございますので代表発表者1名を決めておいて下さい。

2020-2021年度 RI会長紹介



ホルガー・クナーク

2020-21 年度 RI 会長
Hezogtum Lauenburg-Mölln
ロータリークラブ所属
ドイツ

1992年にロータリー入会。ロータリーの財務長、理事、モデレーター、各種委員会の委員や委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー、地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務める。

不動産業を営む「Knaack KG」のCEO。125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャー。

地域社会では、ラッツェブルク市市民財団の創設メンバーであり、Gut Grambekゴルフクラブの会長を務めた経験をもつ。カール・アダム財団の会長で創設者。

2020-2021年度 RI会長挨拶

2020-2021年度 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク挨拶



※本文は 2020 年 1 月 20 日国際協議会にて講演されました。

14年前、ロータリーはここサンディエゴで初となる国際協議会を開催しました。当時ガバナーエレクトだった私は、今皆さんがおられるところに座り、待ち受ける責務とリーダーとしての挑戦で緊張しておりました。

2020年となった今、サンディエゴで開かれる最後の国際協議会でも、やや緊張気味です。私にとっては今回のほうが責務が大きいからです。しかし、可能性も大きいのです。これからのあらゆる機会を皆さんと共有できることを、とても楽しみにしています。

新たなリーダーシップの年度とともに地区の重要な仕事が終わってしまわずに、さらに注力されていくよう、皆さんはチームの一員となって年度を越えて協力します。

私もチームの一員です。

ロータリーの成長に対するマーク・マローニー会長の強い決意を受け継いでいけることを誇りに思います。とはいえ、数字を掲げて成長を求めるようなことはしません。その理由はごく単純です。これまで数字を掲げて成長を求めるたびに、失敗に終わってきたからです。皆さんには、数字にこだわる代わりに、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにしてロータリーを成長させることができるかを考えていただきたいと思います。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。そして、立ち足る課題に立ち向かうため、いかに組織を強くできるか。ポリオ根絶の取り組みによって世界でロータリーへの認識が高まっているこの絶好の機会に、行動を起こさなくてはなりません。「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない」のです。

多くの意味で、ロータリーは素晴らしい状態にあります。財務も健全です。財団は、世界で最高の慈善団体の一つに数えられています。グローバル補助金は増え続け、ロータリーは年々、国際的な活動に注力するようになっています。

ロータリーはまた、興味深いかたちで進化しています。今では、アジアのロータリアン数が北米のその数を上回っています。しかし、この傾向が続けばリスクもあります。特に人口の高齢化が進む地域で、ロータリーが衰退し、高齢化しています。

何もせずにこれまでの功績に満足していることはできません。デジタル革命が私たちにもたらした打撃は、予想をはるかに超えています。これまでもこの課題に直面していましたが、十分な対応が取られてきませんでした。最近、ニューヨーク州ロチェスターでロータリアンの方々にお話しする機会がありました。コダックの元幹部もそこに出席していました。その方によると、写真がいずれデジタルに移行するだろうと皆わかっていたものの、実際にそれほど早くそれが起こるとは予期していなかったそうです。業界の世界的リーダーだった会社は、わずか数年で倒産してしまいました。

時間は、私たちのためにスローダウンしてくれません。

とはいえ、私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです。

ドイツで私たちは、ロータリーは価値を共有し、高潔な心をもつ人のコミュニティであると考えています。人びとをロータリーに引きつけるのは、友情と人脈づくりの機会です。だからこそ、クラブが強いのです。奉仕の力は強いクラブから生まれます。

「四つのテスト」は、客観的に物事を決める上で助けとなります。その要は、内省です。時に、自分の目を見たことが真実であるかどうかさえわからなくなることがあります。しかし、「四つのテスト」のおかげで、私たちはこう自問します。「自分は正直か」「自分のしていることは正しいか」、と。これは大切なことです。では、自分に正直であるなら、将来を考えたとき、待ち受ける課題に取り組むためにロータリーは十分に手を尽くしていると言えるでしょうか。

ロータリーは変わらなければなりませんし、必ず変わります。古き良きロータリーではなくなったと文句を言うロータリアン仲間がいたとしても、変わらなければならないのです。ポール・ハリスが言ったように、時に革命的でなければなりません。そして、革命的であるべきときは、まさに今なのです。その一つの方法は、新クラブのモデルをつくり、ロータリー会員であることの意味を考え直すことです。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです。

多くの若者にとって、一緒に座って食事をするのは、一番良い例会の方法ではありません。この方法で100年以上例会を開いてきたからといって、それが唯一の方法であるわけではありません。例えば、スザンヌが所属するクラブは地元のEクラブですが、週1回、オンラインで例会を行い、スマートフォンのアプリで連絡を取り合い、顔を合わせるのは月1回です。

スザンヌのクラブの会員は、27歳から70歳にわたります。私は、ロータリークラブのこのような世代の多様性が好きです。多世代のクラブ、これこそが理想です。これに成功するクラブもあるでしょうが、若い世代のニーズに応じてはじめて可能となります。

新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解

決策の一部にすぎません。皆さんには、これを実施する力があります。これが成功するかどうかは、皆さん次第です。新しいロータリークラブの結成は、地区ガバナー特有の責務です。国際ロータリーが既に変化を受け入れた今、これらの新クラブを実現できるかどうかは皆さんにかかっています。

ところで、若い世代の声を聞き、既存クラブへの入会を若い世代にとってより魅力的なものとする一つの方法は、環境にもっと焦点を当てることです。オーストラリアの山火事など、近年の災害により、断固たる行動を取ることの重要性が浮き彫りとなっています。過去3代の会長は、環境保全にロータリーがより力を入れるべきであることを強く主張しました。できることは数多くあります。プラスチックの消費を減らすこと、自宅やオフィスの冷房や暖房を効かせすぎないこと、ドイツの高速道路で飛ばしすぎないこと……。ロータリーは奉仕プロジェクトに環境保護や持続可能性を既に組み入れています。これらの問題をもっと優先させなければなりません。若い人たちは、私たちから行動へのインスピレーションをもらうことを待ち望んでいます。

今の若者は、奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいます。この傾向をローターアクトに見ることができます。ローターアクトは今や、私たちと同じく、国際ロータリーの一部です。作為的な年齢制限は廃止されました。自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものか、ローターアクト自らに決めてもらおうではありませんか。ローターアクトと一緒に活動したことのある方なら、この若者たちが聡明で、活発で、行動力のある人たちであることを知っているはず。ローターアクトは、テンポが速く、より活動的で、せっかちです。この「せっかち」は、長所です。今すぐに結果を出したいから、物事を早く成し遂げるのに必要な仕事に取り組もうとします。

このせっかちさと粘り強さが、成果を生みます。9年前、ベルリン動物園と協力した新しいプロジェクトのアイデアをロータリアンたちが思いつきました。それは、年に1度、週末に、運動、読書、健康的な食事を促進するために子ども向けの楽しいショーを開催するものでした。ロータリークラブがまだこのプロジェクトについて検討し、協議している間に、ローターアクトたちはこれを早速開始することを決めました。そして今、ベルリンの全36のロータリークラブとローターアクトクラブがこのプロジェクトに参加し、何千人という恵まれない子どもに喜びを与えています。

ですから、課題に立ち向かい、ローターアクトや若い職業人にロータリーの扉を開こうではありませんか。

一方で、ロータリアンとなるのにふさわしくない年齢はないということも覚えておきましょう。年齢にかかわらず、誰でも歓迎します。どの年齢の人も、与えることのできる大切な何かをもっています。若いロータリアンに働きかけながらも、ほかの年齢の人を忘れてはなりません。

しかし、既存のクラブはどうでしょうか？ 世界には、会員の参加促進と維持に成功している地域がある一方で、もっとがんばらなくてはならない地域もあります。成功するには、慎重に新会員を選び、それぞれの新会員に合ったクラブに入会できるようにしていかなければなりません。クラブが新会員の期待に沿う必要があります。十分に時間をかけてこれに真剣に取り組むことは、生涯続いていく新しい友人を選ぶことと同じです。

新会員を、会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります。退会した人はロータリーについて周囲に話し、これがロータリーのイメージに影響します。すべての新ロータリアンに、生涯のロータリアンになってもらいたい、ロータリーに積極的に参加する友人になってもらいたいと、私たちは考えています。

どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学び、その経験と知識を生かすことで、私たちはより強くなります。だからこそ、クラブに、そしてリーダーの役職に、もっと多くの女性が必要なのです。

新しい人と出会い、その人たちにロータリーを楽しんでもらうことは、私たち自身にとっても楽しみであることを忘れてはなりません。私たちは、互いのつきあいを楽しみながら、さまざまな活動で充実した時間を過ごしています。このような楽しい経験を生かす必要があります。

楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。

ロータリーのビジョン声明の最初の一語がこの言葉 (together) であることも、驚くことではありません。

「Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves. (私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています)」

ビジョン声明は、ロータリーの新しい行動計画の土台を成すものです。その実施において、皆さんは極めて重要な役割を担っています。この新しい行動計画の要は、ロータリーの成長であり、デジタル時代にロータリーが適応する一助となることです。この行動計画を実行に移す時が、今やってきました。今後5年間、この計画によりロータリーがより大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促し、適応力を高めていくことになります。

すべてのロータリークラブに、少なくとも年に1度、戦略立案会議を開いていただきたいと思います。各クラブが、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員にもたらす価値がどのようなものかを認識すべきです。

ロータリーが唯一無二で、世界とシェアするに値する存在であるのはなぜでしょうか。皆さんご自身や奉仕の受益者に、どのような比類ない機会への扉を開くことができるでしょうか。

私たちは人との交わりを楽しみます。世界のどこへ行こうと、出会ったロータリアンと親友になり、もっと一緒に時間を過ごしたいと感じます。私たちは、異なる環境、異なる世代、言葉、文化をもっています。ロータリーでの過ごし方でさえ、国によって、またクラブによって異なります。この多様性こそが、ロータリーを素晴らしいものとしているのです。

私たちは、共有する価値観の下に集まっています。私たちは皆、固い友情でつながり、「四つのテスト」を信じています。ロータリーを経験する方法はいたるところで異なりますが、「四つのテスト」は誰にとっても同じです。

ロータリーは、奉仕プロジェクトを実施し、やり遂げる機会を与えてくれます。これらは、意義があり、持続可能なプロジェクトです。ロータリーでは、寄付だけでなく、奉仕活動も行い、その奉仕がもたらす持続可能なインパクトをこの目で見ることができます。これは、他にはない機会です。

ロータリーは、奉仕のアイデアを実行に移すために、世界を旅する機会を私たちの多くに与えてきました。

ロータリーはまた、リーダーシップの機会も与えてくれます。私たちは皆、新しい大きな責務を引き受けました。これは、自分自身の栄光のためでなく、ロータリーのために、ロータリーのネットワークを強化する機会です。人びとのためにリーダーシップへの道を切り開いてあげるこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることで皆さん自身がより効果的なリーダーとなります。

私たちがここに来たのは、ロータリーがもたらす機会を信じているからです。それは、ほかの人びとにとっての機会であり、私たち自身にとっての機会です。奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると信じています。私たちはまた、どんな奉仕の行いも、インスピレーションを与えることで私たちを変える力をもっていることを知っています。

ご存知の通り、ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。

私たちの中核的価値観を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれます。

ロータリアンとして、ロータリーにとってのこの素晴らしい時にリーダーの役割を務められることは幸いです。

私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

**従って、私たちの年度のテーマは、
「ロータリーは機会の扉を開く」です。**

国際ロータリー第2640地区 2020-2021年度 **ガバナー略歴**



氏名 **藤井 秀香** (ふじい ひでか)
クラブ 岸和田東ロータリークラブ
生年月日 1956年4月23日

学歴 帝塚山学院 小学部、中学部、高等学部、短期大学
職歴 医療法人 良秀会(泉佐野、岸和田、高石、泉北、津久野)
[本部] 高石藤井病院 理事 相談役
公職 民生委員、児童福祉委員
ロータリー歴 1996年2月 岸和田東ロータリークラブ入会
2013年～2014年 会長
2017年～2018年 第6分区ガバナー補佐
2018年～2019年 第6分区ガバナー補佐
2019年～2020年 ガバナーエレクト
R財団寄付 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証③
米山寄付 米山功労者マルチプル⑤
メジャードナー
ベネファクター

国際ロータリー第2640地区 2020-2021年度 **ガバナーエレクト略歴**



氏名 **豊岡 敬** (とよおか さとる)

クラブ 富田林ロータリークラブ

生年月日 1963年6月3日

学歴 米国セントマイケルス大学経済学部 (BA) 卒

職歴 日本フッソ工業株式会社 代表取締役

公的な役職 堺商工会議所常議員

公益財団法人堺納税協会副会長

公益社団法人大阪府工業協会評議員

堺国際ビジネス推進協議会会長

大阪木材工場団地協同組合理事

ロータリー歴 2002年6月 富田林ロータリークラブ入会

2008年～2011年 地区青少年交換委員長

2014年～2015年 クラブ会長

2016年～2017年 第5分区ガバナー補佐

2017年～2018年 地区幹事

2018年～2019年 地区雑誌・公共イメージ委員長

2019年～2020年 地区青少年交換委員長

2019年～2020年 第5分区ガバナー補佐

R財団寄付 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー認証⑧

米山寄付 米山功労者①

国際ロータリー第2640地区 2020-2021年度 **ガバナーノミニー略歴**



氏名 **森本 芳宣** (もりもと よしのぶ)
クラブ 和歌山北ロータリークラブ
生年月日 1953年6月8日

学歴 和歌山経理専門学校卒
職歴 森本会計事務所 所長
公的な役職 なし
ロータリー歴 1999年11月1日 和歌山北ロータリークラブ入会
2010年～2011年 和歌山北ロータリークラブ会長
2014年～2015年 和歌山北ロータリークラブ幹事
2015年～2016年 RI2640 地区財務委員
2016年～2017年 RI2640 地区財務委員
2017年～2018年 RI2640 地区財務委員
2017年～2018年 和歌山北ロータリークラブ幹事
2019年～2020年 RI2640第3分区ガバナー補佐
R財団寄付 マルチプル・ポールハリス・フェロー認証⑥
米山寄付 米山功労者⑨

本会議講師紹介並びにご挨拶

氏名 **本田 博己** (ほんだ ひろき)
所属 国際ロータリー 第2840地区 (群馬)
前橋ロータリークラブ
職業分類 乳製品販売



《略歴》

1950年(昭和25年)3月生 大分県別府市出身

学歴：国立名古屋大学文学部哲学科卒業

職歴：1976年 株式会社福武書店(現ベネッセ・コーポレーション)入社。
辞典・書籍の編集に携わり、編集長・部門長を歴任。

1992年 群馬ヤクルト販売株式会社 取締役就任。

常務・副社長・社長を歴任し、現在、同社 代表取締役 会長。

E-mail : honda@gunma-yakult.co.jp、自宅 : honda1189@ever.ocn.ne.jp

《ロータリー歴》

《クラブ》1996年5月 前橋ロータリークラブ入会

2001年-2002年 幹事 2010年-2011年 会長

《地区》国際ロータリー第2840地区(群馬)

2003年～ 会員増強・退会防止委員会委員長、曾我隆一ガバナー年度(2005-2006)地区副幹事・事務局長、管理運営委員会委員長、研修委員会委員を歴任。

2013年-2014年 ガバナー

2015年-2017年 地区研修リーダー、地区RLI推進委員会委員長

2018年-2019年 地区戦略計画委員会・地区RLI推進委員会アドバイザー

2019年-2020年 地区RLI推進委員会アドバイザー・審議会地区補欠代表議員

《全国》2014年-2015年 ロータリーの友事務所理事(ロータリーの友委員会顧問)

2015年-2018年 RLI日本支部 カリキュラム委員会副委員長、地区代表

2016年-2021年 日本のロータリー100周年実行委員会ビジョン策定委員会 委員長

2018年RI研修リーダー

2018年-2021年 RLI日本支部 カリキュラム委員会・ファシリテーター委員会 副委員長

2018年～ 公益財団法人米山記念奨学会 広報委員会委員

RI会長代理(2016年：D2620、17年：D2610・D2700、18年：D2630、19年：D2510)

ポール・ハリス・フェロー(マルチプル)、ベネファクター、メジャードナー

米山功労者(メジャードナー)

《ロータリーに関する主な発表原稿》

『ロータリーの基本～研修の手引き～』(地区ウェブサイト 2009年9月～)

『ロータリーの力～会長の時間抄録～』(2011年7月 ロータリー文庫)

『ロータリーの希望～「奉仕の理念」とその実践をめぐる～』(2014年6月 ロータリー文庫)

『「奉仕の理念」が世界を救う』(2014年11月 ロータリー文庫)

『ロータリーはどこに行く?～日本のロータリー100周年に向けて』(2016.11 ロータリー文庫)

『「職業奉仕」はロータリーの根幹か?』(ロータリーの友2017年1月号)

『変わりゆく時代とロータリー』(2017.11 ロータリー文庫)

クラブのビジョンを語り合うことから 元気なクラブづくりは始まる

～ コロナ禍に直面して～

国際ロータリー第 2840 地区 (群馬)

パストガバナー 本田 博己 (前橋)

国際ロータリー第2840地区、前橋ロータリークラブの本田博己と申します。先般、藤井秀香ガバナーエレクトよりご依頼を受け、貴地区の地区研修・協議会で講演を行う予定でしたが、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴い、地区研修・協議会が中止になったと連絡をいただきました。皆様にお会いできることを楽しみにしていましたので、とても残念に思います。代わりに冊子の配布を行うということですので、私が講演で皆様にお伝えしたかったことを以下に要約して託します。また、コロナ禍とロータリーの活動についても最後に触れたいと思います。

会員増強とは何か

はじめに、会員増強の話です。会員増強と聞いてうんざりする人も多いと思います。随分前の話になりますが、私は地区の会員増強・退会防止委員長を務めたことがあります(2003-2004年度)。その時、手続要覧の原文(英語)を確認して「会員増強」(Membership Development)には、次のような3つの意味が込められているということがわかりました。1. クラブ組織・基盤の強化 2. 会員一人一人のロータリアンとしての資質・能力の開発 3. 活動の結果としての会員数の増加 です。

会員増強といえば、「会員数を増やすこと」としか思っていなかった私にとっては大きな発見でした。クラブ組織や基盤を強化する事、一人一人の会員がその能力をクラブで十全に発揮すること、そのことでクラブを活性化すること、そうした活動の結果が会員数の増加につながるということがよくわかりました。

*** 会員数増加の公式 (RI:2003年)**

会員数の増加
membership = E + 3R

Extend 拡大(新クラブ結成)
Recruit 新会員の勧誘
Retain 会員維持(退会防止)
Revitalize 活力の再生

Rotary International 11/03

同じ頃（2003年）、私が「会員数増加の公式」と呼んでいる式がRIから示されました。「会員数の増加＝E + 3 R」

会員数を増やすには、Extend: 拡大（新クラブ結成）、Recruit新会員の勧誘、Retain会員維持（退会防止）、それに加えて、Revitalize活力の再生が必要だ、ということが示されています。

特に、最後のRevitalize（活力の再生）に注目してください。クラブ会員数の増加は、クラブ活性化、魅力的なクラブづくり、今の言葉で言えば「元気なクラブづくり」と表裏一体であることを強調しておきたいと思います。

私たちのクラブはどこに行く？

あなたのクラブが直面している大きな課題は何でしょうか？ 2017年に日本のロータリー100周年実行委員会が実施した全国のロータリークラブに対するWEBアンケートの結果（詳細は『ロータリーの友』2017年11月号）によると、「貴方のクラブが直面している課題は何ですか？」という問いに対して、「会員の高齢化」「会員の減少」「会員候補者不在」「例会出席率低下」「例会・委員会活動などのマンネリ化」「ネット対応不十分」等々、会員増強やクラブ活性化に関する問題点が多数のクラブより寄せられました。

「ロータリーはどこに行く？ - 昼飯を食べに行く」と言う言葉は、皮肉屋で知られる劇作家バーナード・ショーが90年前の1930年に言った言葉として有名ですが、それを「私たちのクラブはどこに行く？」という問いに置き換えたら、現代の私たちにとって切実な問いになるのではないのでしょうか。

クラブのビジョン・戦略計画（長期計画）の立案と推進がクラブの問題解決、元気なクラブづくりへの突破口になります。

事例：前橋ロータリークラブの元気なクラブづくり

少し古い事例ですが、私が所属する前橋ロータリークラブの元気なクラブづくりの活動をこれからご紹介します。クラブ所在地は群馬県前橋市、創立年月日は1953年9月28日ですので今年で67周年になります。

今から17年前、創立50周年を迎えた前橋ロータリークラブでスタートしたのが「21世紀委員会」と言うプロジェクト活動です。活動は3年間続きました。

活動の目的は、前橋ロータリークラブ創立50周年の節目に、50周年を祝うだけでなくクラブの現状を総点検し、クラブの将来像を描こうということでした。それは、2003-04年度 2840地区の森田ガバナーが提唱した「魅力あるロータリーづくり」に呼応した活動でもありました。21世紀委員会には幅広い年齢層の会員から委員が選抜されました。私も入会7年目、「若手」から「中堅」に差し掛かった頃でしたが、副委員長として3年間活動に参画しました。

第1期（2003-2004）の活動は半年間におよび、最後に「クラブ改革提言」を報告書にまとめました。その内容は以下の通りです。

《クラブ改革の目標》

会員が充実したロータリーライフを享受することができ、かつ社会的評価（存在価値）の高いクラブに再生する。

《改革の方向性》

長期的なビジョン・戦略を定め、年度を超えて継続的に改革を推進する。

《具体的提言》

1. ロータリー理念を共有化する。
 - ① 全会員対象のロータリー勉強会を定例化する
 - ② 新会員へのオリエンテーションを強化する
 - ③ 会員の自発的な勉強会を奨励する
2. 例会を充実させる。
 - ① 出席が楽しい例会にする
 - ② オープンなコミュニケーションの場とする
 - ③ クラブ・フォーラムを活用する
3. 委員会活動を活発にする。
 - ① 委員会を統合・再編し、活動を強化する
 - ② 活動・事業内容は、毎年見直す仕組みを作る
 - ③ 「現況報告書」を事業計画書として充実させる
4. 地域社会との関わり合いを深める。
 - ① 常に市民の声を聴き、新奉仕プロジェクトを開発する
 - ② 近隣クラブ・地区との連携を強化する
5. 組織運営を活性化する。
 - ① 理事会強化・クラブ協議会の活用などリーダーシップ機能を高める
 - ② 効果的な予算づくりの仕組みを作る
 - ③ 職業分類表を整備し、「会員増強」（組織強化）に活用する
 - ④ 『会員満足度アンケート』を継続実施し、会員満足度を高めてゆく

この「クラブ改革提言」（2004年6月）のポイントが、クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の「9段階の実行策」（2005年1月RI理事会発表）と不思議に符合していました。2005年当時のCLPにおける9段階の実行策とは、① 長期計画の立案 ② 年度目標の設定 ③ クラブ協議会での情報提供 ④ クラブ内および地区・クラブ間の意思疎通 ⑤ クラブ指導者の育成と継続性の確保 ⑥ 委員会構成とクラブ細則の変更 ⑦ 親睦の機会 ⑧ 奉仕プロジェクト・委員会活動への積極的参加 ⑨ 包括的な研修企画 の9項目です。

前橋ロータリークラブ21世紀委員会の「クラブ改革提言」とRIが提唱するクラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）における「9段階の実行策」の符合は、世界のロータリークラブが直面している課題の共通性を表しているのではないかと当時考えました。それは、前述した「クラブ活力の再生」（Revitalize）という、今でも日本の多くのロータリークラブにとって切実な課題です。

前橋ロータリークラブ21世紀委員会の活動と成果

21世紀委員会でやったことを整理しますと、第1ステップは「クラブの現状を真摯に把握する」ことでした。組織としての現状を自己評価するために、「クラブ活力テスト」を創り、委員会メンバーで実施しました。その時のメンバーのクラブに対する自己評価はCレベル（5段階評価）でした。結果の概評によると「クラブの現状：あなたのクラブは、ロータリーの理念に沿った活動を実施しており、一定の成果も上げていますが、一部の領域で硬直化が進み、メンバーの意識にもばらつきが見られます。」「対策(アドバイス)：クラブの強みと弱みをメンバー全員で再確認し、体質改善・組織強化の中長期計画を策定し、それに基づいて、具体的プログラムを実施しましょう。メンバーのロータリアンとしての研鑽・学習にも力を入れてください。」というものでした。

また、RIからツールとして提供されていた「会員満足度アンケート」を日本人ロータリアンにわかりやすく表現を変えて、全会員対象で実施しました。主な質問項目は、前橋ロータリークラブの組織としての現状、クラブとしての活動度合い(新会員勧誘、会員教育、地域社会に対する奉仕プロジェクト、国際的奉仕プロジェクト、ロータリー財団・米山奨学会への協力…、クラブの活動に対する会員自身の参加状況(例会、委員会活動、会員増強、会員教育、奉仕プロジェクト、R財団・米山、広報、親睦、…)、クラブの活動・プロジェクトへの参加に対する満足度、活動の費用に対する負担感、例会の満足度と魅力的な例会への提案、などでした。

「クラブ活力テスト」と「会員満足度アンケート」の結果を要約すると、

1. 会員はクラブと自分自身の現状に必ずしも十分に満足してはいない。
2. クラブは、組織とその運営に関して、改善すべき点が多々ある。
3. 私たちは、ロータリーの理念や、国際ロータリーの(諸活動の)意義について、知らないことが多い(勉強不足である)。

21世紀委員会でやったことの第2ステップは、私たちの勉強不足を解消してゆくために「ロータリーの理念・歴史・活動を学ぶ」ことでした。ポール・ハリスから始まったロータリーの歴史、「奉仕の理念(当時は「奉仕の理想」)」の意義、日本のロータリーの歩み、国際ロータリーのプログラム等々、学ぶことはたくさんありました。

21世紀委員会でやったことの第3ステップは、「クラブのビジョン・戦略を定めてゆく」ことでした。そのために、委員会で「私たちはどのようなクラブを目指したいのか?(理想のクラブ像とは?)」、そして「私たちはどのようなロータリアンを目指したいのか?(理想の会員像とは?)」という問いに対する答えを出し合いました。私たちがその時検討して抽出した、理想のクラブ像、理想の会員像は以下の通りです。

《クラブの理想：16項目》

1. 明るく活気に満ちた組織風土である。
2. 会員のニーズに適った会員本意の運営を行っている。
3. 会員は、充実したロータリーライフを享受し、満足度が高い。
4. 地域社会に存在価値を認められている。
5. 例会や委員会活動が活発である。

6. 理事会がリーダーシップを発揮している。
7. 入会を希望する会員候補者が多い。
8. 会員に多様な「奉仕の機会」を提供できる。
9. クラブ独自の奉仕プログラムを持っている。
10. 職業人同士の事業上の発想の交換が活発に行われている。
11. 会員の学習と成長の環境が整っている。
12. 親睦と友情を育む機会がある。
13. バランスのとれた職業構成が保たれている。
14. 会員基盤が安定しており、成長力がある。
15. 「歴史と伝統」に安住せず、また前例にとらわれず、内外の環境変化に対応し、新しい試みに挑戦している。
16. 指導者を養成したり有益な情報・実例を発信したりできる、他の模範となるリーディング・クラブである。

《会員の理想（真のロータリアン）：10項目》

1. 善良な市民である。
2. ロータリーの「奉仕の理念」を深く理解し、信奉している。
3. 高い職業倫理を持ち、自らの事業の社会的価値の向上に努めている。
4. 学習意欲が旺盛で、人間的成長を続けている。
5. クラブ外の社会で、積極的に奉仕の実践を行っている。
6. 会員同士の親睦と友情を大切にしている。
7. クラブ奉仕へ積極的に参加している。
8. 国際ロータリー提唱の奉仕プロジェクトへ、積極的に参加している。
9. ロータリー財団や米山奨学会へ、積極的に協力している。
10. クラブを超えた指導力を身につけるよう努力している。

前橋ロータリークラブの21世紀委員会の活動は3年間にわたって継続されました。第1期はクラブの現状分析とクラブの将来像、第2期は、委員会活動の活性化、組織の活性化、社会奉仕と広報、そして第3期は、改定クラブ細則の内容検討、あるべきロータリー像の検討、クラブ改革提言（3年間）総括をテーマに取り組みました。

今から振り返って見ると、前橋ロータリークラブの21世紀委員会（2004～2006）の活動は、「元気なクラブづくり」であり、クラブの「ビジョン・戦略計画づくり」でもあったと言えます。

2003年～2006年の21世紀委員会活動の成果は、3年間の会員満足度アンケートの評価数値の変化にはっきり表れています。第1回～第3回「会員満足度アンケート」の結果を比較分析すると、明らかに会員の意識が大きく変化しました。

1. クラブ組織の現状に対する会員の評価が大幅に高まった。
2. RIや地区が提唱する諸活動への関心・理解が深まった。（関わる意識が高まった）
3. 会員は、クラブの諸活動に積極的（主体的）に参加するようになった。

4. クラブの活動やプロジェクトへの参加の（会員自身の）満足度が高まった。
5. 会費やロータリー財団・米山奨学会への寄付金の負担感が減った。
6. 会員は毎週の例会を楽しんでいる。
7. 会員はクラブの会合を改善することに意欲的である。
8. 会員家族のロータリーに対する関心が高まった。

要は、肯定的な評価が増え、否定的な評価が減ったのです。なぜ会員満足度が大きく向上したのか、その理由で考えられるのは、1. アンケートを定期的実施し、結果を会員にフィードバックし、問題意識を共有化した。2. 実行可能な改善（例会の充実など）は、即実行した。3. 改革提言をもとに、全員参加の新奉仕プロジェクトを開始した。4. 3年間の各年度会長のリーダーシップのもと、継続的・具体的なクラブ改革運動を推進した。ということです。特に最後の、各年度の継続的リーダーシップと支援が重要です。

この3年間のクラブ改革の活動で学んだことは、以下の4点です。

1. クラブの現状の問題点・課題・危機感、そしてビジョンを共有することで会員の一体感（世代を超えた）は高まる。
2. ロータリー理念や R I の活動・プログラムに対する理解が深まれば、会員のロータリーへの帰属意識・参加意欲が高まる。
3. 例会・委員会活動や奉仕プロジェクトに主体的に参加すれば（主体的に参加できる機会を多く用意すれば）会員満足度は高まる。
4. 世代を超えた一人一人の会員の満足度（充実感、参画意識、やりがい）を高めて行けば、クラブ全体の組織活力が高まり、元気なクラブになる。

要約すれば、各年度会長のリーダーシップのもと、会員満足の向上に継続的に取り組めばクラブ組織は強化され、会員増強の基盤ができる、ということだと思えます。

ただし、注意しなければならないことが一つあります。居心地のよいクラブと活気に満ちた元気なクラブとは違うということです。会員がクラブの現状に満足している（居心地の良い仲良しクラブ）だけでは、クラブの将来は保証できません。全員でビジョンを目指して、元気なクラブづくりに継続的に取り組むことが大切です。

21世紀委員会の活動から10数年経た前橋ロータリークラブの元気なクラブづくりの現状と主な活動を紹介しておきます。

1. 「会員満足度アンケート」は定期的（毎年）に継続実施しており、その都度会員にフィードバックしている。
2. 21世紀委員会は期間限定の特別委員会だったが、現在は「クラブ長期戦略計画委員会」を常設し、時代の変化に対応しようとしている。
3. グローバル補助金申請事業に挑戦している。（VTT事業も実施）
4. 区内6クラブ合同奉仕プロジェクト（前橋学校フェスタ）を立ち上げ、主管している（毎年）。
5. 新会員研修を年2回実施している。
6. 毎年友好クラブ（新潟、水戸）との定期交流を続けている。

以上のような年度を超えた継続的な「元気なクラブづくり」の結果、会員数は、2003年当時の98人から

毎年純増し、現在（2019年7月）は121人（内女性会員は3人から11人へ増加）になっています。会員の平均年齢は、2003年は60.3歳、現在は60.1歳とあまり変わっていません。会員が毎年コンスタントに入会しているため、高齢化傾向は見られません。

*前橋ロータリークラブのクラブ改革の報告書やその時活用したツールについては、下記の国際ロータリー第2840地区のウェブサイトのページに収録されています。

<http://www.rid2840.jp/ando/support1.html>

元気なクラブづくりとは

「元気なクラブづくり」とは、クラブの「理想」と「現実」のギャップを埋めてゆくことではないでしょうか。

現実のクラブには直面する課題、問題点が山積しています。一方、クラブのみんなが話し合って合意・共有した、クラブの理想像、高い目標ができたと思います。その理想像と現実との間には大きなギャップが存在します。

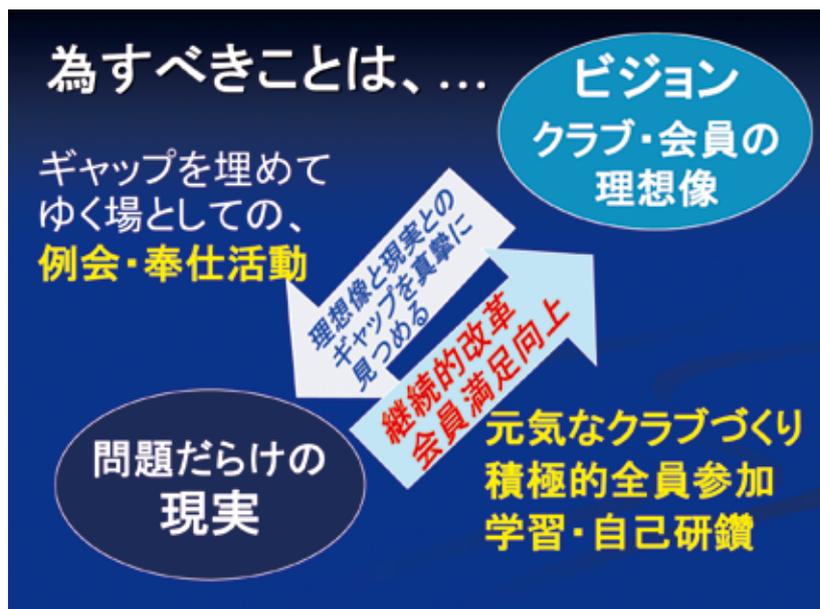
まずは、そのギャップを真摯に見つめることから始めましょう。この段階をいい加減に済ませず、丁寧に時間をかけて行うことが大切です。理想と現実のギャップを埋めてゆく場は、例会や奉仕活動です。親睦（Fellowship）もこういう場で育まれます。そして、年度を超えた継続的なクラブ改革を全員参加で進めること、会員はロータリアンとしての学習と自己研鑽を怠らないこと、そうした活動が、クラブに対する会員満足度を高め、クラブも会員も理想像に近づいてゆくでしょう。

元気なクラブづくりのポイントをまとめると、

1. クラブ指導者がクラブの現状を真摯に把握・分析し、課題を全員で共有する
2. みんなで希望に満ちたクラブの将来像を描く
3. 会員満足度アンケートを定期的実施し、事業計画に反映する
4. 年度を超えて継続的に改革に取り組む（会長以外、会長/ミニも参画する）

クラブのビジョンづくり、そして元気なクラブづくりを仲間と共に進めれば、「私たちのクラブはどこに行く？」という問いの答えも見つかるでしょう。

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）は、現在では「元気なクラブづくり」という言葉で推奨されています。RI発行のCLPのパフレットには、10項目の「元気なクラブになるためのステップ」が示されています。この内容は、15年前のCLPの「9段階の実行策」とほとんど変わりません。このパンフの最初で



「あなたのクラブは元気ですか？」と問いかけています。「元気なクラブになるためのステップ」10項目を質問の形で示します。

あなたのクラブは、

1. クラブの3～5年後の姿を思い描いていますか？
2. 年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力していますか？
3. 会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会になっていますか？
4. クラブ内でオープンなコミュニケーションを図っていますか？
5. 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図っていますか？
6. クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正していますか？
7. 会員同士の交流を深めていますか？
8. 会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにしていますか？
9. ロータリーのリーダーとなる人材を育てていますか？
10. クラブ運営に必要な委員会を設置していますか？

以上の問いにすべてYes！と答えられるクラブは、元気なクラブづくりが進んでいると言えるのではないのでしょうか。

あらためて「会員増強」とは？

元気なクラブづくりと会員増強とは表裏一体と前述しましたが、これまでの議論を踏まえると、結局、会員増強とは「仲間を増やすこと」に尽きます。仲間とはFellows、ロータリーのFellowship、生涯の友情に結ばれた仲間を増やすことです。共に「奉仕の理念(理想)」を信じ、ロータリーの諸活動に積極的に参加する「仲間」を増やすことが、会員増強の意義と言えます。それは、元気で魅力的なクラブを創ってゆく仲間を増やすことに他なりません。

「会員増強」は、RIや地区の号令でやるものではありません。「会員増強」は、クラブが元気になり永続するための最重要課題と言えます。したがって、会長・幹事や会員増強委員長に一任するのではなく、クラブ会員全員で取り組むべきと認識すべきでしょう。

「ビジョン」と「戦略計画」

上記CLPの第1項「クラブの3～5年後の姿を思い描く」は少し注釈が必要です。この第1項は、クラブの戦略計画を創ろうという意味ですが、私は「ビジョン」と「戦略計画」は違うと考えています。「ビジョン」は、将来像、理想像です。「ビジョン」は20～30年先の時代を見据えた、会員と組織のありたい姿(理想像)を描く必要があります。一方「戦略計画」は、今後3～5年の行動のステップを明らかにした計画です。RIは地区でもクラブでも戦略計画づくりを奨励していますが、ここで言う戦略計画はこの「行動計画」のことです。数値目標を含む「行動計画」は、毎年進捗状況を確認しながら見直す必要があります。ビジョン・戦略計画の策定のプロセスで、クラブ内の合意を形成してゆくことが求められます。「戦略計画」(＝行動計画)は次年度・次々年度のリーダーも参画することが欠かせません。

強調しておきたいことは、ビジョンが一番大事だということです。ビジョンを「絵に描いた餅」にしないのが、戦略計画（＝行動計画 Action Plan）だと考えましょう。

2020年現在、国際ロータリーは、「ビジョン声明」と5か年の「行動計画」（2019年～）から成る「戦略計画」を、すべての活動の指針・行動原理として強調しています。2018年1月の国際協議会で正式に発表された「ビジョン声明」は以下の通りです。

ビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

Vision Statement

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change - across the globe, in our communities, and in ourselves.

しかし、「ビジョン声明」はこのままでは空虚な文言に過ぎません。「持続可能な良い変化」（＝永続的変化：lasting change）を地球上、地域社会、自分自身の中で生み出そうと呼びかけていますが、“lasting change”とは何か、その内実は示されていませんし、議論されることもありません。「ビジョン声明」で目指している世界のビジョン（像）は明瞭ではないのです。現在の「ビジョン声明」で明確に示されているのは“Together, We unite and take action.”ということだけです。

最近のライオンズクラブ国際協会のウェブサイトのトップページには、“Together WE SERVE”という言葉が大見出しになっています。“We serve”というのは、もちろんライオンズの公式モットーです。現在の国際ロータリーの「ビジョン声明」が示しているものは、このままではライオンズとほとんど変わらないという見方もできます。

私たちロータリアン、そしてロータリークラブには「ビジョン声明」の内実を私たち自身が創造してゆくという大きな課題が投げかけられています。クラブのビジョン（将来像）をみんなで語り合うことから始めるかありません。

コロナ禍に直面して

現在、新型コロナウイルス感染拡大により、ロータリーでは、例会や地区行事、各種セミナーの中止が続いています。ロータリーだけではなく、人びとの生活、経済活動、団体活動、働き方や交際の仕方、コミュニケーションの形にまで大きな影響が出ています。緊急事態宣言解除後も影響は長期化することが予測されています。何年後かにコロナ・パンデミックが完全に終息しても、世界のあり方、人びとの交わり方は元の状態に戻ることはないでしょう。

今回のコロナ禍は、私たちのロータリークラブのあり方を本質的に自問する機会となるのではないのでしょうか。私たちのクラブは時代の変化や危機的状況にうまく適応できるのだろうか？ 例会は中止したままでよい

のか？ 例会やセミナーをWEB会議で実施することで、例会やセミナーの本来の機能・効用は満たされるのか？ コロナ禍で変えざるを得ないことと変えてはならないことがどこまでクラブ内で議論されているだろうか？ 世界的ネットワークの私たちロータリーは何でつながっているのだろうか？ そして何より私たちはどのようなクラブになることを目指すのか？

新しい年度は、そうした問いの答えをクラブの仲間と共に見つけ出す絶好の機会とも言えます。皆様それぞれのクラブ独自の「ビジョン声明」を創る絶好の機会でもあります。

皆様のクラブで、クラブの将来像についての議論が活発になり、ビジョンを共有した仲間とともに、希望に満ちた元気なクラブづくりと仲間を増やす活動が一層進むことを期待しています。

(2020年6月1日)

2020-2021年度のための 地区研修・協議会に際して

国際ロータリー第 2640 地区

2019 - 2020 年度 ガバナー 中野 均

所属クラブ / 堺東ロータリークラブ

2020-2021年度のための地区研修・協議会に際してご挨拶申し上げます。年度スタート準備に当たり、新型コロナウイルス感染者数が劇的に増加し、先月、緊急事態宣言が解除されたとは言え、いまだ収束が見られない中、地区研修・協議会がこのような方法で開催となりました。各クラブにおきまして次年度に向けたクラブ運営方針が今までと違う形で計画せざるを得ない状況であるをご推察申し上げます。

2019-2020年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。としてスタートしましたが、当地区において、地区戦略計画の策定が遅れ、ようやく2020年3月にビジョンを策定し向う3年間で取り組むこととしました。地区ビジョンについて、今回の配布資料に添付されていますが、簡単にお伝えさせていただきます。

- 国際ロータリー第2640地区は、国際ロータリーで定められた新しい「ビジョン声明」と、それに基づく「戦略的優先事項」及び目的を理解し、地域の特性を鑑みて活動を開始します。
- 国際ロータリー第2640地区は、不変である「ロータリーの中核的価値観」を尊重すると共に、新しい変化にも柔軟に対応し、持続可能なロータリーを目指します。
- 国際ロータリー第2640地区は、クラブの多様性に配慮し、元気で個性のある、魅力あるクラブ作りに注力します。

地区中期3か年目標（2019-2020年度、2020-2021年度、2021-2022年度）（中略）

- 1 クラブ会員基盤の向上に対する支援強化
- 2 人道的奉仕の重点化と財団利用の推進
- 3 公共イメージアップの向上とデジタル化

これを基に各クラブにおかれまして、クラブビジョン・中期目標を定めて頂ければ有難く思います。

ホルガー・クナークRI会長エレクトは、テーマとして「ロータリーは機会の扉を開く」とされました。これを受けて、藤井ガバナーエレクトは、地区スローガンを「ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう」お蔭さまに感謝し、救いを求める声に寄り添い、ロータリーと共に奉仕しよう。とされました。また、新型コロナ禍で、3月以降、殆どのクラブが例会を休会していました。緊急事態宣言が解除されて以降、少しずつ活動が始まり、クラブ例会も再開されていることと思います。この例会再開をRIテーマではありませんが、ロータリーは機会の扉を開くことで、例会再開の扉を開き、それぞれのクラブに合った奉仕活動・親睦活動にお力を発揮頂ければ有難く思います。

藤井ガバナーエレクトは、この数か月間、閉ざされていた奉仕・親睦の扉を地区スローガンにあるように開き、各クラブ会長エレクトの皆さまのご理解ご支援を得ながら地区運営をされることと思います。何卒宜しくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

次期地区研修・協議会の目的について

次期地区研修リーダー

榎畑 直尚

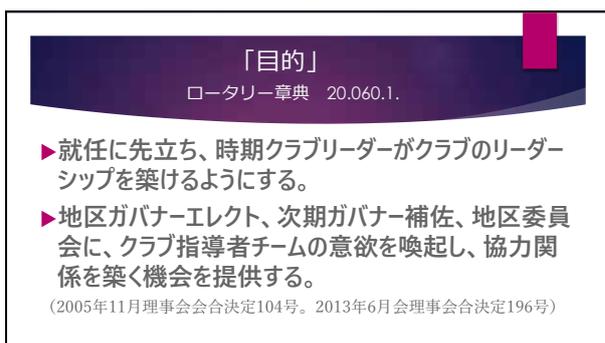
1



2018-2019年度のガバナーを務めた櫻畑直尚です。和歌山ロータリークラブの所属です。

藤井年度では、研修リーダーに指名頂きました。何卒宜しくお願い致します。

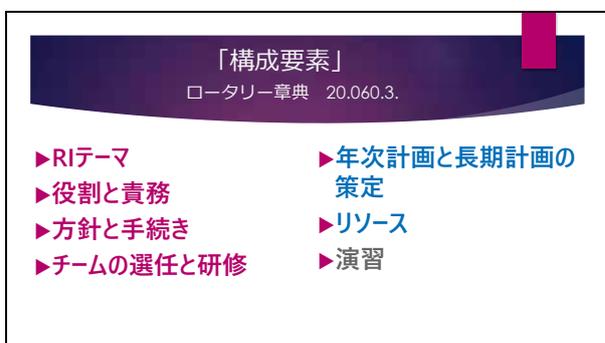
2



新年度のスタートにあたり、クラブのリーダーがリーダーシップを発揮できるように、地区内外のロータリー情報やネットワークを得られる研修の機会です。

また、地区の新体制が正式にスタートできるように、重要案件を決定する協議会の場が持たれます。

3



研修における「構成要素」を示しています。赤字部分は、ガバナーエレクトや代表幹事、担当の委員長が進めます。演習は、分科会で例を提示しながら行われます。研修リーダーは、全体の監修を行い、概略とガバナーエレクトから指示された項目を説明します。

4



まずは、現在のロータリーの概略と動向を見ていきましょう。

5



ロータリーの区域分けには、大きい順に、ゾーン、地区があります。ゾーンと地区の間には、地理的/言語的な違いを勘案して地域が別途定められています。第2640地区は、第3ゾーン、第3地域に属します。地区内には分区が設けられ、ガバナー補佐がガバナーの分身となって分区内クラブの担当をします。第2640地区は、第3ゾーン、第3地区に属し、分区は8つあります。

RI > Zone > Region > District
District > Club Group > Club

6



会員数は減少していますが、クラブ数は増えています。単純に平均すればクラブ当たり会員数は33人です。かつては、会員数30人未満が小規模クラブと見なされ、会員増強に注力すべきとされていましたが、今やほとんどのクラブがその対象です。

7

ROTARY最新情報 (2019年10月理事会)
国際ロータリーとロータリー財団の
2020-21年度年次目標

▶優先事項 ①「より大きなインパクトをもたらす」

目標

- ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
- 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。ETC.

国際ロータリーとロータリー財団は、一体的に運営されるようになりました。いわばコインの表と裏のような関係にあります。従って目標も同一です。人道的な事業を通して、ロータリーの社会的な存在理由を示そうというのが、この事項の趣旨です。

8

ROTARY最新情報 (2019年10月理事会)
国際ロータリーとロータリー財団の
2020-21年度年次目標

▶優先事項 ②「参加者の基盤を広げる」

目標

- …参加者の増加と多様化を図る。
- 女性会員、40歳未満の会員、ローターアクターの数を増やす。ETC.

会員増強の進むべき方向は、間口を広く設けるというもの。社会の構成と同じく、マイノリティーに増強の輪を広げます（LGBTも対象です）。このため、ハラスメント対策が徹底されるようになりました。

9

ROTARY最新情報 (2019年10月理事会)
国際ロータリーとロータリー財団の
2020-21年度年次目標

▶優先事項 ③「参加者の積極的なかわりを促す」

目標

- ロータリークラブとローターアクトクラブの間の協力を増やす。
- 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させる…ETC.

国際ロータリーを構成するのは、ロータリークラブとローターアクトクラブです。プロジェクトを行う際には、ロータリー内外のより多くの人たちとのかかわりが生まれるように工夫をしてみましょう。

10

ROTARY最新情報 (2019年10月理事会)
国際ロータリーとロータリー財団の
2020-21年度年次目標

▶優先事項 ④「**適応力を高める**」

目標

- ロータリーのリーダーシップ構成への調整を行う。
- ロータリープログラムの活動の焦点を定め、
また絞る可能性も視野に入れる。

クラブ運営において、より広く、より多くの会員が参加できる組織を作りましょう。恒例のプログラム（継続事業）も、マンネリ化している場合があるかも知れません。今一度、検証して、より効果のあるものに活動の焦点を定めてみましょう。

11

ROTARY最新情報 (2019年10月理事会)

▶**成人ハラスメント**の方針を強化し、現職と次期クラブ会長、ガバナー、地域リーダー、理事は、ロータリーの成人ハラスメントの方針について年次研修を受けるものとするに同意し、この研修を今後すべての会長エレクト研修セミナーや国際協議会に組みこむようにリーダーシップ開発・研修委員会に要請しました。（⇔危機管理委員会）

成人ハラスメントは、柔軟性と多様性を担保しようとするロータリーにとって非常に大きな関心ごとです。地区のセミナーにおいても、この内容を研修項目に入れなくてはなりません。

12

ローターアクト関係

▶2019年4月理事会
ローターアクターの地区委員会員への選出を可能とするため、地区委員会委員の資格要件を改定する。

▶2019年7月理事会
ローターアクトクラブが国際ロータリーに加盟することを認めた、2019年規定審議会の承認をいかに最善の形で実施するかを綿密に調査するために新しいタスクフォースの設置を承認する。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、共に国際ロータリーの構成クラブです。しかし、長年の組織形状や慣例を変更するには、猶予時間が与えられるべきかも知れません。両クラブにとってメリットのあるようにルール作りが進められています。

13

ローターアクト関係

▶ 2019年10月理事会

- ・提唱ロータークラブなしのローターアクトクラブを結成可能にする。
- ・ローターアクトクラブ提唱のローターアクトクラブを結成可能にする。
- ・年齢上限を解除する（ただし若い成人のプログラムとして維持）。
- ・すべての地区委員会にローターアクターを加えることを強く奨励。
- ・ローターアクターの人頭分担金の額を設定するため引き続き検討。
(2020年1月理事会、大学基盤@5ドル、地域社会基盤@8ドル)

2019年10月理事会では、組織に関して具体的な方向性が明らかになってきました。2020年1月理事会では、人頭分担金についてルールが定められました。

2022年7月1日より支払いが開始されます。

14

国際協議会

すべてのガバナーエレクトが集まり、年度準備の為に、情報共有と理解を促す会議

JOIN LEADERS
 集えリーダー
EXCHANGE IDEAS
 アイデアを交換し
TAKE ACTION
 行動せよ

新年度に向けて、全世界のガバナーエレクトと国際ロータリーの役員が勢揃いし、情報を共有する場です。これほどの規模と重要性を持つロータリーの集まりは、他に国際大会があるのみです。

15



標語が書かれた横断幕の下は、恰好の写真スポットです。このカリフォルニア州サンディエゴでのセミナーは、今年で最後。来年からは、フロリダ州オーランドで開催される予定です。

16



次年度に向けて、重要事項が次から次にと担当役員から発表されます。ハイライトは、RI会長エレクトが行う次年度テーマの発表です。因みに、ロータリーにおいて、テーマと呼ばれるのは、会長が選んだこのRIテーマのみとされています。

17



地区の基本方針（考え）や活動（事業）方針や運営方針、そして手続きは、ガバナーエレクト、次期地区代表幹事からお聞きしましょう。また、各委員会が担当する手続きについては、その担当者から直接お聞きしましょう。

18



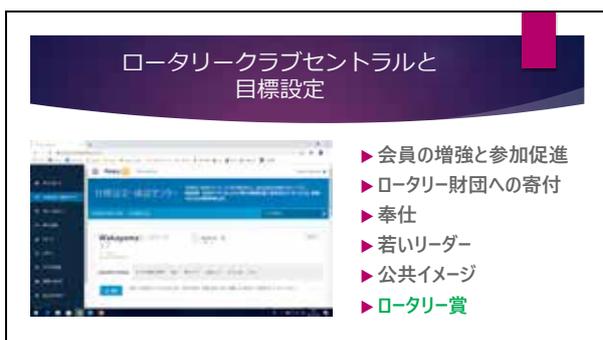
クラブ運営のツールとして、そして全世界や地区のロータリーを捉えるにあたってのビッグデータ解析のためにも、クラブのデータを「Rotary Club Central」に入力して下さい。そして、クラブ運営のために「My Rotary」を活用しましょう。

19



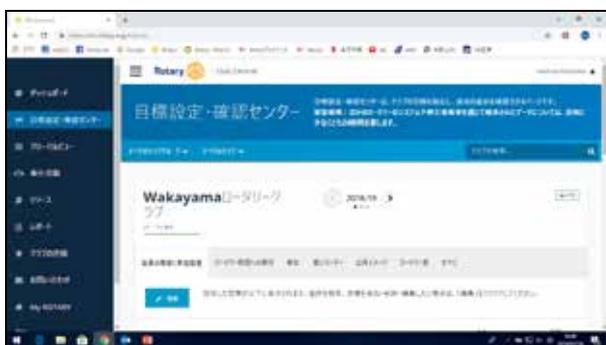
地区では、各会員を対象にしている「My Rotary」登録率の目標を50%にしています。しかし、「Rotary Club Central」の対象は、各クラブであり、クラブ会長か幹事、あるいは担当委員長が責任をもって入力頂くものです。これは、100%であるべきです。

20



これは「Rotary Club Central」の目標設定画面のコピーです。ここに入力を頂くことによつてのみ、「ロータリー賞」へのエントリーができます。ロータリー賞とは、かつてのRI会長賞のことです。

21



各クラブが入力頂くことによって、RI本部や役員がクラブのデータを知る＝共有することができます。是非、「Rotary Club Central」に入力し、目標設定などの項目を活用しましょう。

22

リソース
(My Rotary)

- ▶ ロータークラブ・セントラル
- ▶ ローターショーケース
- ▶ ブランドリソースセンター
- ▶ プレスセンター
- ▶ ラーニングセンター
- ▶ 入会候補者情報の管理方法（地区）

My Rotaryから、クラブ運営に役立つ情報が取り出せます。

23

リソース
(電子書籍)

- ▶ 地区を成功に導くリーダーシップ：ガバナー編
- ▶ 地区を成功に導くリーダーシップ：ガバナー補佐編
- ▶ 地区を成功に導くリーダーシップ：地区委員長編
- ▶ 元気なクラブづくりのために
：クラブリーダーシッププラン 日本

My Rotaryでは、研修等にもお使い頂ける電子書籍、テキストも用意されています。ダウンロードすればそのままお使い頂けます。

24

My Rotary

- ▶ 多くのリソースが用意されています。
- ▶ 是非、ご覧になって、クラブ増強や公共イメージ向上の参考にして下さい。



クラブ運営に際し、「My Rotary」からの情報をご活用下さい。

25



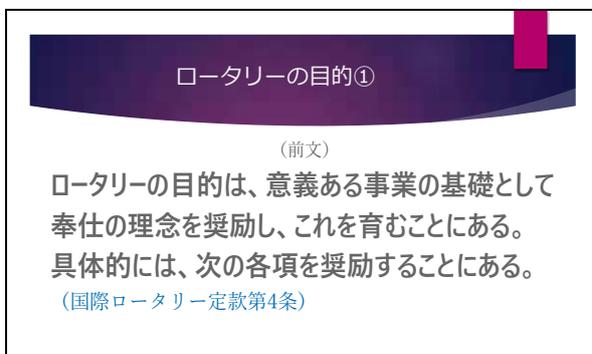
地区内の分區毎の登録率です。RIの目標設定は60%です。100%を達成しているクラブは結構ありますが、地区でも少数ですがほぼ達成のところも出てきています。お隣の2660地区（大阪北部）では60%を超えています。引き続きご協力をお願い致します。（現在：第2640地区の登録率は33%）

26



ロータリーでは、長い歴史のなかで、ロータリーを規定するものや、ロータリアンの心掛けが多く作られてきました。少しおさらいしてみましょう。

27



ロータリーの目的は定款に定められています。これは前文です。

28

ロータリーの目的②

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

親睦と職業倫理が述べられています。
親睦というのは、世界のロータリアンが対象です。

29

ロータリーの目的③

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

ロータリアンとしての普段の心掛けと、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進しましょうとあります。

30

ロータリアンの行動規範①
「ロータリアンとして、私は以下のように行動する」

- ▶ **1.** 個人としてまた事業において高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- ▶ **2.** 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- ▶ **3.** 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。

この「行動規範」は、かつては職業奉仕の「職業倫理訓」として扱われてきたものです。

31

ロータリアンの行動規範②
「ロータリアンとして、私は以下のように行動する」

- ▶ 4. ロータリーや他のロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- ▶ 5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする。
(1~4は、2014年10月理事会で決定され、後に5が追加された)

その後、ハラスメント条項が追加されました。2019年理事会において、研修に加えなくてはならない旨の決定がありましたが、この「行動規範」にも反映されることになりました。

32

四つのテスト
Herbert J. Taylor

言動はこれに照らしてから

- ▶ 真実かどうか
- ▶ みんなに公平か
- ▶ 好意と友情を深めるか
- ▶ みんなのためになるかどうか

Of the things we think, say or do

- ▶ Is it the TRUTH?
- ▶ Is it FAIR to all concerned?
- ▶ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ▶ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

1943年1月にRI理事会は、四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素としました。しかし、今や職業奉仕に留まらず、広くロータリアンの倫理的誠実さを希求した声明として理解すべきでしょう。テーラーはロータリーの創立50周年記念にあたる1954-55年度RI会長に就いた時、四つのテストの著作権をRIに移譲しました。

33

Rotary's official mottoes
ロータリーの公式標語

“Service Above Self”
「超我の奉仕」
Benjamin Franklin Collins

“One Profits Most Who Serves Best”
「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
Arthur Frederick Sheldon

1911年、全米ロータリークラブ連合会第二回大会で「He Profits Most Who Serves Best」がロータリーの標語として承認されました。またこの大会で「Service Above Self」の原型となった「Service, Not Self」が生まれたといわれています。1950年に二つが標語に決まり、1989年に「Service Above Self」が第一標語に定められました。

34

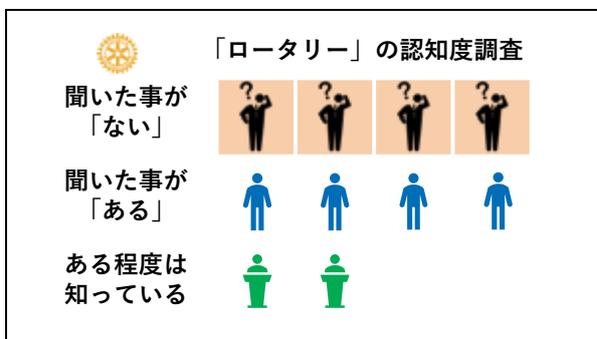


ロータリーの歴史は、1905年ポール・ハリスの呼び掛けで集まった4人からスタートしました。以降、幾多の困難を乗り越えて、会員数120万人の巨大な組織に成長しました。ただ、このグラフを見て分かるように、1997年あたりで成長は止まり、大幅な会員減少に見舞われます。2000年代に入り、RIは危機感をもって、本格的な組織の立て直しに入ります。より強固な組織を目指すため、企業経営の手法が大幅に取り入れられたのです。即ち、組織文化を分析し「コア・バリュー」を洗い出すことによって、①経営資源を集中すること、②広報・イメージ戦略(CI)を展開することでした。以降、この考え方に沿って、一連の施策が打ち出されることになります。

35

先のスライドで説明したように、危機感から生み出されたのが、RIの「戦略計画」です。

36



広報戦略で重要なのは、その組織や団体に持つイメージです。当時、手始めに、どれほどのひとがRotaryを知っているのか、大規模な調査が行われました。これもアメリカの大企業が行っているように、大手の広告代理店に依頼されました。それが、「Rotaryは、Rotarianが思うほどには、知られていない」と、いう事実が浮かび上がってきたのです。以降、ロータリーは「公共イメージ」向上を強く意識するようになります。

戦略計画の誕生

- ▶ 2004年 規定審議会で、RI戦略計画委員会設置を決議
- ▶ 2007年 理事会は、RI戦略計画の使命、ビジョン、中核的価値観、優先事項を決定
- ▶ 2009年 理事会は、RIとロータリー財団が進むべき進路を一致させるため、新たな戦略計画を決定
- ▶ 2010年 7月1日からRI戦略計画がスタート
- ▶ 2017年 理事会は、新しい「ビジョン声明」を決定

2000年以降、この流れに乗ってRIは「戦略計画」を軌道に乗せます。そして、歴史的資産を活用しながらも時代背景を巧みに取り込み、使命（ミッション）や中核的価値観、そして声明が順次出されることとなります。

こうした手法は、「Branding(ブランディング)」と呼ばれる、企業経営で通常行われるイメージ管理そのものといえます。意図するのは、ブランドのイメージを管理して、企業価値そのものを向上させようというもの。その一環として、ロータリーロゴ、ポスター、写真など視覚イメージ（ビジュアル）の管理が行われるようになりました。ロータリーのロゴが変更されたのもその一例です。

**国際ロータリーの戦略計画
ミッションステートメント**

▶ **ロータリー章典 26.010.1**

国際ロータリーは、他者に奉仕し、高潔さを促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

(2009年11月理事会会合、決定42号)

ロータリーという団体の「ミッション＝使命」は、明確に定められています。使命を達成するために、戦略計画は立てられています。

**国際ロータリーの戦略計画
5つの中核的価値観**

- ▶ **奉仕** (Service)
- ▶ **親睦** (Fellowship)
- ▶ **高潔性** (Integrity)
- ▶ **多様性** (Diversity)
- ▶ **リーダーシップ** (Leadership)

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます

ロータリーで共有すべき5つの価値観です。時代に応じてロータリーは変化をしてきましたが、重要な価値観は、常にこの5つにあったとされています。

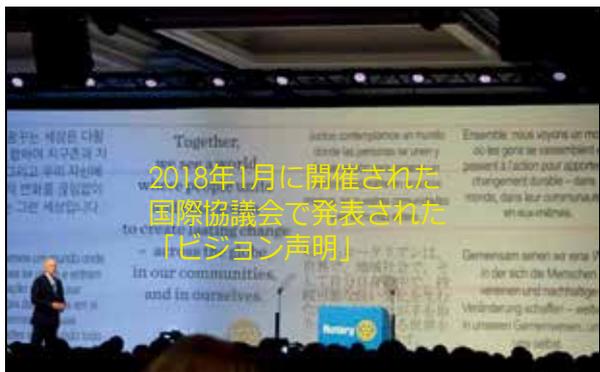
40

国際ロータリーの戦略計画
3つの優先事項

- ▶・Strengthening Our Clubs
クラブを強くしよう
- ▶・Enhancing Public Image
公共イメージの向上を図ろう
- ▶・Increasing Humanitarian Service
人道的な事業に取り組もう

具体的な優先事項は、この3つです。クラブを強くする。公共イメージを向上させることに努める。人道的な事業に取り組もう。この3つは相互に繋がっています。

41



新しい「ビジョン声明」が、当時のラリー・ラシンRI会長から発表され、その目指すものについて説明が加えられました。

42

「ビジョン声明」
2017年6月 理事会会合



私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています

2007年に、戦略計画の要諦をなす最初の「ビジョン声明」が発表され、10年後の2017年に、新しい「ビジョン声明」が承認されました。そして2018年1月の国際協議会でお披露目されました。これが、現在のビジョン声明です。

43



これが、英語版です。

「私たちは」「世界で」「地域社会で」そして
「自分自身の中で」
持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って行動する
世界を目指しています

44



この新しいビジョン声明を組織内で浸透させるため、そして公共イメージとも重なるように、「世界を変える行動人」をキャッチフレーズ据えたグローバル広告キャンペーンを展開しています。「世界を変える行動人」キャンペーンには、ビジョン声明でのキーワードをフィーチャーしたポスターが使われます。

45



私たち「世界を変える行動人」は、独創性があり、起業家精神にあふれ、困難にもくじけません。これらの要素があれば、ロータリーの組織原則に新しいアプローチが取り入れられたとしても、ロータリーの真髄が脅かされることは決してありません。

新しい機会を模索し、リスクを検討した上で革新的なアイデアを取り入れていきましょう。多くの人々がリーダーシップを担える環境をつくり、新しい意見を取り入れ、運営方法を簡素化しなければなりません。

46

ロータリーでは、「人道的事業」を通じて、公共イメージの向上に努めています。中心に据えられた「公共イメージ」は、「ポリオと戦う Rotary」であり、「世界で良いことをする Rotary」です。従って、ロータリーと財団は一体運営されなければなりません。

47



ポリオ根絶は、全世界の悲願であり、ロータリーは積極的に関与してきました。世界のロータリーが取り組んでいます。日を定めて大きなキャンペーンにするとよりインパクトが増します。

48

ロータリーは、ポリオ根絶のために継続的な支援を行ってきました。1988年5月の世界保健総会における決議に基づき、ポリオ根絶のために設立された「世界ポリオ根絶計画 (The Global Polio Eradication Initiative : GPEI) のオリジナルパートナーです。パートナーシップは、世界保健機関 (WHO)、米国疾病対策センター (CDC)、ユニセフ、ロータリー、ビル & メリンダ・ゲイツ財団、GAVI (ワクチンと予防接種のための世界同盟) の5団体で結ばれています。

49



今、世界でポリオが確認されるのは、アフガニスタンとパキスタンのみ。ここまで順調に減少してきましたが、パキスタンでは昨年から大幅増加に転じました。しかし、決して傍観していたわけではなく、地道な努力は続けられて来た、と関係者は証言します。その対策の一つである「全国予防接種デーNIDs」での様子をご紹介します。写真はNIDsを伝える当日の新聞です。

50



このキャンペーン期間は、国を挙げての取り組みとなります。全世界を巻き込んだ形で、他国からも接種チームが参加します。接種は、生後3か月以降から概ね7歳半までですから戸別訪問が主になります。ポリオ・ワーカーが、接種台帳や玄関先の壁に記されたマーク等を頼りに訪問し投与します。その他、学校や公的施設も大事な現場。キャンペーン期間中は、列車やバスも対象になります。日本では、2012年9月に単独不活化ワクチンが導入され、同年11月以降は4種混合ワクチンが導入されています。

51



私も参加しましたが、嫌がる子どもや接種拒否をしている家庭もあり、細やかな対応が必要です。これを管理しているのが、それぞれのコミュニティに置かれたセンターに配属されたポリオ・コーディネーターであり、ポリオ・ワーカーです。

52



2640地区では、2000年1月にインドのムンバイにおいて接種のためのワクチン投与活動を行いました。なんと、ローターアクターも含めて67人が参加しました。

53



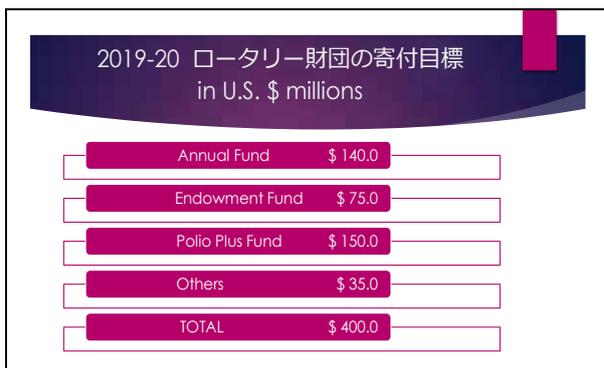
財団補助金事業は分野分けをされています。第2640地区では、最近「水と衛生分野」において協業をするクラブが多くなってきました。写真はタイの3350地区との協業で行われた、小学校への浄水器設置事業の様子です。

54



慈善団体の格付けにおいて、世界で最も権威のある「チャリティー・ナビゲーター」によって、ロータリーは最高位グループに位置付けされています。

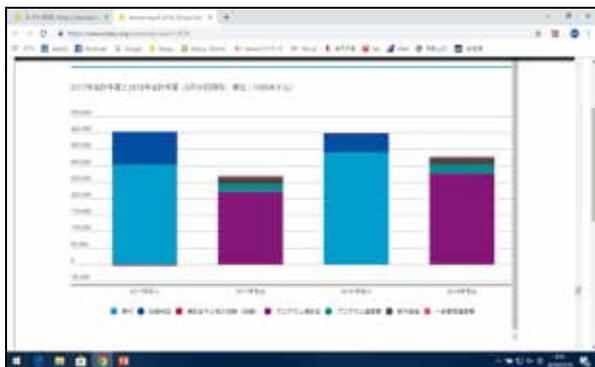
55



皆さんにご協力頂いているロータリー財団への寄付目標は4億ドル。近年は継続して予算目標額を達成しています。

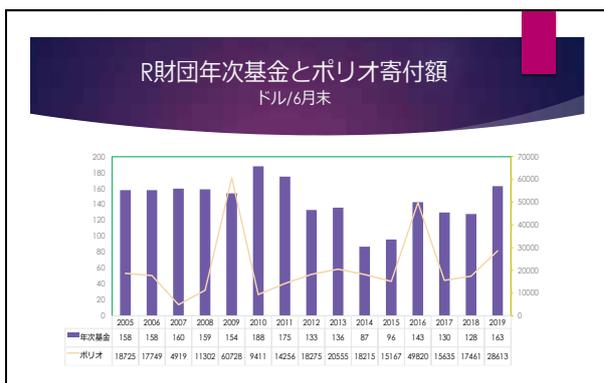
ロータリアン以外の人たちは、財団を利用した人道的プロジェクトによってロータリーを知ることが多く、これが評価の対象になります。

56



収入と支出です。運用益も収入に加えられます。

57



地区の財団年次基金とポリオ基金への寄付額の推移です。日本のロータリーでは、年次基金に一人当たり150ドルを目標としています。当地区でも独自に設定され、藤井年度では年次基金に180ドル、ポリオ基金に30ドルと設定されます。また、米山記念奨学会への寄付も普通寄付一人当たり6,000円に特別寄付を9,000円と目標設定されます。

日本のロータリーにおいて、目下の目標は、ロータリー財団への年次基金寄付ゼロクラブを「ゼロ」にすること。引き続きご協力をお願い致します。

58

“ 戦略計画と年次計画
(長期計画)
DLPとCLPを活用する ”

組織力と計画性

クラブの活性化のためにCLPが定められました。そのクラブのお役に立てるように、地区組織を組み替え、機能を持たせようとするのがDLPです。

59

地区リーダーシップ・プラン
DLP①

- ▶ ロータリー章典 17.030.
- ▶ すべての地区は、ロータリー章典17.030.1から17.030.3までの条項に準拠し、地区リーダーシップ・プランを開発し、採択するように義務づけられている。
- ▶ 地区リーダーシップ・プランは、ガバナーがガバナー補佐を任命することを定め、ガバナー補佐がクラブ運営に関連した管理業務を遂行することで、ガバナーが以下の責務に専念する時間が持てるようにするものである。

District Leadership Planとは、クラブ運営の助力となえるよう、従来の地区の機能を強化するものです。ガバナー補佐の存在が、大きくクローズアップされることになりました。

60

地区リーダーシップ・プラン
DLP②

- ▶ ガバナー補佐はガバナーエレクトにより任命され、指定されたクラブの運営に関してガバナーを補佐する責務を担う。ガバナー補佐には、次のような任務がある。
- ▶ クラブ会長と会い、クラブの目標を定め、本章典2.010.1「機能の喪失」に該当することのないように助力する。
- ▶ ロータリークラブ・セントラルに目標を入力し、達成状況を追跡するように推奨する。
- ▶ クラブの納入義務金を期日までに支払うよう確認する。Etc.

ガバナー補佐は、クラブが運営上遵守しなければならないことに関し、それを見守り助言を行います。

61

新しい取り組み 「地区ビジョン」①

- ▶ 国際ロータリー第2640地区は、国際ロータリーで定められた新しい「ビジョン声明」と、それに基づく「戦略的優先事項」及び目的を理解し、地域の特性を鑑みて活動を展開します。

地区ビジョンは、中野年度で誕生し、藤井年度、豊岡年度に引き継がれます。

62

新しい取り組み 「地区ビジョン」②

- ▶ 国際ロータリー第2640地区は、不変である「ロータリーの中核的価値観」を尊重すると共に、新しい変化にも柔軟に対応し、持続可能なロータリーを目指します。

地区ビジョンは、国際ロータリーの目指す方向性に準拠したものです。かつての資産を活かし、これからの変化も取り込みます。

63

新しい取り組み 「地区ビジョン」③

- ▶ 国際ロータリー第2640地区は、クラブの多様性に配慮し、元気で、個性のある、魅力あるクラブ作りに注力します。

地区は、クラブの存続と発展のために力を尽くします。共に強いクラブ作りに励みましょう。

新しい取り組み 「地区ビジョン」
「地区中期3か年目標」

1. クラブの会員基盤の向上に対する支援強化
2. 人道的奉仕の重点化と財団利用の推進
3. 公共イメージの向上とデジタル化の推進

1. クラブの会員基盤の向上に対する支援強化

- ・各クラブの戦略計画（中長期計画）作成を推奨します。
- ・地区内会員数について、各クラブと協力し、2,000人を超えるよう努力します。
- ・地区内には、ロータリークラブのない市町村もあります。クラブ拡大の可能性を検討します。
- ・各クラブの個性を尊重しつつも、会員の多様性に配慮するように推奨します（幅広い年齢層と女性比率の向上）。

2. 人道的奉仕の重点化と財団利用の推進

- ・公共イメージの向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
- ・ロータリー財団利用実績を年間40件の目標とします。
- ・ロータリー財団及び米山記念奨学金への寄付を推進すると共に、寄付ゼロクラブがないように協力体制を敷きます。

3. 公共イメージの向上とデジタル化の推進

- ・公共イメージの向上のため、地域社会に開かれたロータリー・イメージを意識して、ロータリー・デー等市民向け事業を推奨します。
- ・社会への露出を促すため、メディア対応を改善します。
- ・デジタル化の推進のため、「My Rotary」の登録率を65%に目標設定します。
- ・デジタル化の推進とデータ活用のために、ロータリークラブセントラルへの入力を各クラブすべてが行えるようにします。

65

クラブリーダーシップ・プラン
CLP①
クラブを継続的に発展させ、活性化を図ること

- ▶クラブの発展に繋がるような**長期目標**を立案する。
- ▶**長期目標を支える年次目標を設定**する。
- ▶クラブ協議会などの会合を通じて、**全員にクラブの活動に参加しているという実感**を持てるようにする。

CLPは、Club Leadership Plan(クラブ・リーダーシップ・プラン)の略です。その意図するところは、クラブの活性化であり、クラブ運営に計画性を加えて頂くことにあります。長期の目標を定め、年次の目標を立てることを勧めています。また、戦略計画には、努力目標に加えて、実行することを前提にしたAction Plan(行動計画)も付けてみましょう。

66

クラブリーダーシップ・プラン
CLP②
クラブを継続的に発展させ、活性化を図ること

- ▶**クラブ内及び地区との情報伝達をガバナー補佐や地区委員を通じて円滑に**図る。
- ▶**年度から年度への継続性**を保つため、クラブ指導者間の協力を緊密に保つ。
- ▶独自のクラブ運営が反映出来るように、**クラブの長期計画**や細則を適宜修正する。

長期計画は、昨今、戦略計画と名を変えています。長期目標を定め、継続性を保ちながら「決めごと」を進めます。大事なものは、年度と年度を繋ぐ継続性です。

67

クラブリーダーシップ・プラン
CLP③
クラブを継続的に発展させ、活性化を図ること

- ▶クラブ会員間の親睦が深まるような**奉仕と親睦の機会**を提供する。
- ▶**会員全員がクラブのプロジェクトや奉仕活動に活発に関与**するように計画する。
- ▶会員に対する包括的な**研修プランを立案**し、指導者を育成する。

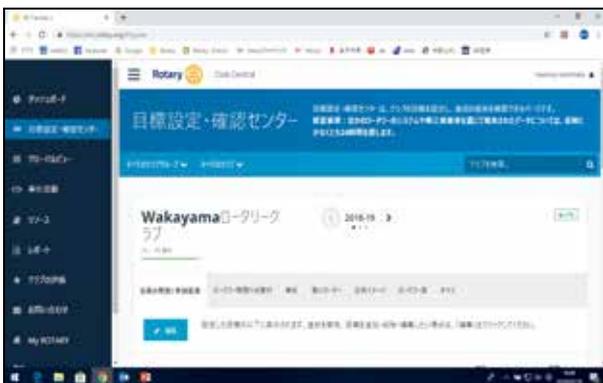
より多くのクラブ会員に活動の機会を持って頂くのも、ポイントのひとつです。また、より多くの会員に、一般的なロータリー情報やクラブ目標を理解頂くように研修プランを設定するよう奨励されています。また研修を通じて指導者育成にも活用できるでしょう。

68



戦略計画立案ガイドが、My Rotaryで閲覧できます。ご参考に。

69



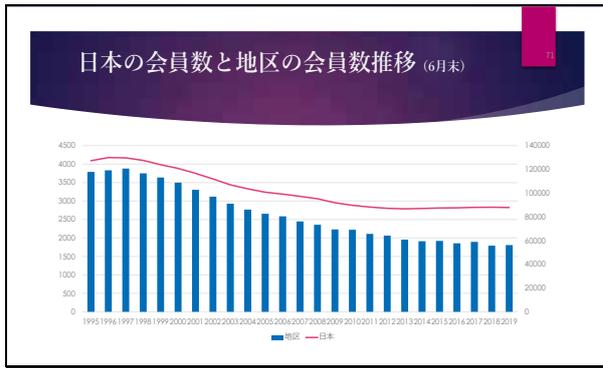
各クラブが入力頂くことによって、RI本部や役員がクラブのデータを知る＝共有することができます。是非、Rotary Club Centralに入力し、目標設定などの項目を活用しましょう。

70



「会員基盤の強化」という言葉にあまり馴染みないと思いますが、ロータリー用語としてご記憶ください。会員増強（会員維持、退会防止を含む）のための環境を強化しよう、という意味合いで使われます。

71



日本のロータリーは、1996年からの生産者年齢人口の減少に伴って、減少を続けてきましたが、2011年あたりからほぼ横ばいになりました。当地区では、1997年をピークにして、以降強い減少傾向を辿り、昨今は漸く減少速度が緩やかになったとはいえ、依然歯止めが掛かっていません。

72

	地区	エリア	地区内クラブ数	30人未満クラブ数	30人未満クラブ割合
1	2640	大阪府南部・和歌山	69	47	68.1%
2	2540	秋田	42	28	66.7%
3	2520	岩手・宮城	79	51	64.6%
4	2570	埼玉西北	51	27	52.9%
5	2830	青森	40	21	52.5%

日本の他地区と比べて、当地区は、小規模クラブが大変多いことが指摘されています。小さくとも存在感を示して力強く活動をしているクラブは幾つもありますが、会員減少が理由で、以前と比べ活動力を落としているクラブが多くなってきています。

73

クラブ名	2003年	2019年	増減	クラブ名	2003年	2019年	増減	クラブ名	2003年	2019年	増減	
青田	51	29	-22	美濃東	71	41	-30	大塚山	8	11	+3	
青田南	45	27	-18	美濃西	34	18	-16	高石	44	28	-16	
青田2300	28	16	-12	関西	40	28	-12	高野	33	9	-24	
アール・オブ・ライフ	0	34	+34	関西	87	85	-2	藤田	87	85	-2	
アール・オブ・ライフ	0	15	+15	関西	42	27	-15	藤田	29	21	-8	
藤田	21	0	-21	関西	37	15	-22	藤田	56	42	-14	
藤田	18	0	-18	関西	44	25	-19	藤田	38	35	-3	
藤田	69	42	-27	関西	30	13	-17	藤田	22	0	-22	
藤田	25	13	-12	関西	30	13	-17	藤田	15	0	-15	
藤田	46	22	-24	関西	9	25	+16	藤田	71	69	-2	
藤田	34	13	-21	関西	42	20	-22	藤田	38	33	-5	
藤田	27	15	-12	関西	17	0	-17	藤田	64	38	-26	
藤田	30	0	-30	関西	32	0	-32	藤田	53	44	-9	
藤田	51	48	-3	関西	36	28	-8	藤田	72	35	-37	
藤田	22	0	-22	関西	29	24	-5	藤田	98	36	-62	
藤田	42	29	-13	関西	35	0	-35	藤田	46	26	-20	
藤田	46	26	-20	関西	19	7	-12	藤田	39	11	-28	
藤田	46	45	-1	関西	33	30	-3	藤田	49	41	-8	
藤田	56	41	-15	関西	30	7	-23	藤田	65	50	-15	
藤田	50	24	-26	関西	23	13	-10	藤田	30	12	-18	
藤田	65	14	-51	関西	0	14	+14	藤田	21	0	-21	
									2003年度合計		3118	
									2019年度合計		1806	

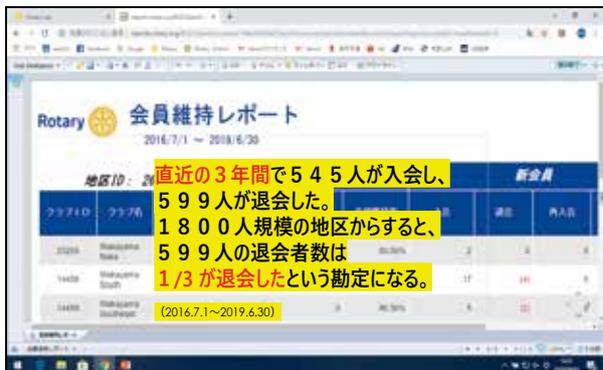
クラブの幹事をしたのが2003年

※2003年～2019年の16年間で会員の4割以上にあたる1310人を失った。

6クラブが増えたが、13クラブが無くなる

私がクラブ幹事をした2003年からガバナーを終えた2019年の16年間で、全会員の4割に相当する1,310人が減少しています。6クラブ増えましたが、13クラブがなくなりました。大きな自治体でも、ロータリーの無いところがいくつもあります。増強と拡大は真剣に考えなければなりません。

74



My Rotaryではいくつもデータを閲覧できます。会員維持レポートでは、最近の3年間で1/3の会員が退会したことが分かります。力を尽くして増強をしても、退会者がこんなに多いというのは大変もったいないことです。

75



新しいビジョン声明に沿って、私たちが歩むための燈明となるキャンペーン、「世界を変える行動人」。皆さんが「世界を変える行動人」です。そのために、クラブにおいて戦略計画を立案してみてください。

76



クラブの戦略計画は、クラブを強くするためのものです。公共イメージを向上させることにより、会員増強やクラブ拡大への環境を整えましょう。公共イメージ向上には、人道的な事業がより効果的です。

77

ビジョンの実現には計画が必要である
戦略計画と4つの優先事項（5年間）
2018年6月理事会会合、管理委員会

- ▶1.より大きなインパクトをもたらす
「世界を変える行動人」は、問題を効果的に解決します
- ▶2.参加者の基盤を広げる
「世界を変える行動人」は、互いに刺激しあいインスピレーションを与えます

新しいビジョン声明を実現させるため、4つの優先事項が定められました。

1. 社会的により大きなインパクトを持つように事業を考えてみましょう。
2. ロータリー内に留まることなく、ロータリー外の人たちも含めて、互いに「気付き」を与え合えるようなネットワークを築きましょう。

78

ビジョンの実現には計画が必要である
戦略計画と4つの優先事項（5年間）
2018年6月理事会会合、管理委員会

- ▶3.参加者の積極的なかわりを促す
「世界を変える行動人」は、人々のニーズを理解しようと努めます
- ▶4.適応力を高める
「世界を変える行動人」は、独創性があり起業家精神に溢れ困難に挫けません

3. 解決しなければならない社会のニーズを取り上げ、その理解に努め、同じ目的を持つ人たちと手を取り合って問題解決へと立ち向かいます。

4. 困難に挫けることなく、独創性と起業家精神を発揮して、あらゆる問題に立ち向かいます。この適応力が持続可能な力の源泉なのです。

79

ロータリー
感染症への取組み



- ・新型コロナウイルス感染対策にポリオ根絶チームが支援開始
- ・多くのクラブや地区が対策活動を開始

ロータリーは、GPEI（※スライド48参照）のパートナーとして、ポリオ根絶に向けて力強い活動を展開してきました。その一環で、ポリオ常在国では、データ管理を行う根絶対策センター設置や医療従事者チームの形成など、強力なインフラを築き上げています。2020年に入り、これらの国々で新型コロナウイルス感染リスクが高まったため、このインフラを活用し、ポリオ根絶チームが本格的な支援を始めました（RI発表、3/13/2020）。また、世界各地のクラブや地区が対策活動を開始しています（国際ロータリーHP）。

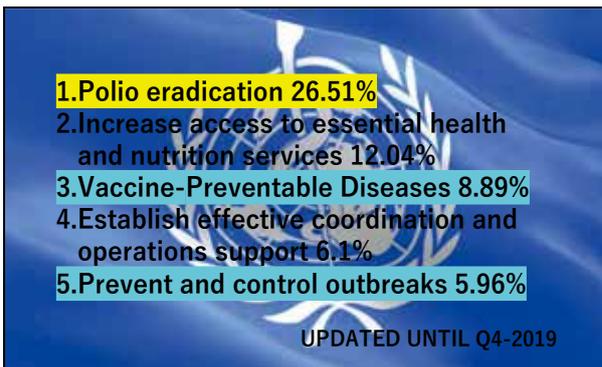
80



これは、2019年第4四半期（通年）における、WHOへの出資者ランキングです。加盟各国から分担金と寄付の合計額が示されますが、国際機関は寄付額で示されます。国際ロータリーは7位にランキングされています。

7.Rotary International 3.32%
10.Japan 2.59%

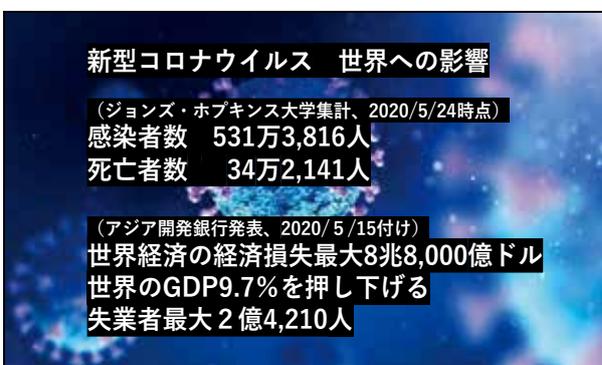
81



これは、WHOの支出先のランキングです。ポリオ根絶関連がトップにランクされています。

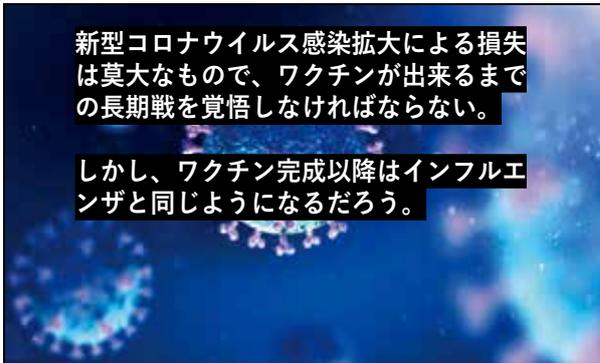
また、ワクチンで予防できる疾病対策は3位に、感染急拡大（Outbreaks＝アウトブレイク）対策は5位にランキングされています。新型コロナウイルス感染パンデミック以降の数字に関しては、現時点で未発表。

82



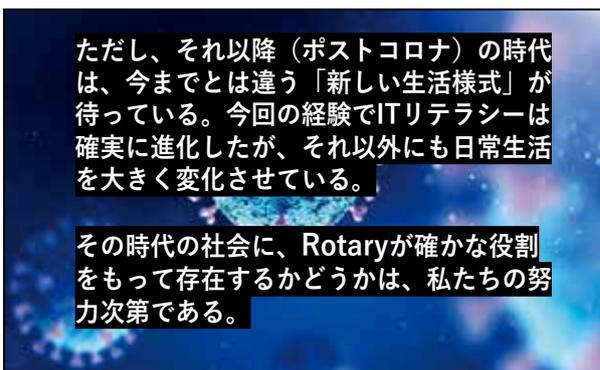
新型コロナウイルス感染拡大、パンデミックによる損失は計り知れない規模にまで膨れ上がりました。

83



報道によりますと、かつてないほどのスピードでワクチン開発が進められています。医療体制が整備され、効果のあるワクチンが一刻も早く出来ることを望みます。

84



この新型コロナウイルスのパンデミックにより、私たちは多くのものを失いました。

もしかすれば、ロータリアンであることの意味も、その中にあるのかもしれませんが。この期間の経済や社会活動の停滞によって、確かに、ロータリーどころの問題ではないという方が多数いることでしょう。

しかし、WHOでの多大な貢献にも見ることができるよう、そして町中でロータリーの多くのロゴと共に貢献した事物が多く残っているように、何より私たちの記憶に残っているように、ロータリーは社会の中に溶け込んで創立以来今まで大きな役割を演じてきました。

ポストコロナの時代においても、この資産を歴史に埋没させることなく、ロータリーという善意の団体を社会に残せることが出来るように、今後も活動を続けて行こうではありませんか。

85



但し、この長期間の非常事態宣言が明けて直後のクラブの状態を考えると、何をおいてもまずは「クラブ奉仕」を手厚く考えるべきでしょう。会員の状況に寄り添う姿勢が、会員維持、退会防止に繋がります。そして会員である意欲を高めましょう。

そのためには「つながっている」ことが大切です。例えば、地区内のあるクラブは初めてオンライン例会に挑戦しました。第2波や第3波も心配されるなかでは、大変有意義なことです。週報をFAXやメールで送るとか、あるいはクラブ会長の簡単なメッセージだけでも「つながり」を意識させることになるかも知れません。

そしてクラブが整ったなら、順次「社会奉仕」に取り組んで行きましょう。地域との「つながり」でロータリアンとしての意欲とプライドを維持できます。このような時期です。できることで良いのです。地域社会において初動は喜ばれます。

86



日本のロータリーは、今年で創立100周年を迎えます。この100年間は、変化の歴史でもありました。今までがそうであったように、次世代にも「ロータリー」を継承してもらえよう、時代に合わせて「ロータリー」を変化させることも必要でしょう。未来のロータリーはもっと強くなります。世界をより良く変えていかねばならないからです。私たちは「世界を変える行動人」なのです。

End of document.

次年度クラブリーダーの皆様

国際ロータリー第 2640 地区

2020 - 2021 年度 ガバナー 藤 井 秀 香

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され、誰もが通常とは全く違う生活を送る事を余儀なくされ、例会も数人の会合さえも許されない事態となっておりました。

日本ではロックダウンという形は取らず“お願い”の形で日本全国の緊急事態宣言が解除されるまでになりましたが、全ての参加者の健康と安全が最重要と考え、「2020～2021年度のための地区研修・協議会」のメッセージは、映像と冊子でお届けすることになりました。

地区研修・協議会(district training assembly)とは

クラブ会長エレクトがリーダーシップのスキルを伸ばし、他の次期クラブリーダーが各自の役割を理解する。クラブのリーダーシップチームが次年度の目標を立てる。クラブ会長エレクトと、次期クラブ指導者のために、毎年開かれる研修会合です。

2020～2021年度RI会長はホルガー・クナーク氏です。

ドイツから初めてのRI会長で、不動産業を営み奥様もロータリアンです。

34名のガバナーエレクト（女性3名）と60名のローターアクトと私はガバナーになる為の国際協議会で本会議・分科会で次年度に向け勉強致しました。意欲を高めロータリアンとの交流を通じてアイデアを広げ親睦を温める機会となり、多くの事を学ばせていただきました。

国際ロータリーテーマ《ロータリーは機会の扉を開く》

ホルガー・クナーク氏は

ロータリーとは、単にクラブに入会するというだけでなく、無限の機会を与えてくれる。大規模なプロジェクトから1本の植樹まで、奉仕する機会の扉を開いてくれる。

また、私たちのあらゆる活動が、誰かのために機会の扉を開いているということを常に心してゆくことが必要であると認識すべきである。

三枚の扉のカラーは、研修リーダーによると、ロイヤルブルーと、ゴールドはロータリーカラー、グランベリーはローターアクトのカラーを表しています。

ボルガー会長からの重要なメッセージ

1. 地区は、新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組みます。そのためには皆さまからのご支援が必要となります。皆さまはまた、衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることに貢献できます。
2. すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、皆さまには次のことを会員に問いかけていただきます。「私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきか、また、このビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか」「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」この会議を進行する人を選んでください。
3. 新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相応な年齢などありません。
4. ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事・イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもたちと交わした約束を守らなければなりません。

この発表を聞いて感動し、日本へ帰り胸踊らせて次年度への三大セミナー（地区チーム研修、PETS、地区研修・協議会）の準備に取り掛かりました。

地区チーム研修は万全を期して開催できましたが、それからは、新型コロナウイルスの感染拡大が世界に広がり、研修はおろか、例会も数人の会合さえも許されぬ事態となりました。PETSは、資料と映像のみの開催となりました。

ロータリーは115年の歴史の中で、「世界恐慌・第一次第二次世界大戦・リーマンショック」など、いくつもの試練を乗り越えてきているのです。

私達は、昔と違いITツールも持っています。デジタル化時代への適応力を高めなくてははいけません。オンラインでの会議を行い、コミュニケーションを図ることもできます。ただし、会員の取残しがあってはいけません。

世界の誰もが経験した事のない見えないウイルスとの戦いの中で、刻々と変わる状況を柔軟に対応して行かなくてはなりません。新型コロナウイルスと闘いながら、どの様に経済活動を行うのか。救いの手を求める声に寄り添い、世界で良い事をしたいのに、愛する人を守るために距離を開けなくては、いけないのです。このような困難なときに、世界中で毎日のように勇敢な行為を目にします。自らの健康をリスクにさらして人びとのために、仕事をする医療従事者や安全管理者たちの尽力を皆で称え様ではありませんか

ガバナーの基本方針

国際ロータリー第 2640 地区

2020～21 年度 ガバナー 藤井秀香

「日本のロータリー100周年、超我の奉仕に魂を！」

2020年は、日本にロータリーが誕生して、ちょうど100年目に当たります。

この間日本のロータリーは歴史の流れに翻弄され紆余曲折があったものの、今や地域に、世界になくてはならない奉仕の団体として活躍しています。

この様な記念すべき年にこれからを担う重要な年度にガバナーを務めることになり喜びと共に責任の重さを、感じております。地区やクラブの強み、弱みを知り、目標設定や行動計画の準備をします。地区委員の役割と責務の確認をします。

情報や資料、リソース（教材）を活用して、ストーリー（実話や体験談）を通して心に訴える事でインパクトを与えます。

直前・エレクト、ノミニーと地区戦略会議を開きます。

魅力ある生き生きとしたクラブが作れるよう各クラブに戦略計画委員会を設けていただき3年・5年後クラブがこうありたいと、目標を立てていただきます。

危機感を持って先を読み、クラブの現況を数値化してデータを分析して戦略計画を立てる様指導していきます。クラブでも研修リーダーを任命し、例会の少しの時間を利用して、ロータリーについて勉強していただくよう、指導します。

《女性会員ゼロクラブゼロ》

《各クラブ純増1名》

若い会員・女性会員の増強に努めます。

R L I は実施いたします。会長・幹事予定者は受講していただけたらと思います。

R I は、ロータリークラブと、ローターアクトクラブの連合体です。

ローターアクトの委員長はセミナーや行事に参加していただきます。

インターアクトの研修旅行は、今年は国内で実施しようと思います。

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）世界遺産の高野山で心を育てます。

ロータリー精神を表す言葉として大事にしている一片の詩がありますので

ここに紹介させていただきます。

誰かに良い事をしたい
誰かの為になるなら
喜んでもらえるなら
それが私の喜び
私が幸せな事のお裾分け

地区スローガン

《 ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう 》

今在る自分のお陰様に感謝し、救いを求める声に寄り添い
ロータリーと共に（友と）奉仕しましょう。

RIの活動方針

ロータリーのビジョン声明

【2017年7月RI理事会でビジョン声明が採択されました。】

私達は世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合っ
て行動する世界を目指しています。

ロータリーの中核的価値観の大切さ

- 親睦
- 高潔性
- 多様性
- 奉仕
- リーダーシップ

ロータリー活動の今後の活動を方向付ける、4つの戦略的優先事項

- より大きなインパクトをもたらす（何のために誰のために）
- 参加者の基盤を広げる（地域社会とパートナーを組む）
- 参加者の積極的な関わりを促す
- 適応力を高める（急速に変化する社会に追いつき進化）

6つの重点分野

- 平和の推進
- 水と衛生
- 母子の健康
- 教育の支援

●地域経済の発展

●疾病との戦い

地区ビジョンについて

○国際ロータリー第2640地区は、国際ロータリーで定められた新しい「ビジョン声明」と、それに基づく「戦略的優先事項」及び目的を理解し、地域の特性を鑑みて活動を展開します。

○国際ロータリー第2640地区は、不変である「ロータリーの中核的価値観」を尊重すると共に、新しい変化にも柔軟に対応し、持続可能なロータリーを目指します。

○国際ロータリー第2640地区は、クラブの多様性に配慮し、元気で、個性のある、魅力あるクラブ作りに注力します。

地区中期3か年目標（2019-2020年度、2020-2021年度、2021-2022年度）

① クラブの会員基盤の向上に対する支援強化

- ・各クラブの戦略計画（中長期計画）作成を推奨します。
- ・地区内会員数について、各クラブと協力し、2,000人を超えるよう努力します。
- ・地区内には、ロータリークラブのない市町村もあります。クラブ拡大の可能性を検討します。
- ・各クラブの個性を尊重しつつも、会員の多様性に配慮するように推奨します（幅広い年齢層と女性比率の向上）。
- ・ローターアクトクラブの接点を増やします。

② 人道的奉仕の重点化と財団利用の推進

- ・公共イメージの向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
- ・ロータリー財団利用実績を年間40件の目標とします。
- ・ロータリー財団及び米山記念奨学金への寄付を推進すると共に、寄付ゼロクラブがないように協力体制を敷きます。

③ 公共イメージの向上とデジタル化の推進

- ・公共イメージの向上のため、地域社会に開かれたロータリー・イメージを意識して、ロータリー・デー等市民向け事業を推奨します。
- ・社会への露出を促すため、メディア対応を改善します。
- ・デジタル化の推進のため、「My Rotary」の登録率を65%に目標設定します。
- ・デジタル化の推進とデータ活用のために、ロータリークラブセントラルへの入力を各クラブすべてが行えるようにします。

※「このビジョンは2020年3月に策定し、7月より取り組むこととします」

地区運営および活動方針

次期ガバナー補佐および地区委員長・委員は就任の準備を（次年度の計画・目標を立案する）して下さい。次期ガバナー「私の下」地区を指導するチームの組織を築き、クラブのサポートを強化し、人道的奉仕活動を活発化する様、努力してください。

2020年10月24日「世界ポリオデー」に関西国際空港にてブースを設けてポリオ根絶キャンペーンを計画しております。(開催できるか、未定です。)

ポリオを根絶する5つの理由

- (1)生活の向上
- (2)未来への投資
- (3)医療費の削減
- (4)子供の健康の向上(命を守る)
- (5)歴史をつくる

世界保健機構(WHO)は3月、コロナの感染予防策として大規模なワクチン予防接種を停止する様指示しました。ポリオワクチン予防接種キャンペーンが延期になっております。

多くの子ども達のワクチンの定期接種の機会を失った様です。

ロータリーは世界の子ども達と約束したのだから、守らなくてははいけません。

戦略計画により、クラブの強化を活性化しましょう。

まだ、お作りでないクラブは元・現・次期・次次年度クラブ会長からなる戦略計画立案チームを編成し、クラブの目標達成を支える計画を立ててください。

戦略計画には、下記の要素を盛り込む事が重要です。

- ①現状分析(地区、クラブの現状はどうか)
- ②ビジョン(将来、3~5年先にどうありたいか)
- ③戦略的優先事項と目標(何を達成する必要があるか)
- ④行動計画と成功の基準(各目標をどの様に達成するか)
- ⑤計画の実施手順(各段階の担当者を含む)
- ⑥成功の評価方法、目標への進展について情報を共有する方法、必要に応じて計画を修正する方法など

マイ・ロータリーへの登録推進(会長・幹事は必ず登録するようにしてください。)

クラブ・セントラルを有効活用してください。

インターアクター・ローターアクターと地域社会との奉仕プロジェクトを計画する。

人を育てる事は心を育てます。未来のリーダーを育てます。

ポリオ・プラス、年次基金を増やし、地区補助金、グローバル補助金を利用した、地域や海外での活動を推進しましょう。《世界を変える行動人》になりましょう。

国際ロータリー・地区等 拠出金

●人頭分担金 会員一人当たり \$69

(7月1日会員数) \$34.50 (1月1日会員数) \$34.50

なお、上半期のみ規定審議会費\$1がプラスされます。

- 地区資金 会員一人当たり 20,000円
 (7月1日会員数) 10,000円 (1月1日会員数) 10,000円
 中途入会者も同額
- ロータリー財団と米山記念奨学会への支援
 ロータリー財団一人当たり 210ドル (年次寄付180ドル/ポリオ・プラス 30ドル)
 (ポリオ・プラスの割合を増やしました。)
 米山記念奨学会一人当たり 15,000円 (普通寄付6,000円/特別寄付9,000円)
- 日本のロータリー100周年記念地区大会
 地区大会賦課金 一人当たり 6,000円
 地区大会参加登録料 一人当たり 3,000円 <記念品配布を考えております>

日本のロータリー100周年記念 地区大会並びに地区大会記念ゴルフ大会 延期のお知らせ

地区大会一日目 2020年10月24日 (土曜日)

地区大会二日目 2020年10月25日 (日曜日)

を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期いたします。

新しい日程は、

地区大会一日目 2021年3月27日 (土曜日) 於：ホテル日航関西空港

地区大会二日目 2021年3月28日 (日曜日) 於：岸和田市立浪切ホール (南海浪切ホール)

“ポリオ根絶まであと少しです。”

子どもたちとの約束を守るため最優先課題「ポリオ根絶」を重点的とした、記念講演の講師をお迎えする予定です。また、当地区では初めての試みですが、RIの理事は招聘せず、尊敬する他地区パストガバナーのお話しをお聞きしたいと思います。

地区大会では是非、皆様と“日本のロータリー100周年”を祝いましょう！

◇地区大会記念ゴルフ大会の開催日、開催場所は下記のとおりです。

2021年3月13日 (土曜日) 於：泉ヶ丘カントリークラブ

社会奉仕は各クラブの奉仕活動を学び地区補助金による奉仕プロジェクトを立案してインパクトを与えてください。持続可能なのか、効果があるのか、公共イメージの向上になるのかどうか考えていただきたい。

ロータリークラブの公共イメージと認知度を強化しましょう。

- ロータリーとは何か
- ロータリアンとはどのような人々か
- ロータリアンの活動はどのような成果をもたらしているか
- ロータリーは、他の団体とどのような違いがあるか

次期ガバナー補佐および地区委員長・委員は就任の準備を（次年度の計画・目標を立案する）して下さい。次期ガバナーと地区を指導するチームの組織を築きクラブのサポートを強化し、人道的奉仕活動を活発化する様、努力してください。

目的を立てて「やらなかった」でなく、努力したが「やれなかった」。

クラブホームページを充実させてください。

クラブ会員増強計画

ほとんどのクラブの最優先事項は、会員の高齢化と会員増強。（若い会員、女性会員）会員増強出前卓話を利用していただきたい。

地区では、講師をお呼びして会員増強セミナー（元気なクラブづくりの為にワークショップ）を開催する計画をしております。

元気なクラブづくりのためには、長期的な会員増強計画が必要です。

長期的な計画を立てることにより、現在だけでなく将来的にも活気あるクラブであり続けることができます。

多様な会員がいるクラブを築き、クラブを強化し活気づけ、地域社会にとって重要な存在であり続けなくては、なりません。

会員数 87,613人

女性会員 6,040人

女性比率は、7% 世界は、23%

地区女性オーナー 8%

地区目標《女性0クラブゼロ》

標準クラブ定款3条

クラブの目的は、「ロータリーの目的」の達成を目指し、5大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、会員増強を通じてロータリーの発展に寄与し、ロータリー財団を支援し、クラブレベルを超えたリーダーを育成することである

奉仕の理想を実践する中で、多くのロータリークラブは色々な社会奉仕活動を考え、会員に奉仕の機会を与えてきました。「超我の奉仕」の哲学であり「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

辛いときは、そばに駆けつけ寄り添うものですが、愛すればこそ、今は、距離を開けなくてはいけないのです。通常でない「新しい日常」にも慣れてきました。

2020年10月に日本のロータリーが誕生して、100周年を迎える記念すべき時に私と委員の皆様は共に祝い、共に活動し発展を目指しましょう。

インスパイア・柔軟性・多様性かつ継続性を持つ地区運営を行っていかうと思っております。

ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

《自分のためだけに生きるのではなく、他者に奉仕する喜びのために生きるのです。》 アーチ・クラフ

国際ロータリー第2640地区 地区ビジョン

ガバナー 中野 均
ガバナーエレクト 藤井秀香
ガバナーノミネー 豊岡 敬

地区ビジョンについて

- 国際ロータリー第2640地区は、国際ロータリーで定められた新しい「ビジョン声明」と、それに基づく「戦略的優先事項」及び目的を理解し、地域の特性を鑑みて活動を展開します。
- 国際ロータリー第2640地区は、不変である「ロータリーの中核的価値観」を尊重すると共に、新しい変化にも柔軟に対応し、持続可能なロータリーを目指します。
- 国際ロータリー第2640地区は、クラブの多様性に配慮し、元気で、個性のある、魅力あるクラブ作りに注力します。

地区中期3か年目標（2019-2020年度、2020-21年度、2021-2022年度）

1、クラブの会員基盤の向上に対する支援強化

- ・各クラブの戦略計画（中長期計画）作成を推奨します。
- ・地区内会員数について、各クラブと協力し、2,000人を超えるよう努力します。
- ・地区内には、ロータリークラブのない市町村もあります。クラブ拡大の可能性を検討します。
- ・各クラブの個性を尊重しつつも、会員の多様性に配慮するように推奨します（幅広い年齢層と女性比率の向上）。
- ・ローターアクトクラブの接点を増やします。

2、人道的奉仕の重点化と財団利用の推進

- ・公共イメージの向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
- ・ロータリー財団利用実績を年間40件の目標とします。
- ・ロータリー財団及び米山記念奨学金への寄付を推進すると共に、寄付ゼロクラブがないように協力体制を敷きます。

3、公共イメージの向上とデジタル化の推進

- ・公共イメージの向上のため、地域社会に開かれたロータリー・イメージを意識して、ロータリー・デー等市民向け事業を推奨します。
- ・社会への露出を促すため、メディア対応を改善します。
- ・デジタル化の推進のため、「My Rotary」の登録率を65%に目標設定します。
- ・デジタル化の推進とデータ活用のために、ロータリークラブセントラルへの入力を各クラブすべてが行えるようにします。

※「このビジョンは2020年3月に策定し、7月より取り組むこととします」

ロータリーのビジョン声明



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で
そして自分自身の中で
持続可能な良い**変化を生むために**
人びとが**手を取り合って**
行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一步のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらす、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きなインパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的なかかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/ja/strategicplan

分区区分と担当ガバナー補佐

分区	担当ガバナー補佐氏名	分区所属クラブ
1分区	<p>菅根 清 すがね きよし 田辺はまゆうロータリークラブ</p> 	<p>串本・那智勝浦・新宮 白浜・田辺 田辺東・田辺はまゆう</p>
2分区	<p>丸山 信仁 まるやま のぶひと 御坊ロータリークラブ</p> 	<p>有田・有田南・有田2000 御坊・御坊東・御坊南 海南・海南東・海南西</p>
3分区	<p>木綿 紀文 きわた のりふみ 和歌山ロータリークラブ</p> 	<p>Rotary E-Club Sunrise of Japan・和歌山 和歌山アゼリア・和歌山東・和歌山城南・和歌山中 和歌山西・和歌山北・和歌山南・和歌山東南</p>
4分区	<p>澤田 雅之 さわだ まさゆき 粉河ロータリークラブ</p> 	<p>橋本・岩出 河内長野高野街道 粉河・高野山</p>
5分区	<p>岩間 総一郎 いわま そういちろう 松原ロータリークラブ</p> 	<p>羽曳野・河内長野・河内長野東・松原 松原中・美原・大阪狭山・太子 富田林</p>
6分区	<p>雪本 栄 ゆきもと さかえ 岸和田ロータリークラブ</p> 	<p>ワールド大阪REC・泉佐野・貝塚・貝塚コスモス 関西国際空港・岸和田・岸和田東・岸和田南 KUMATORI向日葵・りんくう泉佐野</p>
7分区	<p>谷 宗光 たに むねみつ 和泉ロータリークラブ</p> 	<p>羽衣・和泉・泉大津 和泉南・大阪金剛 高石・高師浜</p>
8分区	<p>中野 一郎 なかの いちろう 堺清陵ロータリークラブ</p> 	<p>堺・堺東・堺フラワー・堺泉ヶ丘 堺中・堺北・堺おおいずみ・堺フェニックス 堺清陵・堺南・堺東南</p>

2020-2021年度 地区幹事別担当委員会

役職・氏名・担当		役職・氏名・担当	
<p>代表幹事 大石 武徳 岸和田東ロータリークラブ 事務所統括、研修、オンツアー台北</p>		<p>幹事 吉田 裕 橋本ロータリークラブ 緊急医療体制、ロータリー財団</p>	
<p>副代表幹事 池内 清一郎 岸和田東ロータリークラブ 地区戦略計画、情報規定</p>		<p>幹事 三好 清隆 新宮ロータリークラブ RLI、会員増強・維持/女性活躍・推進</p>	
<p>副代表幹事 豊田 奏史 和歌山南ロータリークラブ 青少年交換、危機管理</p>		<p>幹事 細川 幸三 御坊東ロータリークラブ 研修、国際奉仕、写真・ビデオ・記録</p>	
<p>副代表幹事 橋本 竜也 富田林ロータリークラブ 青少年・ライラ、次年度対応</p>		<p>幹事 渡辺 隆一 和泉ロータリークラブ 職業奉仕、インターアクト</p>	
<p>特別幹事 米本 直樹 岸和田東ロータリークラブ 代表幹事補佐</p>		<p>幹事 岡本 弥生 河内長野高野街道ロータリークラブ IT・ガバナー月信、雑誌・公共イメージ</p>	
<p>特別幹事 坂本 光文 岸和田東ロータリークラブ 地区大会、記念ゴルフ大会</p>		<p>幹事 櫻井 新司 岸和田ロータリークラブ ロータアクト、米山記念奨学</p>	
<p>特別幹事 辻林 一郎 岸和田東ロータリークラブ 雑誌・公共イメージ</p>		<p>幹事 岡本 平仁 岸和田東ロータリークラブ 職業奉仕、地域社会奉仕</p>	

2020-2021年度 主要行事予定表

1 地区研修・協議会	6月28日(日) (代替として冊子と映像)
2 会員増強セミナー	8月1日(土)
3 世界ポリオデー	10月24日(土) ポリオ根絶イベント
4 地区大会 記念ゴルフ大会	2021年3月13日(土)
5 地区大会	2021年3月27日(土)～28日(日)
6 台北国際大会	2021年6月12日(土)～6月16日(水)
地区ナイト	2021年6月13日(日)

2020-2021年度 クラブ周年記念行事予定表

クラブ名	期日	行事名	場所
堺北	2020年10月3日(土)	創立40周年記念式典	南海グリル 東店3F
橋本	2020年10月29日(木)	創立65周年記念式典・例会	橋本カントリークラブ
岩出	2020年11月14日(土)	創立35周年記念例会	未定
御坊南	2020年11月28日(土)	創立45周年記念例会及び祝宴	例会:御坊商工会館4階 祝宴:花ご坊(御坊市)
御坊東	2021年2月頃	創立25周年記念例会	未定
和歌山中	2021年2月13日(土)	創立35周年記念例会	ダイワロイネットホテル和歌山
堺	2021年2月20日(土)	創立70周年記念式典	ホテル・アゴーラリージェンシー大阪 4階 ロイヤルホール
泉佐野	2021年2月27日(土)	創立60周年記念式典	ホテル日航関西空港
太子	2021年3月14日(日)	創立30周年記念式典	未定
高野山	2021年4月18日(日)	創立35周年記念例会	未定
和歌山東南	2021年4月10日(土)	創立50周年記念式典	志摩観光ホテル ザ クラシック
泉大津	2021年4月17日(金)	創立65周年記念式典	未定
和歌山南	2021年4月25日(日)	創立60周年記念式典・懇親会	ダイワロイネットホテル和歌山
堺中	2021年5月22日(土)	創立30周年記念式典	スイスホテル南海大阪
和泉	2021年未定	創立60周年記念式典	未定
白浜	未定	創立60周年記念式典	未定

延期
取りやめ

2020-2021年度 会長・幹事一覧

分区	クラブ名	会長名	幹事名	分区	クラブ名	会長名	幹事名	
1	串本	矢倉甚兵衛	和田 俊一	5	松原	住田 進	脇田 隆博	
	那智勝浦	山田 善清	濱 修一		松原中	仲川 正明	関井 皓司	
	新宮	岡 知行	床浦 勝昭		美原	泉並 正	武部 純子	
	白浜	藤田 正夫	北 裕喜彦		大阪狭山	幸坂 信男	米澤 美保	
	田辺	長井 保夫	瀧本 利生		太子	平山 悟史	村元 宏	
	田辺東	本田 耕二	竹中 悟		富田林	橋本 竜也	田毎 宣隆	
	田辺はまゆう	杉山 竜二	山本 敦洋		<small>ワールド大阪 ロータリーEクラブ</small>	門田 知也	辻江 正清	
2	有田	橋爪 誠治	井上 修平	6	泉佐野	谷口 文彦	北浦 基次	
	有田南	田甫 治	塩路 信兼		貝塚	佐納世志子	柳生 元成	
	有田2000	川島 信治	浦崎 寿光		貝塚コスモス	木下 保	谷口美保子	
	御坊	小池 正幸	源地 勇人		関西国際空港	川崎 真範	新井 昭人	
	御坊東	細川 幸三	北垣 剛		岸和田	伊丹 克介	永野 祥司	
	御坊南	前田 達也	田ノ本草平		岸和田東	上林 史和	山元 芳裕	
	海南	上芝 孝充	名手 聡		岸和田南	大谷 孝利	雪本 孝彰	
	海南東	花畑 重靖	田岡 郁敏		KUMATORI向日葵	番匠 博	中楠 真一	
	海南西	鳶村 拓滋	河野 孝		りんくう泉佐野	坂上 道照	町谷 謙一	
3	<small>Rotary E-Club Sunrise of Japan</small>	藤本 竜太	西川 徹	7	羽衣	藤沢 直史	岡井 信介	
	和歌山	笹本 昌克	村田 弘至		和泉	勝野 露観	久保 忠生	
	和歌山アゼリア	野村 伸	栗山 久		和泉大津	臼谷喜世彦	小門 茂樹	
	和歌山東	櫻畑 友洋	亀田 直紀		和泉南	嘉手納良和	髭 奉昭	
	和歌山城南	柏原 康文	部家安有美		大阪金剛	山本 尚生	南 啓二	
	和歌山中	有田 幹雄	林 正		高石	坂東 剛	西浦 結香	
	和歌山北	榎谷 知樹	太田 恵示		高師浜	古川 敏夫	永山 健二	
	和歌山南	櫻畑 国俊	水城 実		8	堺	東野 裕暢	奥中 泰征
	和歌山東南	鱒坂 恒夫	楠見 珠緒			堺東	高松 慶暢	沼田 康子
	和歌山西	中條 剛司	石塚 宏介			堺フラワー	太田 俊幸	西川 武春
橋本	坂口 卓	富樹 泰史	堺泉ヶ丘	安川 信弘		隼田 智貴		
岩出	藤田 源吾	石本 浩	堺中	木下 和美		西谷 稔		
河内長野高野街道	太田 光治	山本 直嗣	堺北	山中喜八郎		塩見 守		
粉河	井関 孝純	阪井 和篤	堺おおいずみ	前内 禧宏		多田 憲史		
高野山	岩坪 英雄	前 清	堺フェニックス	京谷 知明		仲峯 豊		
5	羽曳野	八尾 清隆	川口 正	堺清陵	西内 重広	井上阿佐美		
	河内長野	道旗 弘明	高比良昌也	堺南	嶋田 豪洋	中田 眞豪		
	河内長野東	畠山 隆雄	河合 真吾					

2020-2021年度 ガバナー公式訪問予定

訪問予定日			クラブ名	会長・幹事 懇談会	例会時間	例会場
月	日	曜日				
7	14	火	堺東	11:30	12:30	堺商工会議所2F
	16	木	和歌山城南	17:30	18:30	アバローム紀の国
	17	金	和歌山南	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル4F
	20	月	海南東	11:30	12:30	海南商工会議所4F
	21	火	和歌山	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル4F グラン
	22	水	羽曳野	15:00	16:00	LI Cはびきの2F大会議室
	27	月	和歌山アゼリア	11:30	12:30	アバローム紀の国
	29	水	粉河	11:30	12:30	紀の川市立粉河ふるさとセンター
	30	木	岩出	11:30	12:30	岩出市商工会館2F
8	3	月	和歌山北	11:30	12:30	ルミエール華月殿
	4	火	松原	11:30	12:30	松原商工会議所会館5F
	5	水	和歌山西	11:30	12:30	ラヴィーナ和歌山
	5	水	りんくう泉佐野	17:30	18:30	関西エアポートワシントンホテル3F
	6	木	和歌山東	11:30	12:30	ダイワロイネットホテル4F
	17	月	堺南	11:30	12:30	ホテル・アゴーラ リージェンシー大阪堺クリスタルルーム
	18	火	堺泉ヶ丘	17:30	18:30	サンパレス
	19	水	貝塚コスモス	11:30	12:30	産業文化会館1Fメインホール
	20	木	堺	11:30	12:30	ホテル・アゴーラ リージェンシー大阪堺3Fガーデンコート
	21	金	高野山	11:30	12:30	高野山 花菱4F
	24	月	太子	18:30	19:30	富田林納税協会ビル2階
	25	火	貝塚	11:30	12:30	産業文化会館1Fメインホール
	26	水	和歌山東南	11:30	12:30	ルミエール華月殿
	27	木	堺清陵	17:00	18:00	ホテル・アゴーラ リージェンシー大阪堺2F ラ・プリマ
28	金	泉大津	11:30	12:30	ホテルレイクアルスター	
29	土	堺フラワー	17:30	18:30	堺市堺区北三国ヶ丘1-1-16 ログハウス	
9	1	火	高石	11:30	12:30	南海グリル 天兆閣別館4階(ローズ)
	2	水	松原中	17:30	18:30	松原商工会議所会館5F
	3	木	高師浜	11:30	12:30	高石商工会議所3F
	4	金	堺北	11:30	12:30	南海グリル天兆閣別館4F「ローズ」
	5	土	KUMATORI向日葵	11:00	12:00	KUMATORI向日葵ロータリークラブ事務所
	8	火	関西国際空港	11:30	12:30	ホテル日航関西空港 1階「白鳥の間」
	9	水	堺おおいずみ	11:30	12:30	堺商工会議所3F
	10	木	大阪狭山	17:30	18:30	がんこ大阪狭山店

訪問予定日			クラブ名	会長・幹事 懇談会	例会時間	例会場	
月	日	曜日					
9	11	金	御坊	11:30	12:30	御坊商工会館4F	
			御坊東				} 合同
			御坊南				
	12	土	串本	合同開催の可能性が あります。		旧ヒルトップ和田金(南側)	
	12	土	那智勝浦			ホテルなぎさや	
	12	土	新宮			新宮商工会議所2F 大ホール	
	17	木	和泉南	11:30	12:30	ホテルレイクアルスター	
	23	水	和泉	11:30	12:30	うお健ビル3F	
	24	木	羽衣	17:30	18:30	ホテルきららリゾート関空	
	25	金	河内長野	11:30	12:30	河内長野市商工会館3階大会議室	
29	火	有田南	11:30	12:30	湯浅水産物商業協同組合2F		
30	水	海南	11:30	12:30	海南商工会議所4F		
10	1	木	河内長野高野街道	18:30	19:30	河内長野市キックス3階 会議室2	
	7	水	岸和田	11:30	12:30	岸和田市立浪切ホール 交流ホール	
	8	木	橋本	11:30	12:30	橋本カントリークラブ内	
	9	金	和歌山中	18:00	19:00	ダイワロイネットホテル和歌山3F レストランサンクシェール内 「ルミエール」	
	10	土	Rotary E-Club Sunrise of Japan	後日、相談させていただきます。			
	14	水	ワールド大阪ロータリーEクラブ	後日、相談させていただきます。			
	15	木	岸和田南	18:00	19:00	栄光ビル4F-A(岸和田南RC事務所)	
	16	金	美原	11:30	12:30	ウッドリーム大阪2階 大会議室	
	17	土	堺フェニックス	17:30	18:30	堺東備徳 堺市堺区北花田口町1-1-23	
	22	木	泉佐野	11:30	12:30	泉佐野商工会議所	
	28	水	河内長野東	17:30	18:30	河内長野市商工会館3階大会議室	
29	木	大阪金剛	17:30	19:00	榎本病院5階		
11	4	水	堺中	17:30	18:30	アンジェリカ・ノートルダム	
	5	木	有田	11:30	12:30	紀州有田商工会議所6F	
	11	水	有田2000	18:00	19:00	吉備インターゴルフセンター	
	12	木	海南西	18:00	19:00	海南商工会議所4F 大ホール	
	13	金	白浜	} 合同	調整中	調整中	闘鶏神社会館
			田辺				
			田辺東				
田辺はまゆう							
19	木	富田林	17:30	18:30	富田林市民会館「松の間」		
20	金	岸和田東	12:00	13:00	岸和田グランドホール		

2020-2021 年度 国際ロータリー第2640地区 委員会組織表

2020.6.8

ガバナー 藤井 秀香 (岸和田東)

◎ 委員長
○ 副委員長

<p>研修委員会</p> <p>◎榎畑直尚(和歌山) ○辻 秀和(河内長野高野街道) 米本直樹(岸和田東)</p>	<p>情報規定委員会</p> <p>◎石津剛彦(和歌山) ○西尾幸祐(堺おおいずみ) 池内清一郎(岸和田東) 北岡 満(富田林) 福井隆一郎(堺) 脇村重徳(有田) 岡本 浩(和歌山城南) 榎畑直尚(和歌山)</p>	<p>会員増強・維持</p> <p>女性活躍・推進委員会 ◎山下茂男(和歌山北) ○戸井洋木(和歌山南) 奥 忠道(岸和田東) 柳田正子(貝塚コスモス)</p>	<p>社会奉仕部門</p> <p>社会奉仕委員会 上野山栄作(有田) 角谷浩二(和歌山南) 中野 均(堺東)</p>	<p>ロータリー財団部門</p> <p>ロータリー財団委員会 ◎初田隆生(和歌山北) ○山本唯二(和歌山東南)</p>	<p>米山記念奨学部門</p> <p>米山記念奨学委員会 ◎玉井洋司(田辺)</p>
<p>研究委員会</p> <p>◎榎畑直尚(和歌山) ○辻 秀和(河内長野高野街道) 米本直樹(岸和田東)</p>	<p>国際奉仕委員会</p> <p>◎林 正(和歌山中) ○田辺弘樹(堺清陵) 喜多啓允(橋本) 古谷典子(田辺) 山田雅則(岸和田東) 中野 均(堺東)</p>	<p>職業奉仕委員会</p> <p>◎角谷浩二(和歌山南) ○岡本平仁(岸和田東) 吉田陽彦(泉佐野)</p>	<p>青少年・ライラ委員会</p> <p>◎橋本竜也(富田林) ○近藤大玄(高野山) ○阪井祥博(堺泉ヶ丘) 太田憲示(和歌山北) 川口健太郎(有田) 澤井久和(堺北) 甚野 治泉(佐野) 瀧 成和(富田林) 中西秀文(海南東) 原田勝次(富田林) 松浦 薫(和歌山東南) 道本雅秀(河内長野) 横田達夫(田辺)</p>	<p>財団資金管理小委員会</p> <p>◎吉野惣太(堺泉ヶ丘) 松村秀一(有田)</p> <p>財団補助金小委員会</p> <p>◎中野 均(堺東) 中元耕一郎(有田) 花田宗弘(海南東)</p> <p>財団資金推進小委員会</p> <p>ロータリー平和センター担当 ◎林 俊行(和歌山) 坂ノ上卓也(富田林) 新藤整市(田辺)</p> <p>財団ポリオリオ・ワラス小委員会</p> <p>◎井手良明(和歌山城南) 上野雅也(和歌山)</p> <p>財団学友小委員会</p> <p>◎高寺 薫(泉大津) 黒田忠嗣(和歌山アゼリア) 角 幸彦(御坊)</p> <p>財団監査委員会</p> <p>◎榎畑直尚(和歌山) 矢倉甚兵衛(串本)</p>	<p>米山選考小委員会</p> <p>◎淡野勝也(高石) 西村元秀(堺泉ヶ丘) 毛利高二(岸和田) 米山寄付増進小委員会</p> <p>◎木村勝次(田辺) 釜野典子(泉大津) 川口健太郎(有田) 谷野一彦(羽衣) 田村宣明(和歌山北) 近森裕子(堺) 山本新一郎(岸和田東) 脇坂三蔵(和歌山)</p> <p>米山学友小委員会 ◎新本 憲一(堺おおいずみ) 井上阿佐美(堺清陵) 栗本勝彦(和歌山南) 納谷政志(羽衣) 西澤友成(富田林) 橋本拓也(有田) 藤林範昌(有田南) 松山雅昭(橋本) 溝西 薫(御坊南)</p>
<p>地区戦略計画委員会</p> <p>◎榎畑直尚(和歌山) 豊岡 敬(富田林) 成川守彦(有田) 藤井秀香(岸和田東)</p>	<p>危機管理委員会</p> <p>◎福井隆一郎(堺) ○豊田泰史(和歌山南) 近藤本淳(高野山) 中野 均(堺東) 永野祥司(岸和田) 橋本竜也(富田林) 藤川博康(堺) 森本芳宣(和歌山北)</p>	<p>青少年交換委員会</p> <p>◎中野 均(堺東) ○吉野惣太(堺泉ヶ丘) 河畑啓造(岸和田東) 北畑博史(和歌山南) 中田真豪(堺南) 間宮美穂(太子) 山本圭一郎(岸和田東)</p>	<p>地域社会奉仕委員会</p> <p>◎上野山栄作(有田) ○野井和重(和歌山) 坂東 剛(高石)</p>	<p>ロータリーアウト委員会</p> <p>◎藤川博康(堺) ○高橋佳章(岸和田) ○田中博章(御坊) ◎坂坂恒夫(和歌山東南) 上田泰孝(和歌山東) 田中正章(富田林) 谷口 光(御坊) 永野祥司(岸和田) 道筑弘明(河内長野) 橋原正之(松原)</p>	<p>インターアクト委員会</p> <p>◎渡辺隆一(和泉) ○近藤本淳(高野山) 瀧 和夫(大阪金剛) 木本圭二(松原中) 駒井健太郎(高石) 辻 俊之(橋本) 藤田隆生(堺東) 富永紹年(富田林) 物種唯修(堺清陵)</p>
<p>緊急医療体制委員会</p> <p>◎竹本雅彦(岸和田東) 石本 憲和(岸和田) 南 良輔(有田2000)</p>	<p>オンソニー台北委員会</p> <p>◎川元芳裕(岸和田東) 川崎聖生(貝塚コスモス) 田端隆彦(貝塚コスモス) 寺田美昭(岸和田東) 平田圭一(和歌山)</p>	<p>職業奉仕委員会</p> <p>◎角谷浩二(和歌山南) ○岡本平仁(岸和田東) 吉田陽彦(泉佐野)</p>	<p>ロータリーアウトクラブ</p> <p>【スポンサークラブ(8)】 河内長野(1) 高石(1) 岸和田(1) 富田林(1) 御坊(1) 松原(1) 堺(1) 和歌山東南(1)</p>	<p>ロータリーアウトクラブ</p> <p>【スポンサークラブ(10)】 和泉(1) 堺東(1) 大阪金剛(1) 高石(2) 河内長野(1) 富田林(1) 高野山(1) 橋本(1) 堺清陵(1) 松原中(1)</p>	<p>インターアクトクラブ</p> <p>【スポンサークラブ(10)】 和泉(1) 堺東(1) 大阪金剛(1) 高石(2) 河内長野(1) 富田林(1) 高野山(1) 橋本(1) 堺清陵(1) 松原中(1)</p>

(※五十音順)

2020～2021年度 収支予算書（案） 2020.4.30

収入の部	20～21予算額	摘要
前年度繰越金	8,000,000	
R I 交付金	1,500,000	
地区賦課金	37,000,000	20,000円×1850人
地区大会賦課金	11,100,000	6,000円×1850人
P E T S ・ 地区協議会余剰金	0	
ガバナーエレクト事務所開設初期費用	0	
世界社会奉仕ファンド剰余金繰入	0	
合 計	57,600,000	

支出の部	20～21予算額	
委員会関連	1,660,000	
諮問委員会	100,000	
ガバナー指名委員会	0	
R I 会長賞・意義ある業績賞選考委員会	10,000	
情報規定委員会	100,000	
会員増強・維持女性活躍・推進委員会	200,000	講師招聘
国際奉仕委員会	100,000	
雑誌・公共イメージ委員会	300,000	End Polio Nowイベント
I T ・ ガバナー月信委員会	250,000	
R L I 委員会	500,000	講師招聘/DL研修2回、研修3回
地区40年史編纂委員会	100,000	
その他委員会	0	
社会奉仕関連	7,300,000	
地域社会奉仕委員会	100,000	
職業奉仕委員会	100,000	
インター・アクト委員会	3,100,000	新クラブ設立(上宮太子高校IAC)
ローター・アクト委員会	900,000	
青少年・RYLA委員会	2,500,000	日本RYLA主管予定
青少年交換委員会	600,000	COVID-19により、2020-21年度青少年交換は中止
ロータリー財団関連	250,000	
ロータリー財団委員会	100,000	
奨学金委員会(学友)	50,000	
セミナー設営・研修費	100,000	
米山関連	150,000	
米山記念奨学委員会	150,000	
会議費	800,000	
地区チーム研修セミナー	0	
ガバナー連絡会議(登録料・交通費)	350,000	
ガバナー補佐・幹事合同会議	150,000	
会長会議	300,000	
会長エレクト研修セミナー(P E T S)	0	
地区研修・協議会	0	
各種補助・協力金	15,122,750	
ロータリー文庫協力金	555,000	@300円×1850人
ガバナー会協力金	370,000	@200円×1850人
国際平和学生支援協力金	27,750	@15円×1850人
GE国際協議会参加補助金	500,000	
GE国際大会参加補助金	500,000	
DG国際大会参加補助金	500,000	
規定審議会参加補助金	0	
RIJYEM維持協力金	370,000	@200円×1850人
RIJYEM賠償責任保険	300,000	
新会員の集い	100,000	
米山梅吉記念館寄付金	0	
地区大会補助金	11,100,000	
交通費・登録料等補助金	800,000	
地区誌編纂用引当金	1,000,000	
地区誌編纂用引当金	1,000,000	
各種	27,720,000	
直前ガバナー記念品	100,000	
ガバナー月信	0	
HP作成・維持管理費用	1,320,000	
事務所経費	15,300,000	
新クラブ設立費	0	
ガバナーエレクト事務所準備金	8,000,000	(地区チーム研修セミナー P E T S 地区研修・協議会を含む)
予備費	3,000,000	
次年度繰越金	3,597,250	
合 計	57,600,000	

2019～2020・2020～2021年度 収支予算比較表 (案)

収入の部		19～20予算額	20～21予算額	差 額	摘 要
前年度繰越金		10,000,000	8,000,000	-2,000,000	
R I 交付金		1,500,000	1,500,000	0	
地区賦課金		38,000,000	37,000,000	-1,000,000	中野20,000円×1900人 藤井20,000円×1,850人
地区大会賦課金		9,500,000	11,100,000	1,600,000	中野5,000円×1900人 藤井6,000円×1850人
P E T S・地区協議会クラブ負担金		0	0	0	
P E T S・地区協議会余剰金		0	0	0	
ガバナーエレクト事務所開設初期費		0	0	0	
世界社会奉仕ファンド剰余金繰入		0	0	0	
合 計		59,000,000	57,600,000	-1,400,000	
支出の部		19～20予算額	20～21予算額	差 額	
委員会関連		800,000	1,660,000	860,000	
諮問委員会		100,000	100,000	0	
ガバナー指名委員会		100,000	0	-100,000	
R I 会長賞・意義ある業績賞選考委		100,000	10,000	-90,000	
職業奉仕委員会		100,000	0	-100,000	社会奉仕関連へ移動
情報規定委員会		100,000	100,000	0	
会員増強・維持 女性活躍・推進委員		100,000	200,000	100,000	会員増強・維持委員会を改名
国際奉仕委員会		0	100,000	100,000	
雑誌・公共イメージ委員会		100,000	300,000	200,000	
IT・ガバナー月信委員会		100,000	250,000	150,000	
R L I 委員会		0	500,000	500,000	
地区40年史編纂委員会		0	100,000	100,000	
その他委員会		0	0	0	
国際奉仕関連		6,400,000	0	-6,400,000	
国際奉仕委員会		100,000	0	-100,000	委員会関連に移動
青少年交換委員会		6,300,000	0	-6,300,000	社会奉仕関連に移動
社会奉仕関連		5,200,000	7,300,000	2,100,000	
地域社会奉仕委員会		100,000	100,000	0	社会奉仕委員会を改名
職業奉仕委員会		0	100,000	100,000	
インター・アクト委員会		3,000,000	3,100,000	100,000	
ローター・アクト委員会		900,000	900,000	0	
青少年・R Y L A 委員会		1,200,000	2,500,000	1,300,000	
青少年交換委員会		0	600,000	600,000	COVID-19により、2020-21年度青少年交換は中止
ロータリー財団関連		200,000	250,000	50,000	
ロータリー財団委員会		200,000	100,000	-100,000	
奨学金委員会(学友)		0	50,000	50,000	
研究グループ交換等委員会		0	0	0	
セミナー設営・研修費		0	100,000	100,000	
国際協議会参加補助金		0	0	0	
米山関連		150,000	150,000	0	
米山記念奨学委員会		150,000	150,000	0	
会議費		1,000,000	800,000	-200,000	
会長会議		300,000	300,000	0	
ガバナー連絡会議(登録料・交通費)		500,000	350,000	-150,000	
ガバナー補佐・幹事合同会議		200,000	150,000	-50,000	
各種補助・協力金		13,888,500	15,122,750	1,234,250	
ロータリー文庫協力金		570,000	555,000	-15,000	@300円×1850人
ガバナー会協力金		408,500	370,000	-38,500	@200円×1850人
国際平和と学生支援協力金		50,000	27,750	-22,250	@15円×1850人
GE国際協議会参加補助金		500,000	500,000	0	
GE国際大会参加補助金		500,000	500,000	0	
DG国際大会参加補助金		500,000	500,000	0	
規定審議会参加補助金		0	0	0	
RIJYEM維持協力金		380,000	370,000	-10,000	@200円×1850人
RIJYEM賠償責任保険		0	300,000	300,000	
R L I 研修		0	0	0	委員会関連へ移動
新会員の集い		100,000	100,000	0	
米山記念館寄付金		380,000	0	-380,000	@200円×1850人
世界平和フォーラム広島		0	0	0	
地区大会補助金		9,500,000	11,100,000	1,600,000	
交通費・登録料等補助金		1,000,000	800,000	-200,000	
地区誌編纂費用引当金		1,000,000	1,000,000	0	
地区誌編纂費用引当金		1,000,000	1,000,000	0	
各種		27,650,000	27,720,000	70,000	
直前ガバナー記念品		100,000	100,000	0	
ガバナー月信		0	0	0	
H P 作成・維持管理費用		1,000,000	1,320,000	320,000	
事務所経費		15,300,000	15,300,000	0	
新クラブ設立費		0	0	0	
ガバナーエレクト事務所準備金		8,000,000	8,000,000	0	
予備費		3,250,000	3,000,000	-250,000	
次年度繰越金		2,711,500	3,597,250	885,750	
合 計		59,000,000	57,600,000	-1,400,000	

ガバナー事務所経費に関する内訳一覧表（案）

（単位：円）

費 目	18-19年度	19-20年度	20-21年度	備 考
人件費	4,000,000	6,000,000	6,000,000	
福利厚生費	100,000	100,000	100,000	
交通費	600,000	800,000	800,000	
退職金引当金	200,000	200,000	200,000	
小計	4,900,000	7,100,000	7,100,000	
印刷費	500,000	500,000	500,000	
事務用品費	500,000	500,000	500,000	
通信費	500,000	500,000	500,000	
慶弔見舞金	600,000	600,000	600,000	
新聞図書費	50,000	50,000	50,000	
振込手数料	100,000	100,000	100,000	
賃借料	1,950,000	2,700,000	2,700,000	家賃、倉庫家賃、共益費、駐車場代（3台分） 警備費
修繕費	0	0	0	
ガバナー交通費	300,000	300,000	300,000	
公式訪問交通費	300,000	300,000	300,000	
交通費（ガバナー補佐・幹事）	400,000	400,000	400,000	
年次報告書	0	0	0	
水道光熱費	200,000	200,000	200,000	
運賃	0	200,000	200,000	郵便・宅配等
事務所雑費	200,000	200,000	200,000	
外部監査料	150,000	150,000	150,000	
支払手数料	100,000	100,000	100,000	
ロータリー用品	200,000	200,000	200,000	
その他経費	0	0	0	
予備費	1,350,000	1,200,000	1,200,000	
小計	7,400,000	8,200,000	8,200,000	
合 計	12,300,000	15,300,000	15,300,000	

過年度分収支一覧表

収入の部	12~13決算額 (北中年度)	13~14決算額 (久保年度)	14~15決算額 (壮年度)	15~16決算額 (壮年度)	16~17決算額 (福井年度)	17~18決算額 (岡本年度)	18~19決算額 (櫻畑年度)
前年度繰越	26,183,517	23,384,690	1,503,645	3,815,409	14,398,964	13,402,021	12,127,076
RIよりの交付金	1,544,000	1,561,700	2,145,264	2,095,200	2,165,040	1,822,824	1,598,159
地区資金	21,829,100	0	22,884,000	27,548,000	38,394,000	37,855,000	36,895,000
地区大会開催金				5,460,000	5,700,000	9,610,000	9,305,000
PETS・地区協議会クラブ負担金				5,740,000			0
ガバナーエレクト事務所開設初期費用				5,850,000			
利息収入	6,657	3,076	1,443	1,323		175	247
災害非常時積立ファンド取崩し収入	0	430,563	0				
地区誌編集費取崩し収入	0	7,511,792	0				
国際交流及び青少年ファンド余剰金	0	0	97,336				
Peace絆復興支援ファンド余剰金	0	0	1,798,000				
ライラ特別分担金余剰金	0	248,601	308,630				
特別寄付金収入	0	0	0				
米山記念奨学ファンド取崩し収入	0	1,252,555	0				
世界社会奉仕ファンド余剰金繰入	0	0	0				
PETS・地区協議会余剰金	1,951,650	478,343	760,945				
社会奉仕協力金 取崩し収入	0	1,260,720					
社会奉仕エイスター協力金	0	0	11,800				
その他収入	0	0	0	1,595,112	5,981,481	605,517	397,718
雑収入	0	2,398,250	0		475,946		
合計	51,514,924	38,530,290	29,511,063	52,105,044	67,115,431	63,295,537	60,323,200
支出の部	12~13決算額 (北中年度)	13~14決算額 (久保年度)	14~15決算額 (壮年度)	15~16決算額 (壮年度)	16~17決算額 (福井年度)	17~18決算額 (岡本年度)	18~19決算額 (櫻畑年度)
委員会経費	43,312	111,818	0	0	0	30,240	35,384
語問委員会	43,312	31,185	0	0	0	30,240	35,384
ガバナー指名委員会	0	5,910	0	0	0	0	0
ガバナー投票委員会	0	74,723	0	0	0	0	0
バストガバナー審議会	0	0	0	0	0	0	0
意義ある業績賞選考委員会	0	0	0	0	0	0	0
クラブ専任関連	1,585,525	1,045,000	122,176	239,662	108,088	85,899	366,685
情報規定委員会	0	0	0	117,125	0	85,899	79,920
会員増強・維持委員会	0	0	80,182	42,537	108,088	0	0
雑誌・公共イメージ委員会	1,585,525	1,045,000	41,994	40,000	0	0	63,205
雑誌・広報・IT委員長会議	0	0	0	40,000	0	0	223,560
IT委員会	0	0	0	0	0	0	0
国際専任関連	0	0	0	65,100	43,586	0	0
世界専任委員会	0	0	0	65,100	43,586	0	0
職業専任関連	29,400	0	32,658	32,463	84,337	0	0
職業専任委員会	29,400	0	32,658	32,463	84,337	0	0
社会専任関連	44,956	0	66,783	72,037	62,095	66,814	77,000
社会専任委員会	44,956	0	66,783	72,037	62,095	66,814	77,000
青少年専任関連	5,015,418	5,220,566	4,004,051	8,853,859	9,020,958	8,154,655	8,897,194
青少年専任委員会	124,400	131,750	101,371	1,082,803	1,189,486	1,719,976	50,610
青少年・RYLA委員会	124,400	131,750	101,371	1,082,803	1,189,486	738,373	1,193,660
ローターアクト委員会	1,208,196	1,503,203	720,000	353,031	288,303	901,540	864,599
インターアクト委員会	2,591,647	2,516,396	1,974,619	3,037,835	2,913,512	2,874,688	3,015,758
青少年交換委員会	1,091,175	1,067,217	1,208,061	4,370,190	4,629,657	3,468,078	3,772,567
ローターリー財団関連	1,568,765	0	640,472	111,592	175,568	70,280	91,542
奨学金委員会(学友 他)	0	0	0	0	0	0	0
研究グループ委員会	0	0	0	0	0	0	0
セミナー設置・研修費	1,268,765	0	468,472	82,692	175,568	70,280	91,542
会議費	0	0	10,800				
交通費	0	0	160,200	28,900			
新聞図書費	0	0	1,000				
国際協議会参加補助金	300,000	0	0				0
米山関連	110,000	0	0	1,706	0	7,307	96,121
米山記念奨学委員会	110,000	0	0	1,706	0	7,307	96,121
会議費	1,869,038	2,804,543	2,878,549	6,791,289	495,393	771,526	638,091
IM(インターシティミーティング)	0	424,249	217,249				
地区チーム研修セミナー	0	424,249	217,249	85,290	82,520	199,908	0
PETS・地区協議会等	0	0	0	5,740,000			0
地区幹事会	0	0	0		5,676	40,207	49,140
ガバナー補佐経費	972,400	676,000	1,003,099	109,283	76,000	80,854	96,272
会長会議	0	310,267	456,062	470,466	191,197	290,797	176,299
その他会議費	593,638	454,310	242,727				
その他交通費	0	467,235					
ガバナー連絡会議(旅費)	303,000	472,482	959,412	386,250	140,000	159,760	316,380
各種補助・協力金	4,836,690	2,252,525	2,600,781	4,229,996	7,268,754	14,182,501	13,499,874
ローターリー文庫協力金	625,350	597,150	30,450	585,900	565,650	562,200	546,600
ガバナー文庫協力金	416,900	398,100	388,200	222,810	405,795	374,800	364,400
平和奨学生支援金	0	30,375	29,610	197,400	0	28,305	27,765
GE国際協議会参加補助金	500,000	500,000	300,000	300,000	300,000	500,000	500,000
GE国際大会参加補助金	800,000	500,000	500,000	110,000	500,000	500,000	500,000
DG国際大会参加補助金	0	0	0	0	0	500,000	0
規定審議会参加補助金	500,000	0	0	500,000	0	0	500,000
RIJYEC維持協力金	206,300	196,900	190,800	390,600	377,100	374,800	374,400
RIJ研修	1,168,940	30,000	1,061,721			758,516	332,709
新会員の集い							100,000
広島平和フォーラム	619,200						0
クラブ会長他会議2回	0						
地区大会補助金	0	0	100,000	1,923,286	5,120,209	9,610,000	9,305,000
米山記念贈付金	0	0	0	0	0	0	356,300
交通費・登録料等補助金	0	0	0	0	0	973,880	592,700
地区史編集費用引当金						3,000,000	1,000,000
各種	13,027,130	10,514,940	15,350,184	17,308,376	26,038,126	24,799,239	23,749,838
ガバナーエレクト事務所開設初期費用				5,850,000	10,000,000	10,000,000	8,150,000
直前ガバナー記念品	100,000	0	0			100,000	100,000
ローターリーモメント冊子作成(月債作成)	0	0	200,000				
ガバナー月債	315,000	396,000	734,400	300,000	480,000	3,677,594	1,691,064
HP作成	2,019,150	1,842,150	858,950	1,017,850	839,980	987,120	1,080,000
事務所経費	9,592,980	8,276,790	12,012,019	8,329,940	14,332,946	9,168,253	12,728,774
予備費	0	0	544,815	1,810,586	385,200	866,272	0
新クラブ設立費	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	0
福島会議	0	1,570,568	0	0	0	0	0
ローターリー希望の復興学舎へ寄付	0	1,570,568	0	0	0	0	0
他会計への繰入	0	2,000,000	0	0	0	0	0
当年度支出計	28,130,234	37,026,645	25,695,654	37,706,080	43,296,905	51,168,461	48,451,729
次年度繰越	23,384,690	1,503,645	3,815,409	14,398,964	23,818,526	12,127,076	11,871,471
合計	51,514,924	38,530,290	29,511,063	52,105,044	67,115,431	63,295,537	60,323,200

※、10~11年度の繰越額と11~12年度受入れ繰越額との差2,465,166円については、10~11年度の決算の際、前年繰越額のうち2,465,166円を「米山ファンドとして控除している」との記載によるものと思われるが、詳細は不明。

※、15~16年度の繰越額は、地区大会分残金3,536,714円及び未収入金525,000円を含んでいるため、一般会計の実質的な繰越額としては、10,337,250円である。

※、16~17年度の繰越額は、地区大会分残金の4,116,505円及び回収見込みのない未収入金6,300,000円(450,000円+5,850,000円)を含んでいるため、一般会計の実質的な繰越額としては、金13,402,021円である。なお、回収見込みのない未収入金6,300,000円については、2017~2018年度中の地区立憲案検討会にて、放棄する旨の決議がなされている。

三年度分収支予算書一覧表

収入の部		18～19予算額	19～20予算額	20～21予算額	摘要 (20～21年度)
前年度繰越金		8,540,000	10,000,000	8,000,000	
R I 交付金		1,500,000	1,500,000	1,500,000	
地区賦課金		38,000,000	38,000,000	37,000,000	20,000円×1,850人
地区大会賦課金		9,500,000	9,500,000	11,100,000	6,000円×1,850人
P E T S ・地区協議会クラブ負担金		0	0	0	
P E T S ・地区協議会余剰金		0	0	0	
ガバナーエレクト事務所開設初期費用		0	0	0	
世界社会奉仕ファンド剰余金繰入		0	0	0	
合計		57,540,000	59,000,000	57,600,000	
支出の部		18～19予算額	19～20予算額	20～21予算額	
委員会関連		110,000	800,000	1,660,000	
諮問委員会		100,000	100,000	100,000	
ガバナー指名委員会		0	100,000	0	
R I 会長賞・意義ある業績賞選考委員会		10,000	100,000	10,000	
職業奉仕委員会		0	100,000	0	
情報規定委員会		0	100,000	100,000	
会員増強・維持女性活躍・推進委員会		0	100,000	200,000	講師招聘
国際奉仕委員会		0	0	100,000	
雑誌・公共イメージ委員会		0	100,000	300,000	End Polio Now イベント
I T ・ガバナー月信委員会		0	100,000	250,000	
R L I 委員会		0	0	500,000	講師招聘 DL研修2回 研修3回
地区40年史編纂委員会		0	0	100,000	
その他委員会		0	0	0	
クラブ奉仕関連		400,000	0	0	
情報規定委員会		100,000	0	0	
会員増強・維持委員会		100,000	0	0	
雑誌・公共イメージ委員会		100,000	0	0	
I T 委員会		100,000	0	0	
その他委員会		0	0	0	
国際奉仕関連		100,000	6,400,000	0	
国際奉仕委員会		100,000	100,000	0	委員会関連に移動
青少年交換委員会		0	6,300,000	0	社会奉仕関連に移動
職業奉仕関連		100,000	0	0	
職業奉仕委員会		100,000	0	0	
社会奉仕関連		100,000	5,200,000	7,300,000	
地域社会奉仕委員会		100,000	100,000	100,000	
職業奉仕委員会		0	0	100,000	
インター・アクト委員会		0	3,000,000	3,100,000	新クラブ設立 (上宮太子高校IAC)
ローター・アクト委員会		0	900,000	900,000	
青少年・RYLA委員会		0	1,200,000	2,500,000	日本RYLA主管予定
青少年交換委員会		0	0	600,000	2018-19より、2020-21年度青少年交換は中止
青少年奉仕関連		10,300,000	0	0	
青少年奉仕委員会		100,000	0	0	
青少年・RYLA委員会		1,200,000	0	0	
ローター・アクト委員会		900,000	0	0	
インター・アクト委員会		3,000,000	0	0	
青少年交換委員会		5,100,000	0	0	
ロータリー財団関連		200,000	200,000	250,000	
ロータリー財団委員会		0	200,000	100,000	
奨学金委員会 (学友)		50,000	0	50,000	
研究グループ交換等委員会		0	0	0	
セミナー設営・研修費		150,000	0	100,000	
国際協議会参加補助金		0	0	0	
米山関連		150,000	150,000	150,000	
米山記念奨学委員会		150,000	150,000	150,000	
会議費		950,000	1,000,000	800,000	
地区幹事会議		50,000	0	0	
ガバナー補佐会議		100,000	0	0	
会長会議		300,000	300,000	300,000	
地区チーム研修セミナー		0	0	0	
P E T S 地区協議会等		0	0	0	
ガバナー連絡会議 (登録料・交通費)		500,000	500,000	350,000	
ガバナー補佐・幹事合同会議		0	200,000	150,000	
会長会議 (ガバナー年度・エレクト年度)		0	0	0	
会長エレクト研修セミナー (P E T S)		0	0	0	
地区研修・協議会		0	0	0	
各種補助・協力金		14,088,500	13,888,500	15,122,750	
ロータリー文庫協力金		570,000	570,000	555,000	300円×1,850人
ガバナー会協力金		408,500	408,500	370,000	200円×1,850人
国際平和学生支援協力金		50,000	50,000	27,750	15円×1,850人
GE国際協議会参加補助金		500,000	500,000	500,000	
GE国際大会参加補助金		500,000	500,000	500,000	
DG国際大会参加補助金		0	500,000	500,000	
規定審議会参加補助金		500,000	0	0	
R I Y E M 維持協力金		380,000	380,000	370,000	200円×1,850人
R I Y E M 賠償責任保険		0	0	300,000	
R L I 研修		200,000	0	0	委員会関連に移動
新会員の集い		100,000	100,000	100,000	
米山記念館寄付金		380,000	380,000	0	
世界平和フォーラム広島		0	0	0	
地区大会補助金		9,500,000	9,500,000	11,100,000	
交通費・登録料等補助金		1,000,000	1,000,000	800,000	
地区誌編纂費用引当金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	
地区誌編纂費用引当金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	
各種		26,050,000	27,650,000	27,720,000	
直前ガバナー記念品		100,000	100,000	100,000	
ガバナー月信		1,500,000	0	0	
H P 作成・維持管理費用		1,000,000	1,000,000	1,320,000	
事務所経費		12,300,000	15,300,000	15,300,000	
新クラブ設立費		0	0	0	
ガバナーエレクト事務所準備金		8,150,000	8,000,000	8,000,000	地区チーム研修 P E T S 地区研修・協議会を含む
予備費、仮払金、その他の収入		3,000,000	0	0	
予備費		0	3,250,000	3,000,000	
次年度繰越金		3,991,500	2,711,500	3,597,250	
合計		57,540,000	59,000,000	57,600,000	

カバナー事務所経費に関する過年度内訳一覧表

(単位：円)

費目	12～13年度 (北中年度)	13～14年度 (久保年度)	14～15年度 (辻年度)	15～16年度 (辻年度)	16～17年度 (橋井年度)	17～18年度 (岡本年度)	18～19年度 (經年年度)	19～20年度 (中野年度)	20～21年度 (藤井年度)	備考
人件費	3,390,150	4,791,999	4,650,765	3,603,670	7,448,646	3,939,250	6,358,847	6,000,000	6,000,000	9～10年度については、退職金を含む 13～14年度については、事務所借室料・駐車 場代・光熱費を含む
福利厚生費(各種保険)	184,003		143,147	53,413		52,202	0	100,000	100,000	17～18年度については、2人体制を予定 19～20年度については、3人体制を予定 20～21年度については、3人体制を予定
交通費						708,450	636,760	800,000	800,000	
退職金引当金						200,000	200,000	200,000	200,000	
印刷費	394,425	387,300	942,994	603,491		191,651	621,150	500,000	500,000	
事務用品費及び消耗品費	1,751,911	380,522	765,244	496,656	2,167,775	871,957	744,169	500,000	500,000	
通信費	364,604	437,221	802,295	336,852	695,926	431,239	619,857	500,000	500,000	
慶弔見舞金	814,500	586,512	917,768	750,638		510,000	250,000	600,000	600,000	
新聞図書費		15,750	20,840	15,840		4,500	0	50,000	50,000	
振込み手数料	154,200	69,604	221,194			118,368	79,164	100,000	100,000	
賃借料	0		1,000,000	500,000	2,419,200	0	1,634,756	2,700,000	2,700,000	家賃、倉庫家賃、共益費、駐車場3台分、警備費を含む
事務所警備備料						162,000	0	0	0	
事務所修繕費						0	0	0	0	
修繕費			997,500	624,369		0		0	0	
ガバナー交通費						203,310	292,320	300,000	300,000	
ガバナー公式訪問交通費	800,000	413,770				216,080	120,840	300,000	300,000	13～14年度については、宿泊費を含む
交通費	1,101,240		1,205,720	594,084	353,210	429,574	205,700	400,000	400,000	
レンタルサーバー費										
年次報告書						0		0	0	
水道光熱費	276,300		344,552	173,099	656,090	264,155	123,900	200,000	200,000	
運賃	220,990	190,682				0	0	200,000	200,000	
事務所雑費	242,523				267,667	310,329	160,052	200,000	200,000	
林事務所経費 (330万円特別寄付金収入充当)	-101,866									
外部監査料		100,000		108,000		216,000	216,000	150,000	150,000	
支払手数料				469,828	324,432	102,600	465,259	100,000	100,000	
ロータリー用品		688,150				36,688	0	200,000	200,000	
その他経費		215,280				0	0			
予備費						200,000	0	1,200,000	1,200,000	
合計	9,592,980	8,276,790	12,012,019	8,329,940	14,352,946	9,168,253	12,728,774	15,300,000	15,300,000	

※、19～20年度 20～21年度については、予算額で記入

2020-2021年度 ロータリー賞について

ロータリー賞の達成は難しいものではありません。

- ①ロータリークラブ・セントラル
- ②25の目標に目を通す
- ③その中から13の目標(全目標の52%)を選ぶ
- ④選んだ目標を達成する
- ⑤ロータリークラブ・セントラルで目標
- ⑥達成を祝う!

ロータリー賞に関する留意点

- ・ロータリー賞の手続きは、ロータリークラブ・セントラル内で電子的に行われます。
- ・クラブは、丸1年(2020年7月1日～2021年6月30日)をかけてロータリー賞の達成に取り組みます。
- ・ロータリー賞を受賞するには、クラブはその年度を通じて正規であり、瑕疵なき(人頭分担金の未納がない)クラブでなければなりません。
- ・ガバナーは、ロータリー賞の各項目に向けたクラブの推挙をMy Rotaryから確認できます。
- ・ローターアクトクラブとインターアクトクラブ対象のロータリー賞には、ロータリークラブ対象とほぼ同じ項目が含まれています。ただし、若い世代用に若干の違いが加えられています。ローターアクトとインターアクトの表彰状はPDF形式となり、賞への推薦は提唱ロータリークラブ会長がオンラインで行います。

意義ある奉仕賞（旧意義ある業績賞）

「意義ある奉仕賞」について

「意義ある奉仕賞」は地域社会の重要な課題やニーズに取り込むプロジェクトを実施したクラブを表彰する賞です。各クラブによって実施された1つのプロジェクトのみ、本賞の受賞対象となります。各クラブ会長の皆様より、1つのプロジェクトを地区ガバナーに推薦戴きたくお願い申し上げます。当地区では上限を3クラブとし、受賞クラブを決定します。

推薦要件：

- ・クラブが地域社会の重要な課題やニーズに取り組む社会奉仕活動
- ・財政支援にとどまらず、多くのクラブ会員が直接参加した活動
- ・地域社会にロータリーの公共イメージを向上させる活動
- ・他のロータリークラブの活動の模範となる活動
- ・国際的な活動も含めた活動
- ・今年度を実施した活動（活動の開始／完了年度が今年度でなくてもよい）
- ・1クラブ1申請に限る
- ・以前に「意義ある奉仕賞」を受賞しているプロジェクトは、本賞の対象とはなりません。

推薦方法：別途ご連絡申し上げます。

2020-2021年度 主要報告書ならびに送金先一覧

2020.7.1

報告書類	報告先	参考
1.出席報告 毎月(翌月15日までは必ずお願いします 未着のクラブはブランクになります)	ガバナー事務所	国際ロータリー細則 第4. 080
2.クラブ報告(半期会員報告) *2015年1月以降は、クラブ請求書に変わります	My ROTARY	国際ロータリー細則 第18. 020
3.クラブ業績報告 その都度	ガバナー事務所	
4.会員移動報告 その都度 (入会・退会・職業分類変更・会員身分変更)	My ROTARY	【クラブを成功に導くリーダーシップ : 幹事編】参照
5.公式名簿記載資料 (次期役員/事務局員の氏名) 新役員選挙後-2週間以内	My ROTARY	
6.変更届 その都度(会長・幹事・例会日・例会時間・例会場 事務所・クラブ名称・所在地)	RI日本事務局 (写)ガバナー事務所	
7.クラブに関する報告、ニュース等 その他	RI日本事務局・ロータリーの友 (写)ガバナー事務所	
8.ローターアクト・インターアクト組織一覧表 及び活動計画報告 (半期報告)	ガバナー事務所	
9.(公財)ロータリー日本財団 送金明細 (毎月報告)	ロータリー日本財団(kifu@rotary.org)	
10.(公財)ロータリー米山記念奨学会 送金明細 (送金の都度報告)	(公財)ロータリー米山記念奨学会	
11.国際大会信任状証明書 (会長・幹事の署名)	ガバナーエレクト事務所 (RI指定用紙)	国際ロータリー(定款9条3節 細則第10.040.1)
12.日本語出版物の注文 (文献・資料の請求お問い合わせ)	RI日本事務局業務推進・資料室	

主要送金先

送金	送金先	振込口座			
		銀行名	預金別	口座番号	口座名義
1.人頭分担金 1人あたり \$34. 50 (7月1日) \$34. 50 (1月1日) (7月1日または1月1日の会員数) 上半期のみ規定審議会費\$1がプラスされます 中途入会者の場合: 丸々1月在籍につき月割り額 「The Rotarian」購読料 一部 \$12. 00(7月1日)、\$12. 00(1月1日) * 国際ロータリーより請求書が送付されます。	RI日本事務局	三井住友銀行 新宿通支店	普通	6733244	国際ロータリー 日本事務局
2.ロータリー財団への寄付 年次基金寄付 1人あたり \$180 ポリオ・プラス \$30 ※プロジェクトの返金、ネクタイ・スカーフ、慈善年金の振込先については 口座が異なる場合がありますので別途相談	公益財団法人 ロータリー 日本財団	三井住友銀行 赤羽支店	普通	3978101	公益財団法人 ロータリー日本財団
3.ロータリー米山奨学会への寄付 1人あたり 普通寄付 ¥3,000(7月1日) ¥3,000(1月1日) 特別寄付 ¥9, 000	公益財団法人 ロータリー 米山記念奨学会	三井住友銀行 京橋支店	普通	0920373	公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
4.『ロータリーの友』の購読料 半年分 ¥1,200 (税別) 雑誌を受け取った月より月割1部 ¥200 (税別) の計算で、『友』より請求書が送付されます	一般社団法人 ロータリーの友 事務所	三井住友銀行 浜松町支店	普通	7450015	一般社団法人 ロータリーの友事務所
5.地区資金 1人あたり ¥20,000 ¥10, 000(7月1日会員) ¥10,000(1月1日会員) 中途入会者の場合も同額	ガバナー事務所	紀陽銀行 東和歌山支店	普通	2048408	リッドニロクヨンゼロ RID2640 ガバナー 藤井秀香
6.米山梅吉記念館への寄付(任意) 1人あたり¥100					
7. 地区大会賦課金 1人あたり ¥6,000(1月1日会員) 1月2日~2月28日に入会の人も3月1日に¥6,000 参加登録者は、別途¥3,000	地区大会事務所				

部門別、委員会別の開催について

ここ数年間の間にRIの部門別、そして委員会のあり方が大きく変わってきています。従来のように奉仕部門を単純に分けることが出来なくなりました。例えば社会奉仕部門が従来の部門・委員会を包括するような構成になっています。付きましてはこの度の研修におきましては部門別構成を会長・幹事部門、社会奉仕部門、ロータリー財団部門、米山記念奨学会、そして関連の委員会（その1～その3）ごと、7つに分けさせて戴きました。

- 1) 会長・幹事部門
- 2) 社会奉仕部門（地域社会奉仕・職業奉仕・インターアクト・ローターアクト・青少年／RYLA・青少年交換）
- 3) 委員会その1（研修・国際・オンツー・台北）
- 4) ロータリー財団部門
- 5) 委員会その2（会員増強・維持／女性活躍推進・雑誌・公共イメージ・IT/ガバナー月信・RLI）
- 6) 委員会その3（情報規定・地区戦略計画・危機管理）
- 7) 米山記念奨学

となりますが、各クラブにおかれましては委員会の分掌・呼称が異なることもおありかと思われまますのでそれぞれの役割に相当する委員長様の出席を賜り、RIの方針、地区委員会の方針を聴取戴き、新年度の活動に役立てて戴きたいと存じます。

会長・幹事部門

プログラム

部屋：4Fダイヤモンド

	インストラクター	次期研修リーダー（PDG）	檜畑 直尚
		ガバナー	中野 均
		パストガバナー	
	インストラクター	ガバナーエレクト	藤井 秀香
		次期ガバナー補佐	菅根 清
			丸山 信仁
			木綿 紀文
			澤田 雅之
			岩間總一郎
			雪本 栄
			谷 宗光
			中野 一郎
13:00	司会・進行 担当者紹介 開催挨拶	次期代表幹事	大石 武徳
		ガバナーエレクト	藤井 秀香
		ガバナーエレクト	藤井 秀香
13:10	研修について	インストラクター	次期研修リーダー 檜畑 直尚
13:15	審議事項 ・地区資金分担金（案）の件 ・地区予算（案）の件	次期財務委員会委員長	木戸 伸男
13:55	質疑応答	次期代表幹事	大石 武徳
14:05	会長・幹事様にお願いした件について	ガバナーエレクト	藤井 秀香
14:15	閉会挨拶	ガバナーエレクト	藤井 秀香

*本会議場においての会長・幹事部門の発表者は？
この後本会議場へご移動下さい

記録担当：

社会奉仕部門

プログラム

部屋：4Fロイヤルホール

インストラクター	ガバナーノミニー（次期社会奉仕委員会委員長）	豊岡 敬
インストラクター	次期地域社会奉仕委員長	上野山栄作
インストラクター	次期職業奉仕委員長	角谷 浩二
インストラクター	次期インターアクト委員長	渡辺 隆一
インストラクター	次期ローターアクト委員長	藤川 博康
インストラクター	次期青少年・ライラ委員長	橋本 竜也
インストラクター	次期青少年交換副委員長	吉野 惣太

13:00	司会・進行	次期地区幹事	岡本 平仁
	担当者紹介	次期地区幹事	岡本 平仁
	開催挨拶	ガバナーノミニー	豊岡 敬

13:10	各委員長より活動方針発表（各委員会約9分で）	次期地区幹事	岡本 平仁
-------	------------------------	--------	-------

14:05 質疑応答

14:15	閉会挨拶	ガバナーノミニー	豊岡 敬
-------	------	----------	------

*各委員長様の発表時間は委員長様方で調整下さい。

*本会議場での代表発表者を決めておいて下さい。

この後本会議場へご移動下さい

記録担当：

地域社会奉仕委員会



2020－2021年度 委員長
上野山栄作（有田RC）

【活動基本方針】

私たちロータリアンは「世界を変える行動人」として、地域のニーズに応じて、現代社会の変化に適応できる機能的な奉仕活動を行う必要があります。その為には、各クラブが地域に何が必要かをリサーチし、優先順位をつけた上で地域課題に適した奉仕活動を行うことが重要です。地域の人々に求められる奉仕団体として、インパクトのある社会奉仕事業は地元に対する存在意義であり、またクラブ存続の鍵とも言えるでしょう。そして、地域の諸団体との協力による事業にもトライし、共にやりがいを感じて頂きたいと思えます。

その為に当委員会は各クラブにおける地域課題のリサーチとRI行動計画に適合した奉仕事業の実施計画を考える機会を開きたいと考えます。又、日本のロータリー100周年という節目に、各クラブが記憶に残る活動を行って頂き、公共イメージの向上を図りたいと考えます。

【活動計画】

1. 地区地域社会奉仕委員会の責務と役割

- ・ RI及び地区からの地域社会奉仕に関する情報伝達
- ・ 各クラブ社会奉仕委員会の職務遂行への手助け
- ・ 他委員会との協調

2. 各クラブに推奨する奉仕活動

- ・ 地域課題解決に向けた奉仕事業
- ・ 他団体と協力して行う奉仕活動
- ・ 「日本のロータリー100周年」記念冠事業

3. 2020－2021年度重点

- ・ クラブ社会奉仕委員長会議の開催
- ・ 各クラブの地域課題の調査と適合奉仕活動の計画

職業奉仕委員会



2020-2021年度 委員長
角谷 浩二 (和歌山南RC)

【活動基本方針】

「ロータリーにおける職業奉仕の必要性」

ロータリーのロータリーたる所以は、職業奉仕の実践にあり。品物や技術を通じて社会に奉仕するために職業を営み、その見返りに利益を得る。この職業奉仕の実践により得た利益で家族や従業員を養い、その余ったお金を奉仕に使い、その人間の余暇を使ってボランティア活動をする。ロータリー奉仕の原点は職業奉仕にあります。社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕は発展性や意外性がありロータリアンにとって非常に面白い奉仕活動ではありますが、そればかりやっているとロータリー以外の奉仕団体と何ら変わらない奉仕団体となってしまいます。RIは職業奉仕を部門から外し社会奉仕部門の小委員会としております。今こそ、ロータリーにおける職業奉仕の必要性が問われているのではないのでしょうか。

【活動計画】

11月21日（土）関西空港エアロプラザにて地区職業奉仕委員長会議を開催し、各クラブの職業奉仕委員長様に職業奉仕の問題点と必要性を説明。

内容

- ①職業奉仕と社会奉仕の「奉仕」の違いについて
- ②「アイ・サーブ」と「ウイ・サーブ」
- ③ロータリーにおける「例会」と「卓話」の重要性について
- ④四つのテストの意味
- ⑤決議23-34の内容について

クラブからの卓話要請があればできる限り要請に答える。

インターアクト委員会



2020-2021年度 委員長
渡辺 隆一 (和泉RC)

【活動基本方針】

インターアクトクラブでは、ロータリアンの皆さまご承知おきの通り、12～18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員（インターアクター）との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの『超私の奉仕』を学び、行動力を身につけます。

インターアクトクラブの監督と指導において主な役割を果たすのは提唱ロータリークラブですが、ロータリー地区、そして地区委員会も当然に、インターアクトを支援してまいります。

そのために、本年度の方針としましては、インターアクトクラブ同士（提唱ロータリークラブ同士も含めて）の関係をこれまで以上に深めると共に、インターアクトとロータリーとの関係強化を推し進めてまいります。同じクラブのメンバー、他校クラブのメンバーそしてロータリアン共々、お互いの活動を通じて、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開けるよう、委員会活動を進めてまいります。

【活動計画】

2020年	7月19日（日）	年次大会
	9月	国際交流親睦会
	10月	リーダーシップフォーラム
	11月	（海外）研修オリエンテーション
	12月	（海外）研修
2021年	2月	（海外）研修報告会
	6月	新入会員歓迎会

ローターアクト委員会



2020-2021年度 委員長
藤川 博康 (堺RC)

【活動基本方針】

今年度のRI 会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」

地区ガバナー基本指針 スローガン「ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう」

今年度RI会長 ホルガー・クナークはテーマに「ロータリーは機会の扉を開く」として、「ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待」と謳い、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開かんとされています。

ローターアクト委員会としては、「より豊かで意義ある人生への機会の扉」は、18歳から30歳までの若者にはより大切なものと考えます。

まずは、ローターアクトメンバー同士が親睦をはかり、情報交換と意識の共有をめざし、交流（つながり）の機会を多く持つことで、地区スローガン「ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう」を推進してまいります。また、つながりの輪を拡げる為にも青少年関連委員会との連携をはかり、インターアクト、財団学友、交換学生、米山留学生との交流（機会の扉）も大事にすることで、ローターアクトの会員増強にも注力したいと考えています。

以上の点から以下の事業を計画しております。

【活動計画】

8月2日（日）	リーダーシップフォーラム
9月13日（日）	アクトの日
10月24日（土）～25日（日）	2640地区RC地区年次大会
11月29日（日）	四地区交流会（今年度は2640地区がホストを務めます）
2021年	
1月24日（日）	地区連絡協議会
2月中旬（日）	地区献血
4月18日（日）	三役研修会
5月30日（日）	地区年次大会

青少年・RYLA委員会



2020-2021年度 委員長
橋本 竜也 (富田林RC)

【活動基本方針】

皆様こんにちは、2020-2021年度、青少年・RYLA委員会、委員長の橋本竜也です。

日頃は何かと青少年奉仕の活動にご理解とご協力をいただいております、誠にありがとうございます。

RYLA: Rotary Youth Leadership Awards 青少年指導者養成計画: は我々ロータリーが青少年達に対して未来のために知恵と勇気、知識を授けるために、企画、運営を行う青少年奉仕プログラムです。当地区では長年このプログラムを、宿泊キャンプ形式でのセミナーとして実行してきました。

しかし、新型コロナウイルスによる影響にて前年度のRYLA研修セミナーは中止を余儀なくされ、また今後のRYLA研修セミナーについては企画運営の内容に大きな変更が必要となっております。

計画案、予定としては2021年3月上旬に和歌山県、高野山にて2泊3日行程で、メインテーマをRYLA legend 人のすばらしさ 醜さ (失ったものから学ぶ) とさせていただきました。

セミナー形態、運営方法、プログラムの内容等については、他地区のRYLA委員会とも協議を重ね、これからのRYLA研修セミナーの新しい姿を構築してゆきます。

また当地区内の有識者の方々の意見を拝聴し、コロナウイルス感染拡大防止を重要課題としたセミナーとしたいと思います。

【活動計画】

基本構想: テーマ 人のすばらしさ 醜さ (失ったものから学ぶ)

戦後日本は目覚ましい復興を成し遂げました。経済・教育・施設やインフラ等 周りにあるものすべてそして国民の生活も見事に復興し、そして発展繁栄を達成することができました。しかし、今 人の心の中には 新たな闇が生まれつつあります。

先祖や歴史に対しての尊敬の念、希薄化してしまった危機管理 災害や災いに対するの備え、食べ物や資源に対してあまりにも薄くなってしまった感謝の念.....

素晴らしく発展した一方で、なくしてしまったものはあまりにも多いと考えます。

震災時に日本人がとった規律を守るといった素晴らしい行動がありました。しかし今回の新型コロナウイルス感染拡大防止に対して人がとった行い、発した言葉は どこか我々に影を落とし 課題を抱えました。

今年度のRYLA研修セミナープログラムはこれら新に生まれた問題点もとりあげてゆきたく思います。

- 1 RYLA委員会にて 対新型コロナウイルス案を盛り込んだ セミナー形式の発案を上げ、協議
これについては全国他地区RYLA委員会と意見交換など実施し 新しいRYLA研修セミナープログラムを構築する
- 2 2021年3月に計画をしている 高野山RYLAを基本軸とし プログラム内容、運営方法案を構築する
- 3 上記案についてはA: 新型コロナウイルス感染拡大終息時を仮定した案 B: 感染拡大が終息しない場合のプログラム案
この2つを立案し企画をする。

青少年交換委員会



2020-2021年度 委員長
中野 均 (堺東RC)

【活動基本方針】

ロータリーの青少年交換は、1929年頃ヨーロッパで始まり、当初はロータリアンの子弟同士を交換しホームステイすることで若い人たちを育成することを目的としています。1972年国際ロータリー理事会で、世界的な平和と理解そして価値ある国際的活動として正式に推奨され、今日では、一般の高校生も海外留学できるプログラムとなっています。

青少年交換学生は、「小さな親善大使」と言われ、派遣先の学校に通い、その国の地域や文化を学び相互理解の促進に努めます。帰国後には、留学先の言語等で報告をして頂きます。

派遣学生を推薦したクラブは、海外からの留学生を受け入れて頂き、お世話をお願いします。また、危機管理の観点からR I J Y E Mの指針に沿った運営をして行きます。

当地区として、2020年—2021年度は、3名以内の長期交換派遣学生の募集を行い選考試験により決定します。また、短期交換派遣学生の募集について、昨年同様募集しないこととします。

但し、WHOによるCOV I D -19の収束宣言及びR I J Y E Mの指針、その他の事情により、長期交換派遣学生の募集をしない場合もあります。

【活動計画】

- 1 直近の派遣実施国
アメリカ、ドイツ、インドネシア
- 2 次年度の長期交換学生の募集
原則、地区内の高校に通学していること。1つの高校からの応募者は1名とし、1つのクラブから推薦を受ける。
- 3 派遣候補生へのオリエンテーションの実施
- 4 受入学生のための研修等、日本文化体験を行う。
- 5 青少年交換学生のOB、OGによるROTEX活動の推進
- 6 危機管理の観点から学生の安全確保に努め、青少年交換事業全般の見直しを行う。
- 7 2020年—2021年度長期交換留学派遣予定学生について、COV I D -19により派遣中止に伴い、次年度派遣に向けオリエンテーションを行う。
- 8 その他

委員会その1

- 研修委員会
- 国際奉仕委員会
- オンツー・台北委員会

委員会その1

プログラム

部屋：3F ガーデンコート

	インストラクター	次期研修委員会副委員長 (PDG)	辻 秀和
	インストラクター	次期国際奉仕委員長	林 正
	インストラクター	次期オンツー・台北委員長	山元 芳裕
13:00	司会・進行	次期地区幹事	細川 幸三
	担当者紹介	次期地区幹事	細川 幸三
	開催挨拶	次期研修委員会副委員長	辻 秀和
13:10	各委員長より活動方針発表 (各委員会約15分で)	次期地区幹事	細川 幸三
14:10	質疑応答	次期地区幹事	細川 幸三
14:15	閉会挨拶	次期研修委員会副委員長	辻 秀和

*各委員長様の発表時間は委員長様方で調整下さい。

*本会議場での代表発表者を決めておいて下さい。

この後本会議場へご移動下さい

記録担当：

研修委員会



2020-2021年度 委員長
榎畑 直尚 (和歌山RC)

【活動基本方針】

地区研修委員会は、ガバナー、ガバナーエレクトに協力して、地区のリーダーに研修を行う。ガバナー、ガバナーエレクトが地区の研修計画全般を監督するうえで、協力と支援を行う。

【活動計画】

ガバナー、ガバナーエレクトと協力して以下のセミナーを行う。

1. ガバナー補佐研修
2. 地区チーム研修セミナー
3. 会長エレクトセミナー
4. 地区研修・協議会
5. 上記の他、ガバナーが指定する研修

国際奉仕委員会



2020－2021年度 委員長
林 正（和歌山中RC）

【活動基本方針】

- 1) 世界各国のロータリアンとの親睦を通して国際理解、親善、平和の推進を図りたいと思います。
- 2) 6重点分野の奉仕活動にはロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金を積極的に活用いただけるようにロータリー財団との連携を図ります。
- 3) 国際奉仕活動の計画、実施において単独クラブでは困難な場合には数クラブ合同や分
区単位でのマッチングも視野に入れた支援を行います。

【活動計画】

- 1) 地区内各RCの国際奉仕活動を地区内で周知していただけるようにクラブ国際奉仕委
員長会議を開催したいと考えています。
- 2) 6重点分野に精通したロータリアンによる地区リソースネットワークを構築したいと
考えています。

オンツー・台北



2020-2021年度 委員長
山元 芳裕 (岸和田東RC)

【活動基本方針】

この度、2020-21年度国際ロータリー第2640地区藤井秀香ガバナーの下、オンツー・台北委員会、委員長を拝命いたしました岸和田東ロータリークラブの山元芳裕でございます。

2019-2020年度の国際大会は、米国・ハワイでの開催予定でしたが、コロナウイルス感染症の世界的蔓延の影響を受け、残念ながら中止となりました。

2020 - 2021年度の国際大会は、台湾・台北市において開催されます。期間は2021年6月12日～6月16日の予定です。

私たち2640地区の各クラブに置かれましても、台湾の各クラブと友好・姉妹関係を結んでおられるクラブが、16クラブほど御座います。台湾の人々は日本とは友好的なことで知られています。

この機会に、多くのロータリアンの皆様の国際大会へのご参加をお願いし、いろいろな情報・ご提案をご提示し、2640地区の皆様方の国際大会への案内役をさせて頂きたいと思っております。

【活動計画】

第1回委員会 令和2年 月 日 ガバナー事務所けやき (日程は未定)

顔合わせと活動基本方針、活動計画、予算、などの決定

第2回委員会 令和2年 月 日 ガバナー事務所けやき (日程は未定)

国際大会・2640地区ナイト等の予算書の提出

*台北での地区ナイト：2021年6月13日予定 (場所未定)

そのほか、必要に応じて、委員会を招集いたします。

各クラブよりの委員

川崎 晃生 氏 (貝塚コスモス)

田端 隆彦 氏 (貝塚コスモス)

寺田 美昭 氏 (岸和田東)

平田 圭一 氏 (和歌山)

5人のロータリアンで頑張っまいります。

(2020年4月30日現在)

ロータリー財団部門

プログラム

部屋：3F春景

	インストラクター	次期ロータリー財団委員長	初田 隆生
	インストラクター	次期財団資金管理小委員	松村 秀一
	インストラクター	次期財団補助金小委員	中元耕一郎
	インストラクター	次期財団資金推進小委員長 兼ロータリー平和センター	林 俊之
	インストラクター	次期財団ポリオ・プラス小委員	上野 雅巳
	インストラクター	次期財団学友小委員長	高寺 壽
	インストラクター	次期財団監査委員会委員	矢倉甚兵衛
13:00	司会・進行 担当者紹介 開催挨拶	次期地区幹事 次期地区幹事 次期ロータリー財団委員長	吉田 裕 吉田 裕 初田 隆生
13:10	各委員長より活動方針発表（各委員会約10分で）	次期地区幹事	吉田 裕
14:10	質疑応答	次期地区幹事	吉田 裕
14:15	閉会挨拶	次期ロータリー財団委員長	初田 隆生

*各委員会の発表時間は委員長様方で調整下さい。

*本会議場での代表発表者を決めておいて下さい。

この後本会議場へご移動下さい

記録担当：

ロータリー財団委員会



2020-2021年度 委員長
初田 隆生 (和歌山北RC)

【活動基本方針】

ロータリー財団の標語は、「世界でよいことをしよう」であり、ロータリー財団の使命は、「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

ロータリー財団は、ロータリアンである私たちの「寄付」を資金とし、財団プログラムへの参加によって地元および国際社会に貢献しています。

各クラブがロータリー財団プログラムを通して、ロータリー財団を身近なものとして感じて頂き、有意義な奉仕活動に繋げて頂けるお手伝い出来るよう取り組んで参ります。

地区目標は以下の通りといたします。

- 年次基金寄付「0」クラブの解消
- ポリオ撲滅への協力
- 恒久基金／大口寄付の増進
- ロータリーカードの普及、推進

<ロータリー財団への寄付目標>

- 年次基金寄付 : 1人あたり180ドル以上
- ポリオ・プラス寄付 : 1人あたり30ドル以上

【活動計画】

地区ロータリー財団委員会は、以下の委員会と共に活動して参ります。

- ①財団資金管理小委員会
補助金の管理を徹底し、適切な補助金管理についてロータリアンに情報や研修を提供します。補助金セミナーの実施を支援するなど、クラブの参加資格認定を援助します。
- ②財団補助金小委員会
ロータリー財団補助金の実施と、クラブが補助金を活用して、人道的・教育的・職業的活動等を実施できるように支援します。
- ③財団資金推進小委員会
地区における財団への寄付の増進と、寄付者の表彰・認証を管理します。またロータリー平和センタープログラムへの参加の管理と推進を担当します。
- ④ポリオ・プラス委員会
ポリオ撲滅活動をロータリアンや地域社会の方々に推進し、募金活動を企画します。
- ⑤財団学友小委員会
財団学友の現在を把握し、財団学友とロータリーの友好的関係を再構築・維持するとともに、学友会の発展、拡充を支援します。
- ⑥財団監査委員会
地区ロータリー財団部門を監査します。

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

委員会その2

- 会員増強・維持／女性活躍推進委員会
- 雑誌・公共イメージ委員会
- IT／ガバナー月信委員会
- RLI委員会

委員会その2

プログラム

部屋：3F利休その1

	インストラクター	次期会員増強・維持／女性活躍推進委員長	山下	茂男
	インストラクター	次期雑誌・公共イメージ委員長	井手	良明
	インストラクター	次期IT／ガバナー月信委員長	寺下	卓
	インストラクター	次期R L I委員長	浅岡	善彦
13：00	司会・進行 担当者紹介 開催挨拶		次期地区幹事	三好 清隆
			次期地区幹事	三好 清隆
			次期R L I委員長	浅岡 善彦
13：10	各委員長より活動方針発表（各委員会約15分で）		次期地区幹事	三好 清隆
14：10	質疑応答		次期地区幹事	三好 清隆
14：15	閉会挨拶		次期R L I委員長	浅岡 善彦

*各委員会の発表時間は委員長様方で調整下さい。

*本会議場での代表発表者を決めておいて下さい。

この後本会議場へご移動下さい

会員増強・維持／女性活躍推進委員会



2020-2021年度 委員長
山下 茂男 (和歌山北RC)

【活動基本方針】

今後、クラブ運営、ロータリー活動にとって大変難しい時期になると予想されます。

各クラブ会長様を始め皆さんの益々のご理解とご協力が必要となります。宜しくお願ひ致します。

- ①会員増強の目標人数を決める。
- ②退会防止に努める。
- ③自クラブの現状お把握。
- ④会員増強への各クラブ会長の強いリーダーシップを要請。
- ⑤新規入会者へ入会メリット等を伝える。

【活動計画】

- ①新規入会員の目標人数を決める。

入会を誘う際のメッセージはごくシンプルなものに留めるべきです。最初からロータリーについてすべてを説明しようと思わずに、まずは例会や奉仕活動に参加してもらい、実際にロータリーを体験してもらうようにする。

- ②クラブに留まる理由、退会する理由の把握。

退会理由を理解することで、的を絞った対策を立てることができます。「会員維持力を高める」在籍年数ごとにグループ分けをしてみましょう。例えば、退会した会員の過半数が入会后2年以内に退会している場合、その対策として、比較的新しい会員に例会や奉仕活動に積極的に参加してもらうように積極的にお誘いする。

- ③クラブの現状の把握（職業分類バランス、会員の出席状況の把握）

出席率の悪い会員に対し複数の会員から積極的に例会、奉仕活動への参加を帯掛ける。

- ④各クラブの会長の強いリーダーシップが必要。

会員増強について会長の強いリーダーシップをお願いします。

- ⑤入会メリットを伝える。

- ・奉仕活動を通じて地域社会に貢献できる。
- ・仕事上の人脈や生涯の友情を築くことができる。経験豊かな先輩から学ぶことができる。
- ・イベントの企画、人前でスピーチ（パブリックスピーキング）、ファンドレイジング（寄付推進）など、仕事に役立つスキルが身につく。
- ・家族と一緒にボランティア活動や親睦行事に参加したり、地元や海外での青少年活動に子どもを参加させることができる。
- ・世界各地に友人をつくることできる。海外旅行中に現地の会員と交流できる。

（マイロータリーより抜粋）

雑誌・公共イメージ委員会



2020-2021年度 委員長
井手 良明 (和歌山城南RC)

【活動基本方針】

委員会名にふさわしく「ロータリーの友」を愛読し、全国各地のクラブの様々な奉仕活動を知り参考にして、地区内クラブの奉仕活動の更なる飛躍発展を目指すことで、地域社会にロータリークラブが奉仕団体であるというイメージを一層高められるよう努めます。

【活動計画】

1. 10月24日は「世界ポリオデー」ということで、世界中で日本各地でロータリークラブが中心となってポリオ根絶の為の活動、イベントが繰り広げられます。本地区も「ロータリーと共に寄り添い奉仕の扉を開こう」の藤井ガバナーのスローガンの下、24日(土)午前中、関西国際空港にてブースを設置し、国際ロータリー、ロータリー財団、米山記念奨学会等の広報パネル掲示、人集めの為の会場付近でのパンフレット配布、子供さん向けの多少のグッズの提供も行い、ポリオ撲滅キャンペーン募金活動を、近隣クラブの会員皆様の協力も頂きながら実施致します。当日イベントの様子は地元マスコミの報道、またロータリーの友誌への記事写真の投稿も行うことで、ロータリークラブの認知度の向上を図ります。
2. クラブの社会奉仕活動等の記事写真をロータリーの友「ロータリーアットワーク」欄へ積極的な投稿を地区内クラブに呼びかけます。

IT／ガバナー月信



2020－2021年度 委員長
寺下 卓（海南東RC）

【活動基本方針】

ホームページでの情報発信を中心にした「公共イメージと認知度の向上」とガバナー月信の制作、ITの積極的かつ効果的な活用を促進し、クラブの支援に取り組みます。

特に「マイロータリー」の普及促進と活用支援を引き続き行います。また、地区ホームページの制作及び運用では、地区と地区内クラブの情報交流を促進し、クラブの運営、活動支援を行います。

さらに、ガバナー月信の制作、掲載については、国際ロータリー、地区、クラブの情報をとりまとめ、各クラブに効率よく情報伝達を行います。

このほか、各クラブの活動におけるIT活用の支援、地区や各クラブの貴重な活動データを記録保存し、地区の歴史として、未来に継承します。

【活動計画】

1. 「マイロータリー」普及促進と活用

国際ロータリーのウェブサイト「マイロータリー」（会員用）と「ロータリー・クラブセントラル」（クラブ会長、幹事、事務局職員用）の普及促進、登録の推進と活用支援として、事務職員研修会の開催等、幅広く相談・支援を行います。

2. 地区ホームページにおける情報発信、運用及びサーバー管理

ロータリー活動に必要な情報、特にガバナー及びガバナー補佐、委員会等の地区からの情報（お知らせ、報告、行事予定等）を掲載するほか、関係資料、関連先リンクを掲載し、活動を記録保存します。※地区の各委員会との情報連携を強化

3. 「公共イメージと認知度の向上」の推進

ホームページ、SNS等を活用し、特に雑誌・公共イメージ委員会と連携し、広く一般の多くの皆さんにロータリー活動をアピールし、RIの戦略計画における優先項目である「公共イメージと認知度の向上」を図ります。

4. 地区ホームページにおけるガバナー月信の掲載

毎月の編集会議における記事予定に基づき、ガバナー事務局と連携して、情報の収集、ガバナー月信を制作・発行し、ホームページに掲載します。

5. 各クラブの活動におけるIT活用の支援

ロータリー活動におけるIT活用を促進するため、各クラブのホームページ作成、週報、SNSやコミュニケーションツール（LINE等）などの活用についての相談等、効果的、効果的な運用の支援を行います。

6. 活動情報の記録保存

年度における地区の活動データを記録保存し、地区の歴史として、電子データとして未来に継承します。

R L I 委員会



2020-2021年度 委員長
浅岡 善彦 (太子RC)

【活動基本方針】

この度、2020-21年度国際ロータリー第2640地区藤井秀香ガバナーの下、R L I 委員会委員長を拝命いたしました。不肖私太子ロータリークラブ所属の浅岡善彦でございます。

浅学菲才ではございますが、先輩諸兄の下、一生懸命お勤めさせて頂きたく思いますので、どうぞよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

R L I は1992年アメリカ・ニュージャージー州第7510地区において元R I 理事デビット・リンネット氏の発案で始められた研修組織です。

そして、日本では2008年6月元R I 理事南園義一氏日本支部委員長の下でスタートしております。2011年7月元R I 理事黒田正宏氏に日本支部委員長が引き継がれ、2015年7月に元R I 理事北清治氏が日本支部委員長を引き継がれました、由緒あるロータリー・リーダーシップ研究会です。

R L I のカリキュラムの基本的な考え方は、リーダーシップ、奉仕、会員組織の強化の3つのスパイラルであり、この3本柱を軸を中心に各パートが進むにつれて段階的に高度化する内容となっています。(全部で合計18セクションです。)

将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンにボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的です。

そして、R L I の理念に従って私たちロータリアン一人ひとりがロータリーを理解しロータリアンの卓越した自主性と指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育み、モチベーションを高めリーダーシップを涵養して戴きたいと思っております。

【活動計画】

第一回委員会 令和2年3月14日 AM11時 ガバナー事務所けやきONE 301号室

次回開催予定 令和2年6月20日 AM10時 ガバナー事務所けやきONE 301号室

11月、顔合わせDLの皆さんにご案内。活動基本方針、活動計画、予算、会場エントリー

12月、DL研修のご案内、講師のお願い、会場手配確認、予算、補佐会議に計画書提出

令和3年

1月、 DL研修

3月、 DL研修

3月、 R L I 研修会、パート1,2,3のご案内

3月、 R L I 研修会、パート1 出席者、DL担当者の確認

4月、 R L I 研修会、パート2

5月、 R L I 研修会、パート3

6月、 三回受講した方にバッチ授与

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

委員会その3

- 情報規定委員会
- 地区戦略計画委員会
- 危機管理委員会

委員会その3

プログラム

部屋：3F利休その2

	インストラクター	次期情報規定委員長	石津 剛彦
	インストラクター	次期戦略計画委員会委員 (PDG)	成川 守彦
	インストラクター	次期危機管理委員会委員長 (PDG)	福井隆一郎
13:00	司会・進行 担当者紹介 開催挨拶	次期地区副代表幹事	池内清一郎
		次期地区副代表幹事	池内清一郎
		次期戦略計画委員会委員	成川 守彦
13:10	各委員長より活動方針発表 (各委員会約20分で)	次期地区副代表幹事	池内清一郎
14:10	質疑応答	次期地区副代表幹事	池内清一郎
14:15	閉会挨拶	次期危機管理委員会委員長	福井隆一郎

*各委員会の発表時間は委員長様方で調整下さい。

*本会議場での代表発表者を決めておいて下さい。

この後本会議場へご移動下さい

記録担当：

情報規定委員会



2020－2021年度 委員長
石津 剛彦（和歌山RC）

【活動基本方針】

- 1 2021年決議審議会決議案提出の検討。
- 2 2022年規定審議会において審議すべき制定案の集約、検討及び提出。
- 3 各クラブからの卓話希望への対応

【活動計画】

- 1 クラブ情報規定委員長会議の開催
- 2 2021年決議審議会決議案について、①2020年12月末日までに地区内の案を集約し、②これについて検討を加えた上、提出すべきものがあればR Iに提出する。
- 3 2022年規定審議会に提出すべき制定案について、①2020年6月末日までに提出された地区内の立法案を集約し、②これについて検討を加えた上、提出すべきものがあればR Iに提出する。
- 4 地区内のクラブからの卓話希望があれば、適宜対応する。

地区戦略計画委員会



2020－2021年度 委員長
榎畑 直尚（和歌山RC）

【活動基本方針】

第2640地区内クラブの維持発展に資する地区中期計画＝地区ビジョンを立案する。

第2640地区内クラブの維持発展に有用となる各クラブの「中長期計画」の立案と実行について、地区研修委員会と連携し、クラブへの情報提供を行う。

【活動計画】

1. 地区ビジョンは、藤井年度のスタート時から利用できるように早期に立案する。
2. 中長期計画が既に定められているクラブについては、ガバナー補佐と執行状況を確認する。また、先行例として事例紹介を行って頂くなど、他クラブへの情報提供を行って頂けるようにする。情報提供の場としては、会長エレクトセミナー等を考え、時期は可能な限りエレクト時に行う。
3. 中長期計画が立案されていないクラブにおいては、会長エレクトセミナー等の機会を活用して、推進頂けるように情報提供を行う。情報提供の時期としては、可能な限りエレクト時、場所は会長エレクトセミナーの機会を活用したい。

危機管理委員会



2020-2021年度 委員長
福井隆一郎（堺RC）

【活動基本方針】

今冬のウイルス関連の異常事態は、日本のみならず、全世界に及ぶ危機に直面しました。国際ロータリーでは、何年も前から危機管理に関する対処を、大きな課題としてきました。この機会に、国際ロータリー第2640地区では、ロータリーの活動の中での危機管理を、会員一人一人が熟知し、これからの活動に活かしていきたいと思えます。

【活動計画】

青少年活動を中心とした危機管理委員会は、R I J Y E M（日本青少年交換他地区合同機構）と常に連絡を取りながら、ハラスメントなどから、青少年の保護に努めていきたいと思えます。又、青少年だけではなくロータリアン自身も、危機管理の意識を持ち続けて欲しいと思えます。

- 1、ガバナー 青少年交換委員会と密接に、情報交換をする。
- 2、R Y L A、インターアクト、ローターアクト、米山も含め青少年活動について密接に報告を受け、ハラスメントのない環境に結びつける。
- 3、専門家の意見に常に耳を傾け、迅速な対応を心掛ける。
- 4、常に迅速な対応をする。

米山記念奨学部門

プログラム

部屋：26Fクリスタル

	インストラクター	次期米山記念奨学委員長	玉井 洋司
	インストラクター	次期米山選考小委員長	淡野 勝也
	インストラクター	次期米山寄付増進小委員長	木村 勝次
	インストラクター	次期米山学友小委員長	新本 憲一
13:00	司会・進行 担当者紹介 開催挨拶	地区幹事 地区幹事 次期米山記念奨学委員長	櫻井 新司 櫻井 新司 玉井 洋司
13:10	各委員長より活動方針発表（各委員会約20分で）	地区幹事	櫻井 新司
14:10	質疑応答	地区幹事	櫻井 新司
14:15	閉会挨拶	次期米山記念奨学委員長	玉井 洋司

*各委員会の発表時間は委員長様方で調整下さい。

*本会議場での代表発表者を決めておいて下さい。

この後本会議場へご移動下さい

記録担当：

米山記念奨学委員会



2020-2021年度 委員長
玉井 洋司 (田辺RC)

【活動基本方針】

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源にして奨学金を支給し支援する民間の奨学団体で、将来母国と日本との懸け橋になって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

地区米山奨学記念委員会は

地区内ロータリアンに米山奨学金への寄付の増進をお願いする。

世話クラブと協力して奨学生にはロータリアンとの交流を通じ日本の文化の理解を手助けすることによって国際親善に寄与する人材を育てる。

次年度の奨学生を選考する。

【活動計画】

- ・新規奨学生オリエンテーション
- ・カウンセラーセミナー
- ・クラブ米山委員長会議の実施
- ・地区内クラブ招請卓話の実施
- ・地区大会への参加
- ・研修旅行の実施
- ・学友会総会の実施
- ・青少年関係行事への参加協力
- ・次年度奨学生を選考
 1. 指定校の選定及び学校説明会
 2. 面接官の選定及び面接官オリエンテーション
 3. 選考試験及び世話クラブの選定
- ・修了式・歓送会の実施

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

40周年記念誌編集実行委員会

2020－2021年度 委員長

岡本 浩 (和歌山城南RC)

【活動方針・活動計画】

国際ロータリー第2640地区は、地区としてのスタートが1982年7月1日である。したがって、2022年7月1日には、地区創立40周年を迎えることとなる。

当地区は、2002年7月1日に地区創立20周年を迎えており、2002－2003年度中の2003年4月に地区20周年記念誌を発行している。この経過からすれば、2022－2023年度には、地区40周年記念誌を発行するのが、自然な流れとなると思われる。このことは、当地区において、現に記念誌発行予算として、2019－2020年度末までに金500万円が準備されていることから必然である。想定される場所としては、40周年を迎える2022－2023年度には何らかの記念事業（祝賀会等）が開催され、それらの行事の収録をも踏まえての記念誌が2023年に発行される運びとなるものと考えられる。

上記のような想定より、今年度は地区40周年を迎えての事業へ準備スタートの年度として、まずは、そのための委員会が新設されることになったものである。そこで、当年度においては、まずは委員選出を行っていただき、選出された委員の検討により、行事の構想・記念誌の構想等が作成される段階になるものと予定している。

当地区は、地区創立20周年より40周年に至る間において、地区の混乱という事態を経験しており、この反省と総括を踏まえて40周年を迎える必要があり、そのためにも記念事業・記念誌の発行は重要な意味を持っていると考えるものである。

今年度は、2020年の秋頃までに委員会の確立を行い、結成された委員会の検討によって、年度後半に構想の作成をするくらいのところまでを進めたいものと考えている。

発行：2020-2021年度のための
地区研修・協議会
実行委員会

委員長 米本 直樹

2020-2021年度

国際ロータリー第2640地区 ガバナー事務所



〒640-8331 和歌山市美園町3-34
けやきONE301号室

JR和歌山駅より徒歩7分

お車でお越しの際は周辺駐車場をご利用下さい。

TEL : 073-426-2640 FAX : 073-426-2660

E-mail : fujii@rid2640g.com



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT

2640

2020-2021年度 ガバナー事務所

〒640-8331 和歌山市美園町3丁目34番地 けやきONE301号室

TEL 073-426-2640 FAX 073-426-2660

E-mail fujii@rid2640g.com